

北 塩 原 村
第6期北塩原村障がい福祉計画及び
第2期障がい児福祉計画策定のための
福祉に関するアンケート

— 調査結果報告書 —

令和2年8月

北 塩 原 村

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の種類及び対象者	1
3	調査実施方法及び期間	1
4	アンケート回収結果	1
5	集計について	2

II 福祉に関するアンケート調査 集計結果

◇	あなた（宛名の方）の年齢・性別・障がいの状況などについて	3
◇	あなたの住まいや暮らしについて	11
◇	日中活動や就労について	17
◇	保健・医療について	26
◇	教育・就学について	28
◇	相談相手について	30
◇	あなたの障害福祉サービス等の利用について	32
◇	権利擁護について	45
◇	災害時の避難等について	49
◇	障がい者への理解について	52

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

第6期北塩原村障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画を策定するにあたり、村民の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的にアンケート調査を実施するものです。

2 調査の対象者

①身体障害者手帳所持者	115 人	計158人
②精神障害者保健福祉手帳所持者	28 人	
③療育手帳所持者	11 人	
④障がい福祉サービス利用者	4 人	

3 調査実施方法及び期間

調査実施方法	郵送調査（郵送による配布・回収）
調査実施期間	令和2年6月10日（水）～7月10日（金） （令和2年7月20日（月）到着分まで集計）

4 アンケート回収結果

	手帳所持者等	回収数	回収率
身体障がい	115 人	59 人	51.3%
精神障がい	28 人	16 人	57.1%
知的障がい	11 人	10 人	90.9%
障がい福祉サービス	4 人	4 人	100.0%
合計	158 人	89 人	56.4%

※回収数は89人となっています。

5 集計について

- ・集計結果を百分率(%)で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記とした。このため、百分率の合計が100にならない場合があります。
- ・母数(n=●と表記)は、回答者全員が答えるべき設問については回答者数、条件付き設問については、その設問に答えるべき該当者の数とします。
- ・複数回答を可とした設問で、選択肢をひとつも選択しなかった場合は「無回答」として集計します。
- ・単数回答(一つのみ選択)の設問において、複数選択した場合は、上記と同様に「無回答」として集計します。
- ・グラフ表示に際して、選択肢が多い場合などは、一部値の小さい数値の表記を省略する場合があります。
- ・クロス集計において、性別や年齢別の各回答が無い対象者は、各クロス集計表・グラフから除外しています。そのため、性別や年齢別の各合計は全体とは一致しないことがあります。
- ・障がい別のクロス集計は、身体・療育・精神の各手帳をお持ちの方をそれぞれの対象者として集計しています(複数の手帳をお持ちの方は、それぞれの対象者として集計しています)。

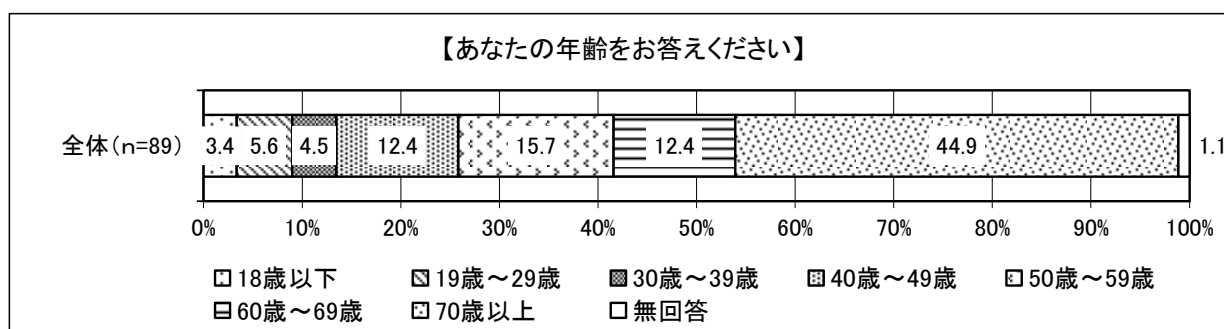
Ⅱ 福祉に関するアンケート調査 集計結果

Ⅱ 福祉に関するアンケート調査 集計結果

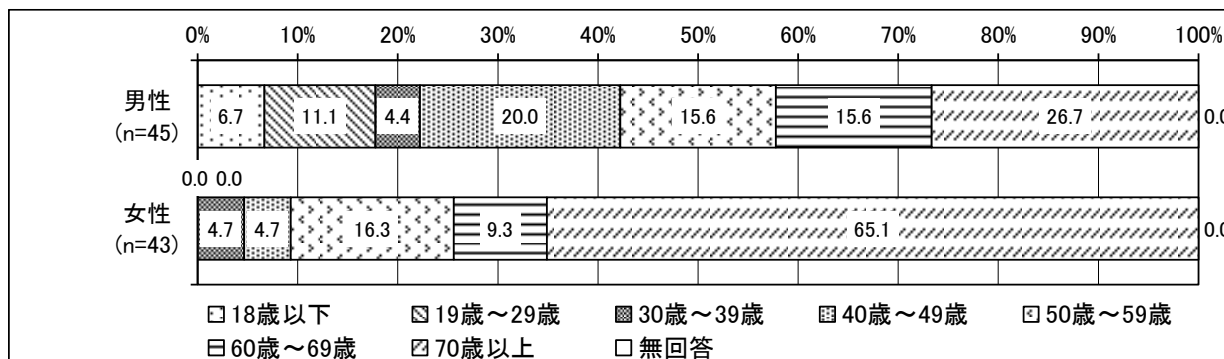
◇ あなた（宛名の方）の年齢・性別・障がいの状況などについて

問１ あなたの年齢をお答えください。（令和２年６月１日現在。）

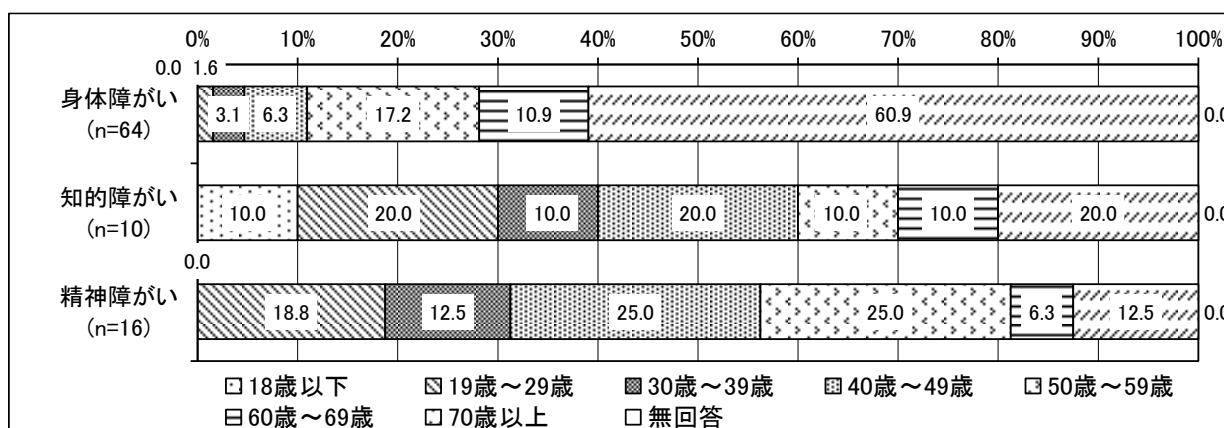
回答者の年齢は、「70 歳以上」が 44.9%と最も高く、以下、「50 歳～59 歳」（15.7%）、「40 歳～49 歳」及び「60 歳～69 歳」（ともに 12.4%）、「19 歳～29 歳」（5.6%）、「30 歳～39 歳」（4.5%）、「18 歳以下」（3.4%）と続いています。



性別にみると、女性は「70 歳以上」が 65.1%など高齢者の比率が高いのに対し、男性は「18 歳以下」の 6.7%を始め、若い年齢の比率が高くなっています。

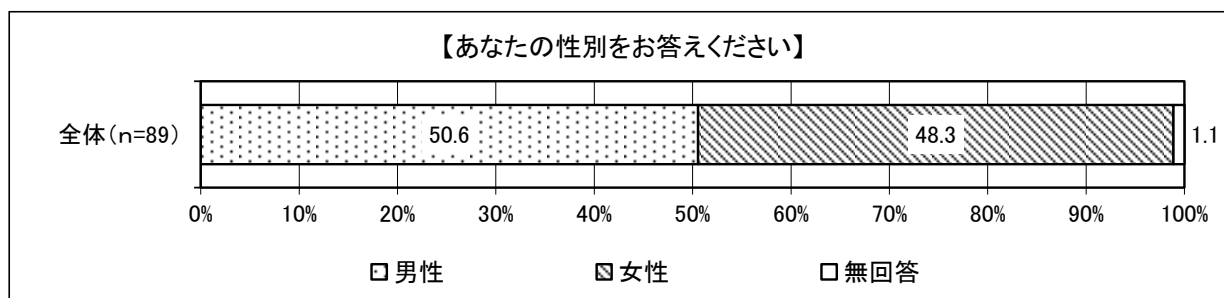


障がい別にみると、身体障がいは「70 歳以上」が 60.9%など、高齢者の比率が高くなっています。

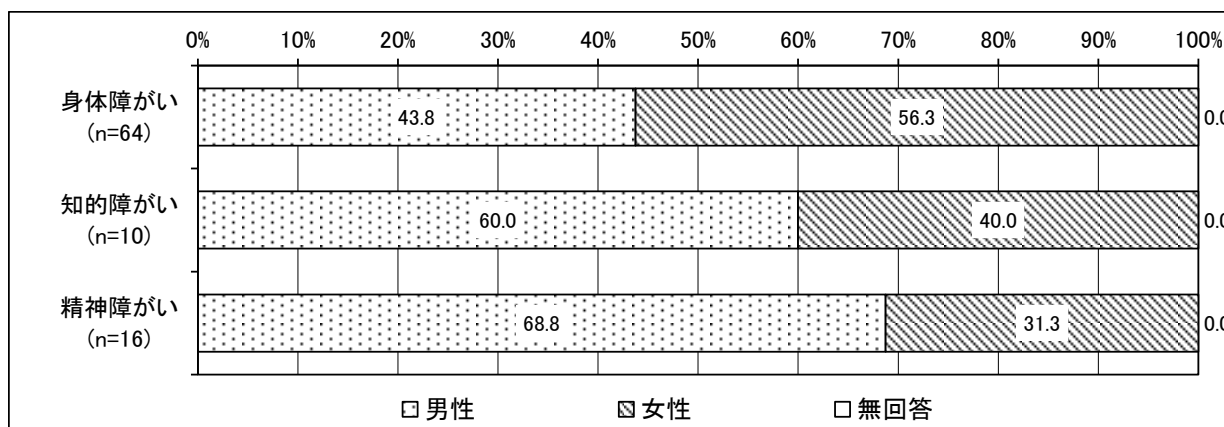


問2 あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は、「男性」が50.6%、「女性」が48.3%と、男性の比率がやや高くなっています。

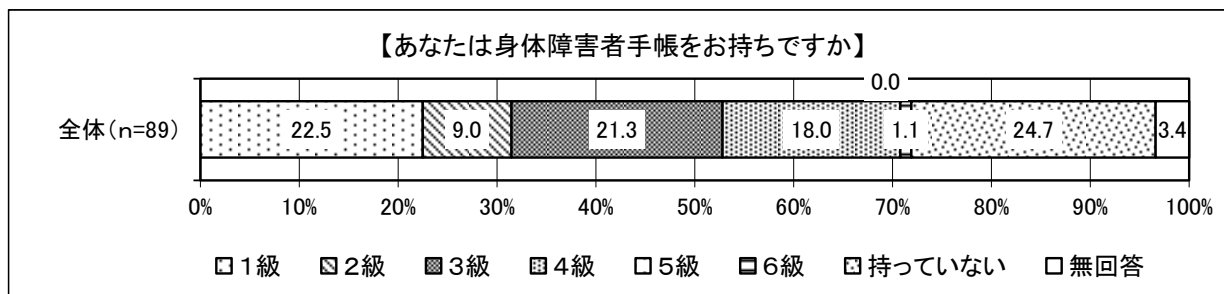


障がい別にみると、身体障がいは「女性」(56.3%)が、知的障がい及び精神障がいは「男性」(60.0%、68.8%)の比率がやや高くなっています。



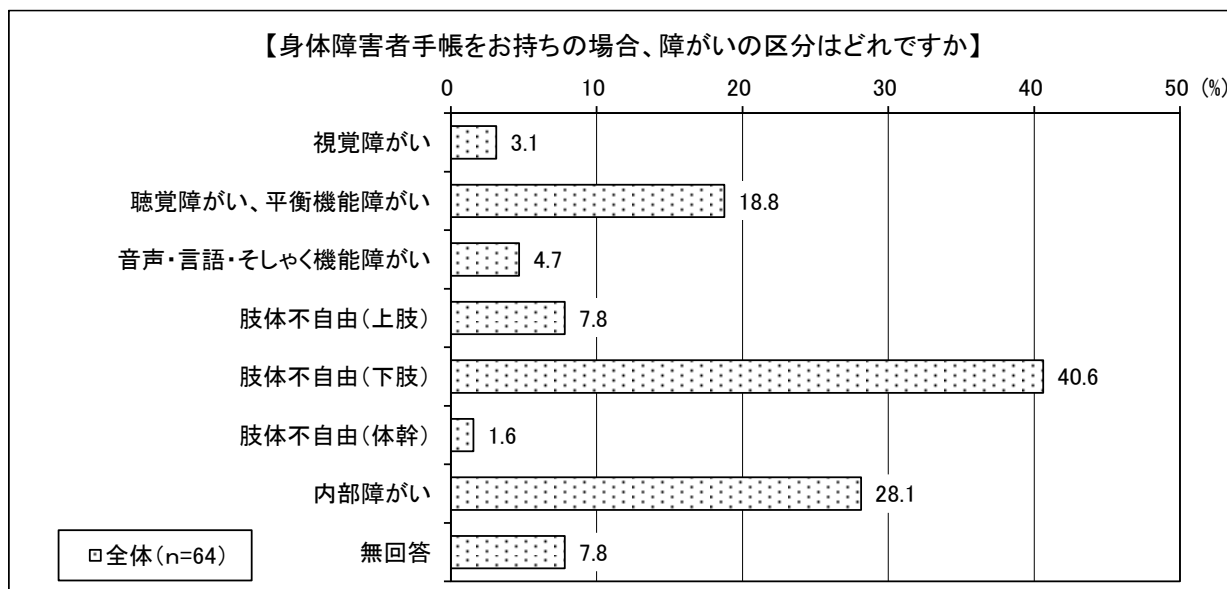
問3 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

身体障害者手帳の所有状況は、「1級」が22.5%、「3級」が21.3%、「4級」が18.0%、「2級」が9.0%、「6級」が1.1%であり、「持っていない」は24.7%、「無回答」は3.4%となっています。



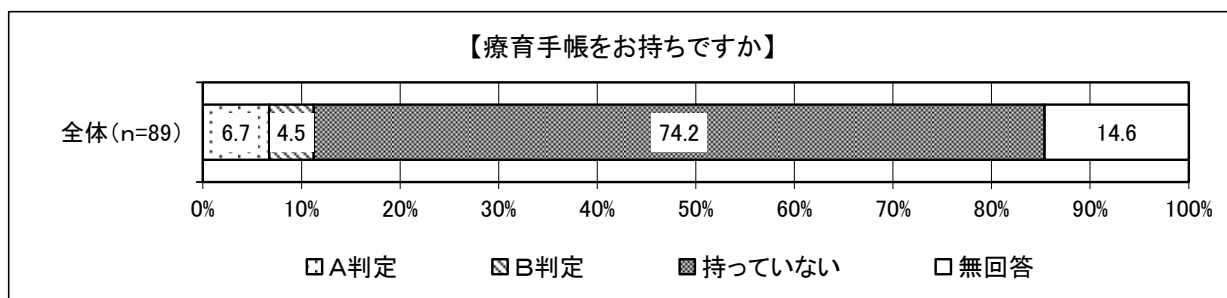
問4 身体障害者手帳をお持ちの場合、障がいの区分はどれですか。（当てはまるすべての障がいの番号に○）

障がいの種類は、「肢体不自由（下肢）」が40.6%と最も高く、以下、「内部障がい」（28.1%）、「聴覚障がい、平衡機能障がい」（18.8%）と続いています。



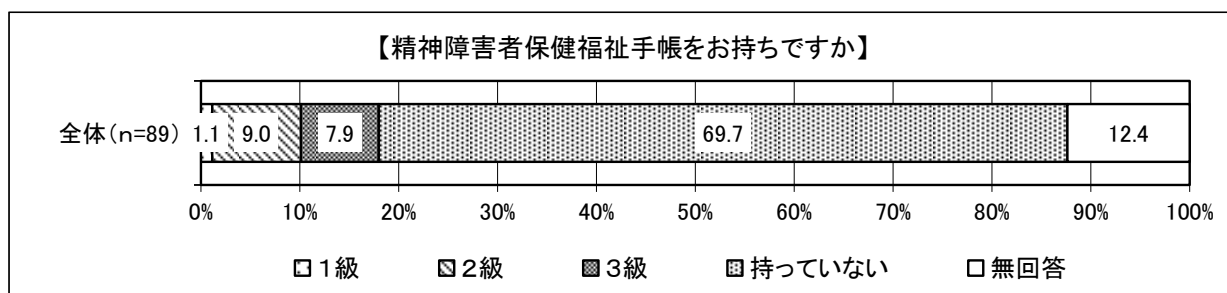
問5 療育手帳をお持ちですか。

療育手帳の所有状況は、「A判定」が6.7%、「B判定」が4.5%であり、「持っていない」は74.2%、「無回答」14.6%となっています。



問6 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

精神障害者保健福祉手帳の所有状況は、「2級」が9.0%、「3級」が7.9%、「1級」が1.1%であり、「持っていない」は69.7%、「無回答」は12.4%となっています。

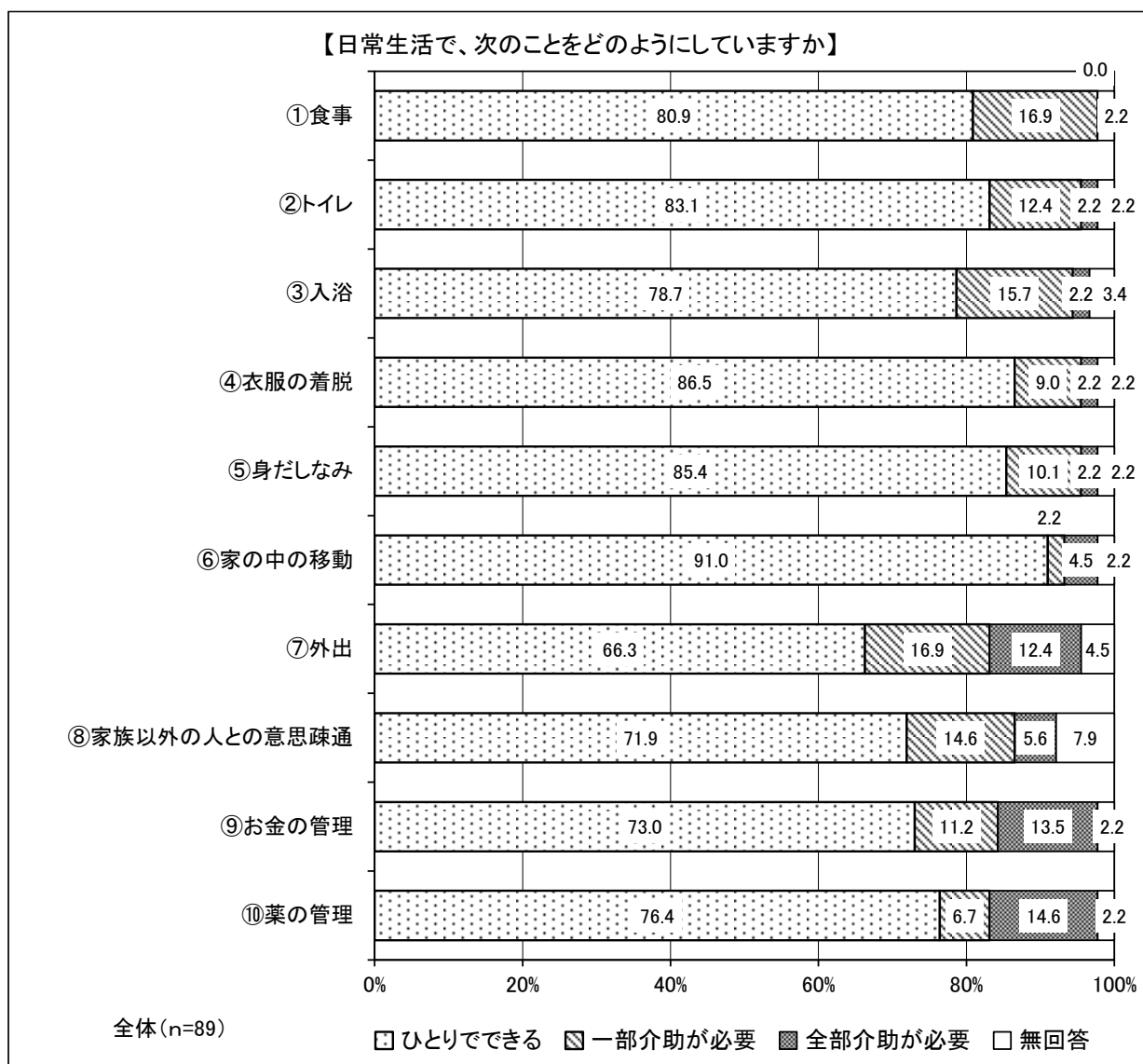


問7 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。（①から⑩それぞれに○を1つ）

日常生活について、「ひとりでできる」の回答をみると、「⑥家の中の移動」が91.0%と最も高く、以下、「④衣服の着脱」(86.5%)、「⑤身だしなみ」(85.4%)、「②トイレ」(83.1%)、「①食事」(80.9%)などが上位となっています。

一方、「全部介助が必要」は、「⑩薬の管理」(14.6%)や「⑨お金の管理」(13.5%)、「⑦外出」(12.4%)などが高くなっています。

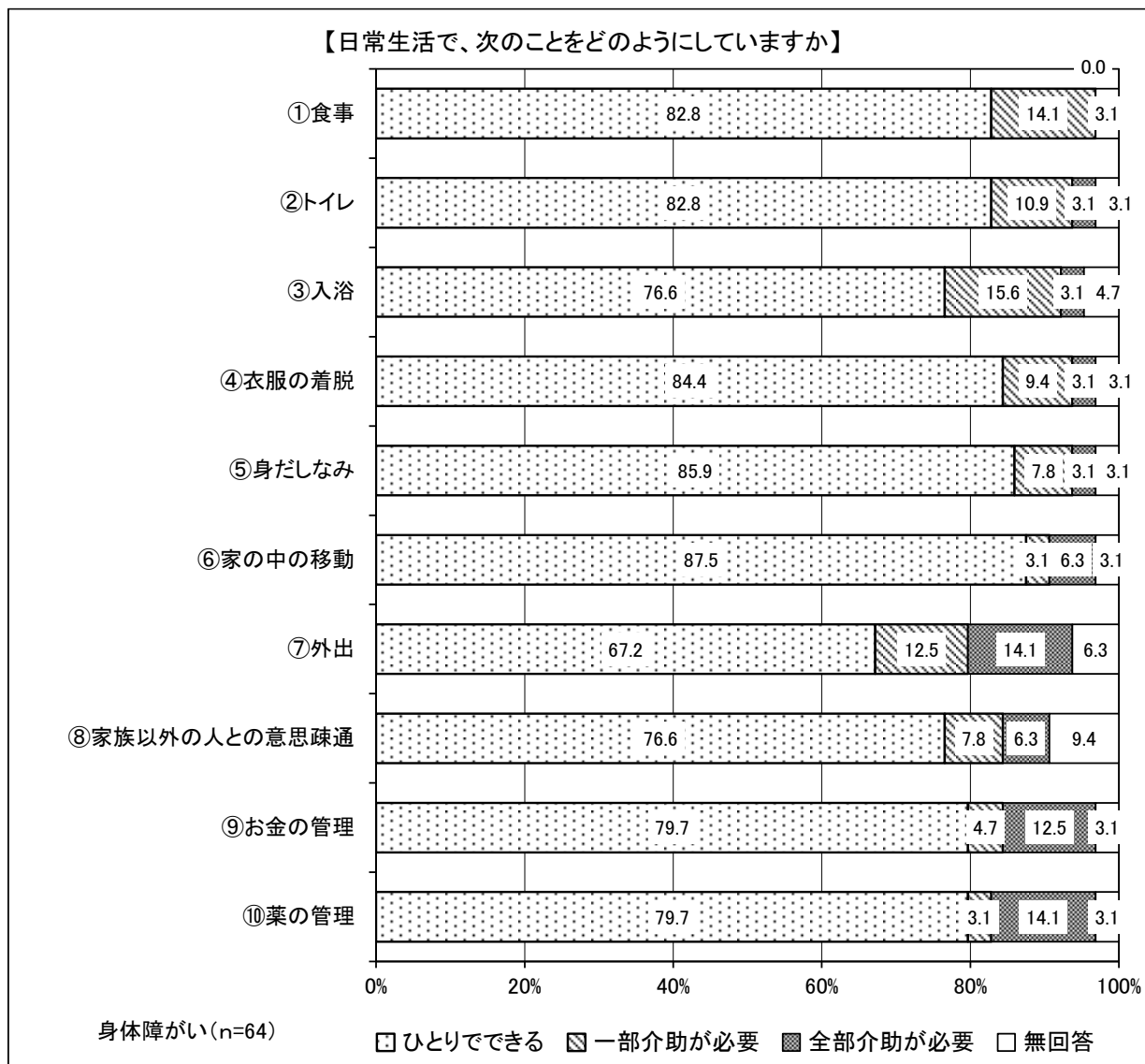
◇全体



身体障がいでは、「ひとりでできる」は、「⑥家の中の移動」(87.5%)や「⑤身だしなみ」(85.9%)などが高い比率となっています。

一方、「全部介助が必要」は、「⑦外出」及び「⑩薬の管理」(ともに14.1%)、「⑨お金の管理」(12.5%)が高くなっています。

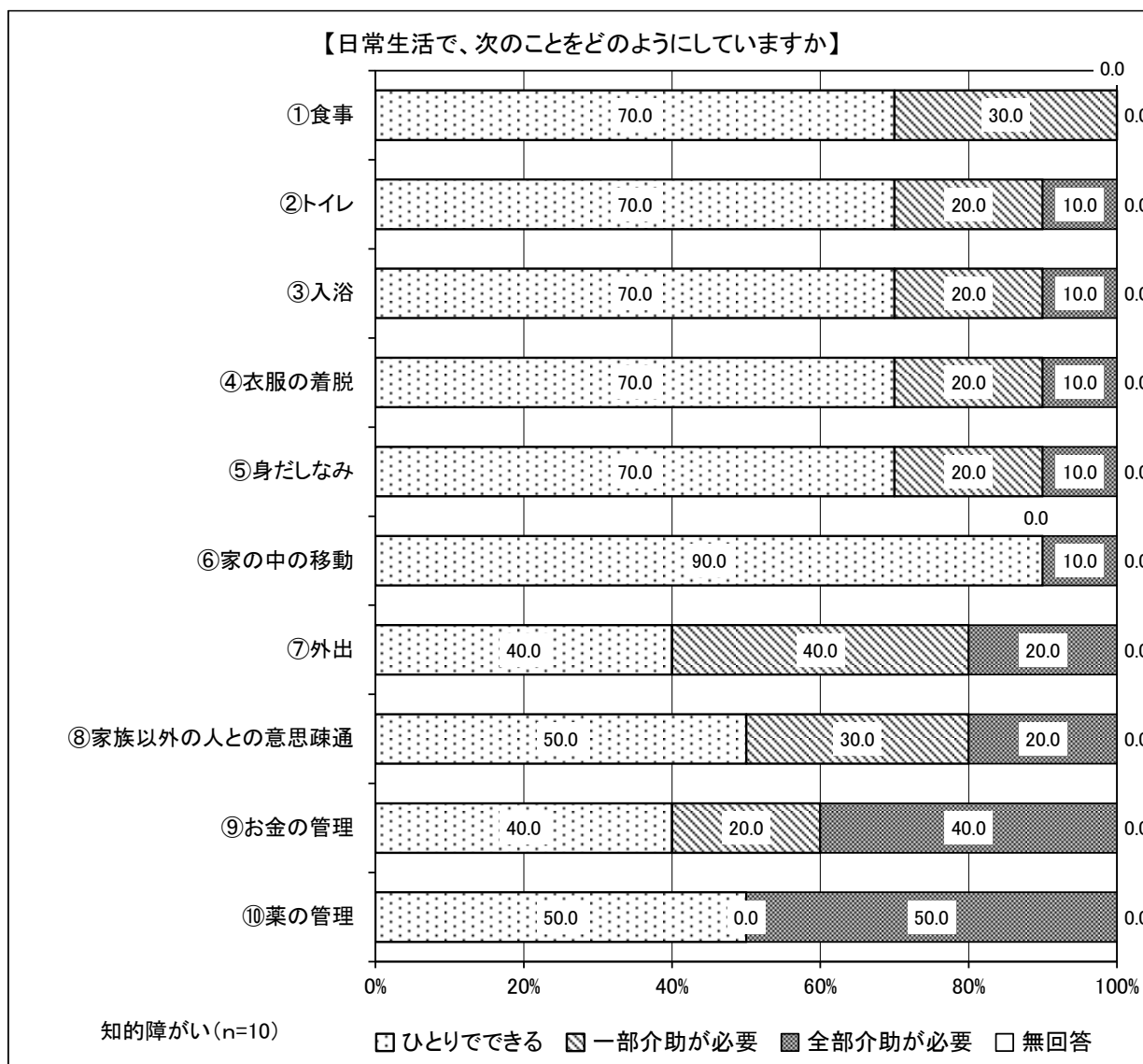
◇身体障がい



知的障がいでは、「ひとりでできる」は、「⑥家の中の移動」が90.0%と高い比率となっています。

一方、「全部介助が必要」は、「⑩薬の管理」(50.0%)や「⑨お金の管理」(40.0%)が高くなっています。

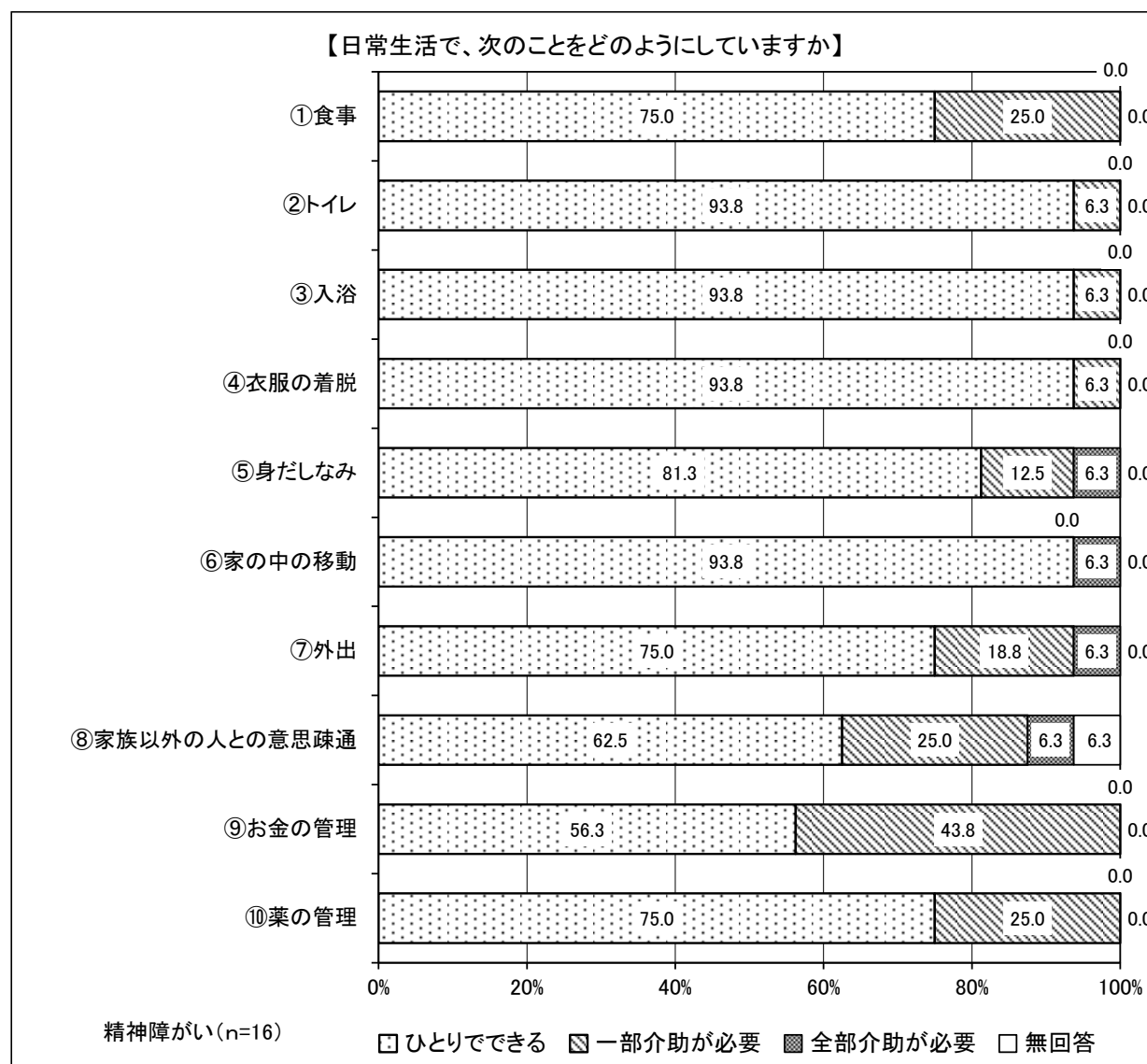
◇知的障がい



精神障がいでは、「ひとりでできる」は、「②トイレ」、「③入浴」、「④衣服の着脱」、「⑥家の中の移動」がそれぞれ 93.8%と高い比率となっています。

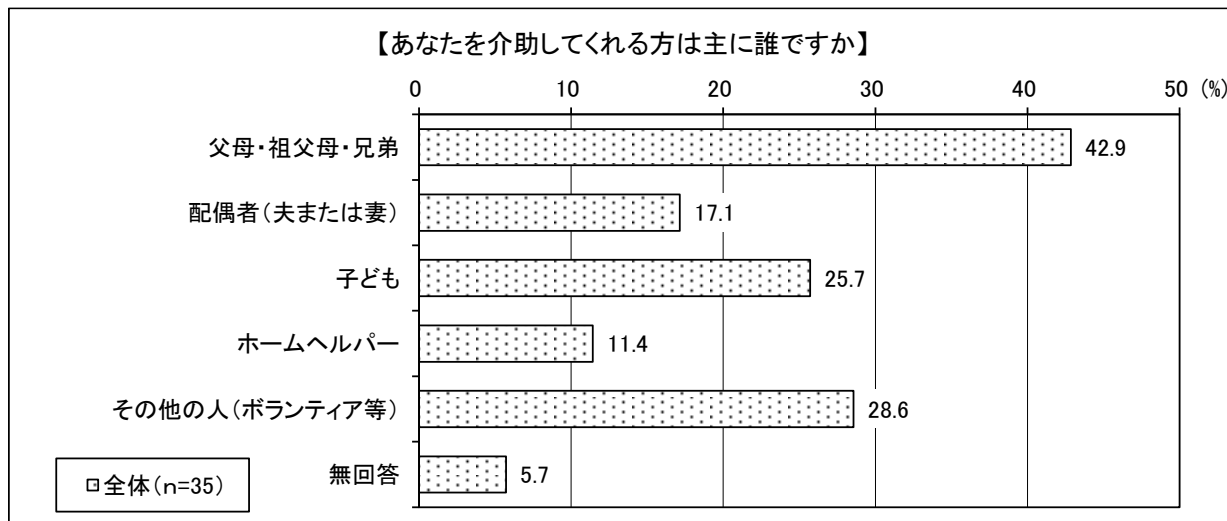
一方、「全部介助が必要」は、「⑤身だしなみ」や「⑦外出」、「⑧家族以外の人との意思疎通」がそれぞれ 6.3%と高くなっています。

◇精神障がい

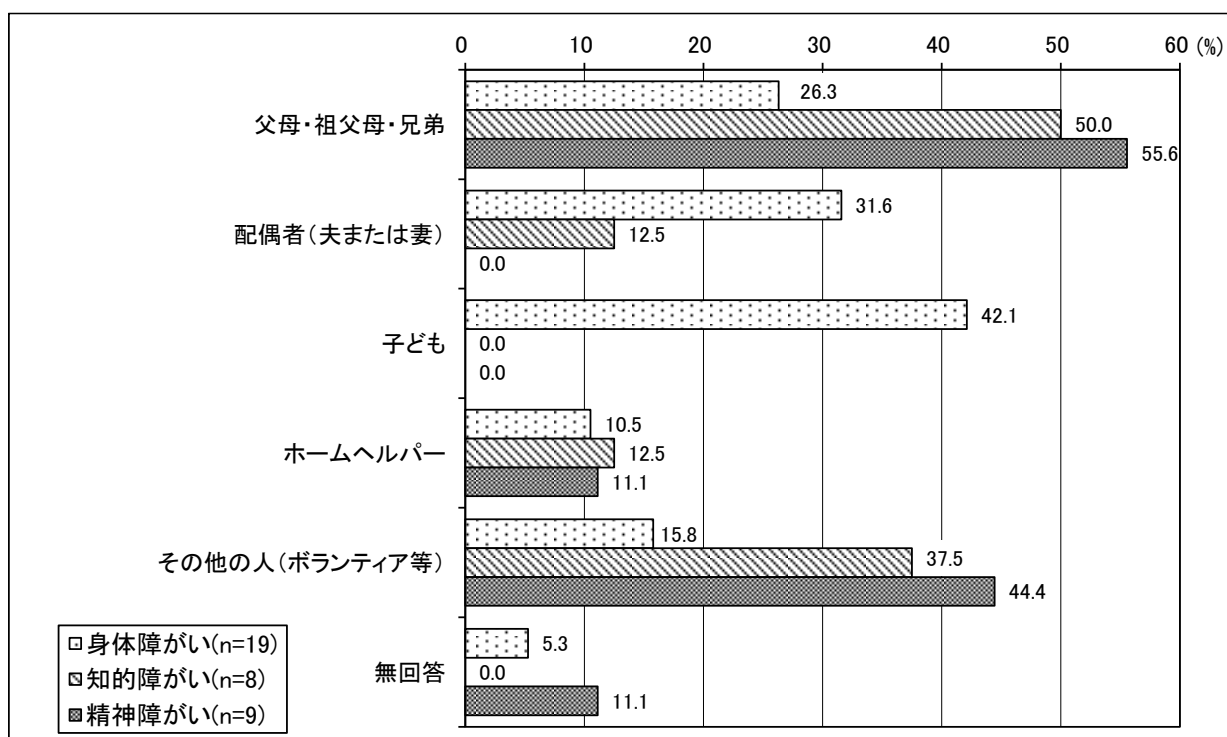


【※問8は、問7で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方にお伺いします】
 問8 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものにすべてに○）

介助者は、「父母・祖父母・兄弟」が42.9%と最も高く、以下、「その他の人（ボランティア等）」（28.6%）、「子ども」（25.7%）、「配偶者（夫または妻）」（17.1%）、「ホームヘルパー」（11.4%）となっています。



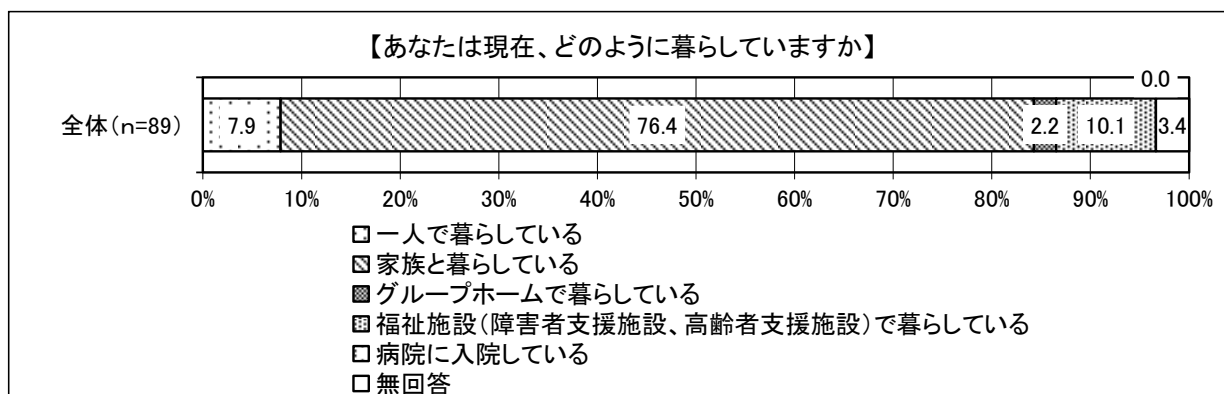
障がい別にみると、知的障がい及び精神障がいは「父母・祖父母・兄弟」（ともに50%以上）や「その他の人（ボランティア等）」（40%前後）の比率が高く、一方、「子ども」や「配偶者（夫または妻）」の回答はほとんどありません。身体障がいは「子ども」が42.1%と最も高く、以下、「配偶者（夫または妻）」が31.6%、「父母・祖父母・兄弟」が26.3%となっています。



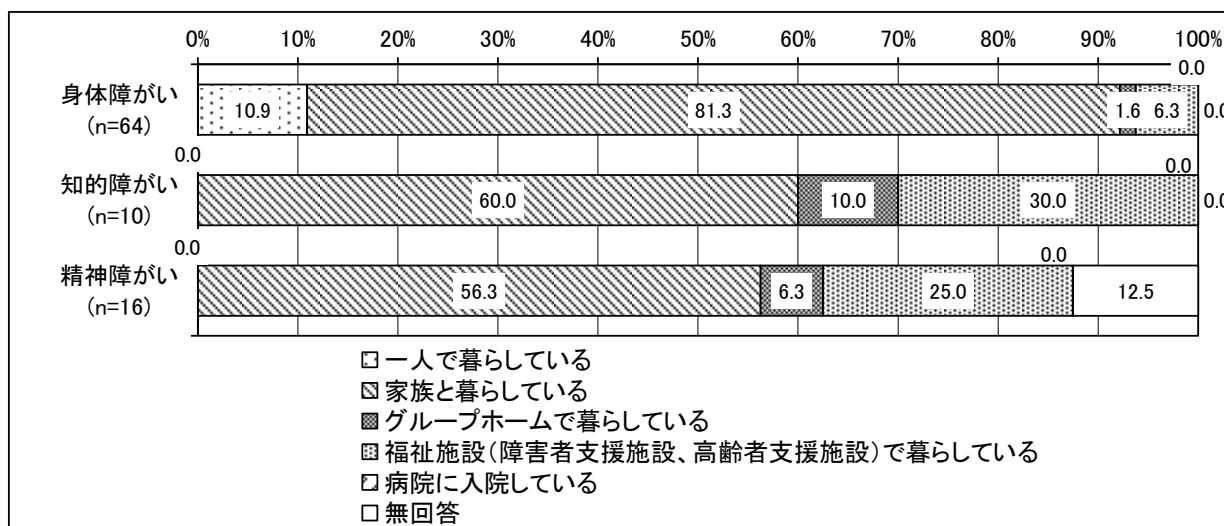
◇ あなたの住まいや暮らしについて

問9 あなたは現在、どのように暮らしていますか。（○は1つだけ）

現在の住まいは、「家族と暮らしている」が76.4%と多数を占め、以下、「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」が10.1%、「一人で暮らしている」が7.9%、「グループホームで暮らしている」が2.2%となっています。

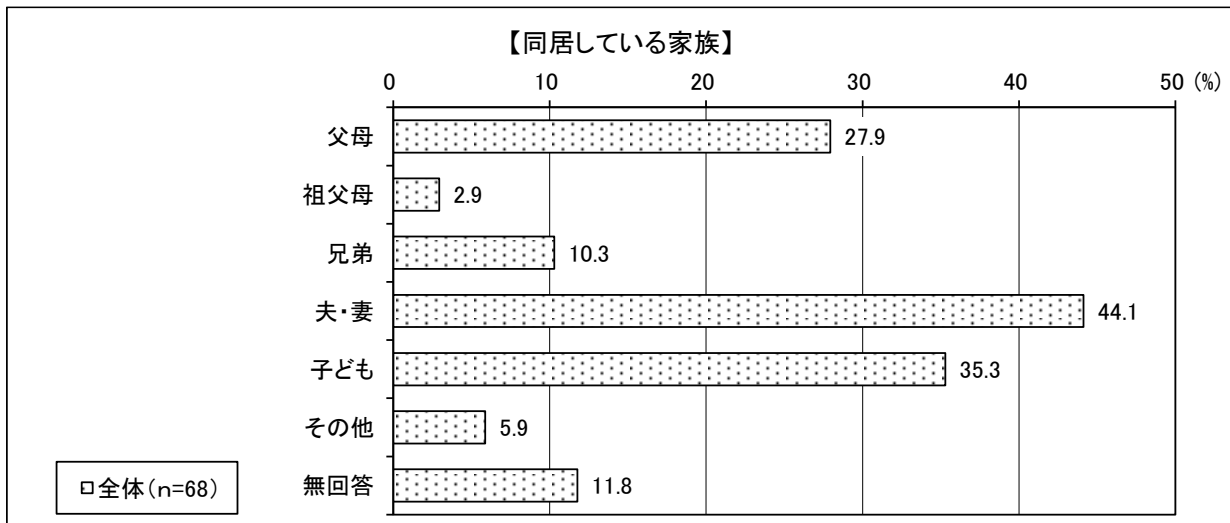


いずれの障がいも「家族と暮らしている」の比率が最も高いが、知的障がい及び精神障がいは「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」がそれぞれ30.0%、25.0%となっています。

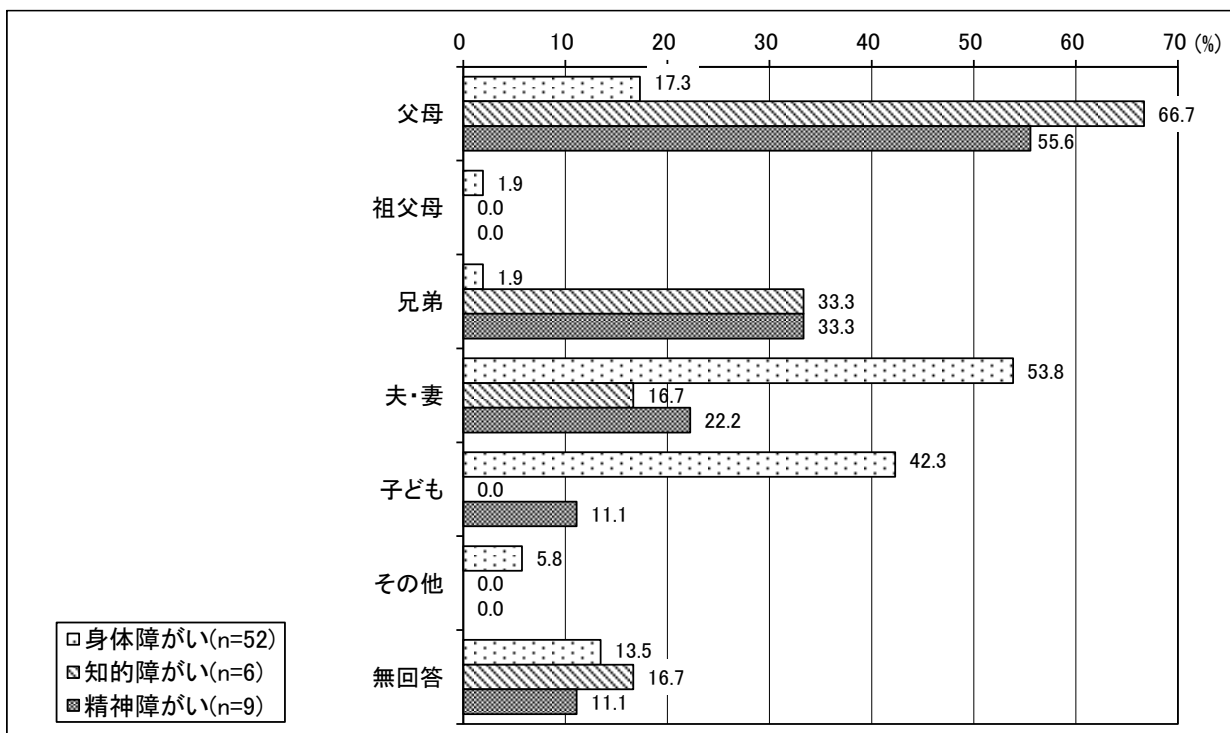


「家族と暮らしている」（あてはまるものすべてに○）

同居している家族は、「夫・妻」が44.1%と最も高く、以下、「子ども」が35.3%、「父母」が27.9%となっています。

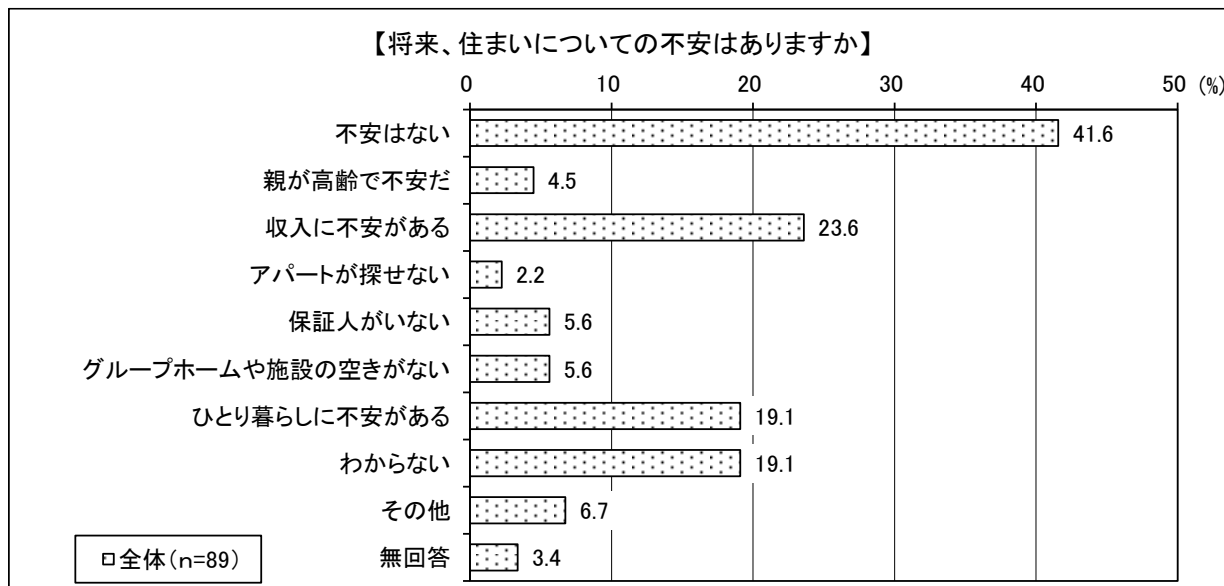


身体障がい者は「夫・妻」(53.8%)や「子ども」(42.3%)の比率が高く、知的障がい及び精神障がい者は「父母」(それぞれ66.7%、55.6%)や「兄弟」(ともに33.3%)の比率が高くなっています。

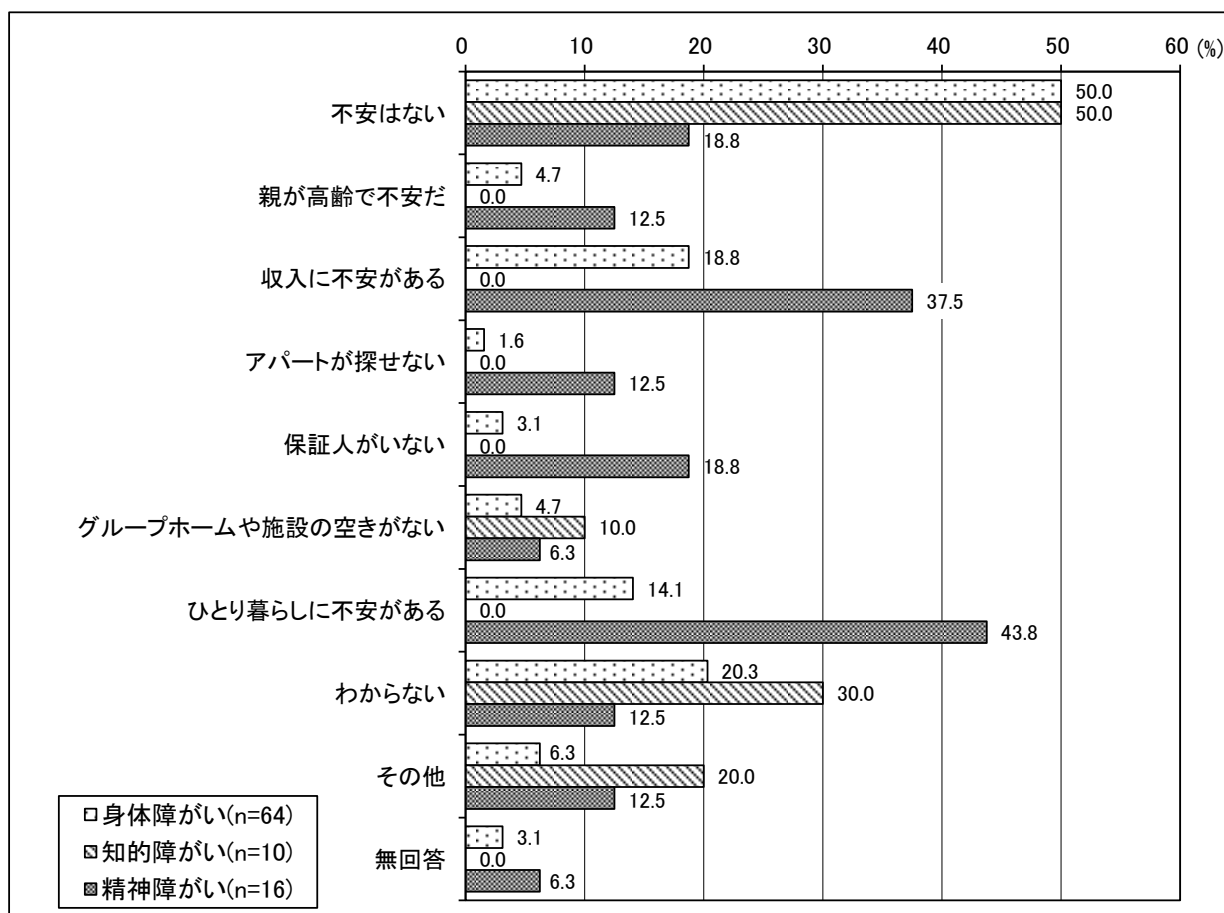


問10 将来、住まいについての不安はありますか。（〇はいくつでも）

将来、住まいについての不安があるかについては、「不安はない」は41.6%と最も高くなっており、以下、「収入に不安がある」が23.6%、「ひとり暮らしに不安がある」及び「わからない」がともに19.1%などとなっています。

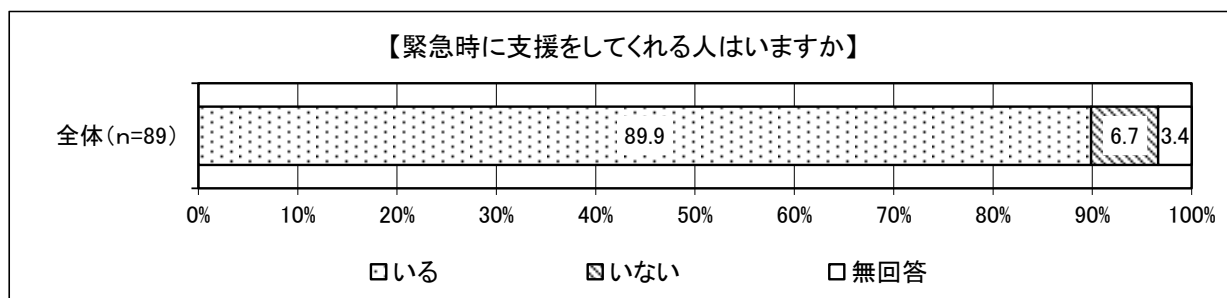


障がい別にみると、身体障がい及び知的障がいは「不安はない」（ともに50.0%）が高くなっていますが、精神障がいでは「ひとり暮らしに不安がある」（43.8%）や「収入に不安がある」（37.5%）が他を大きく上回っています。

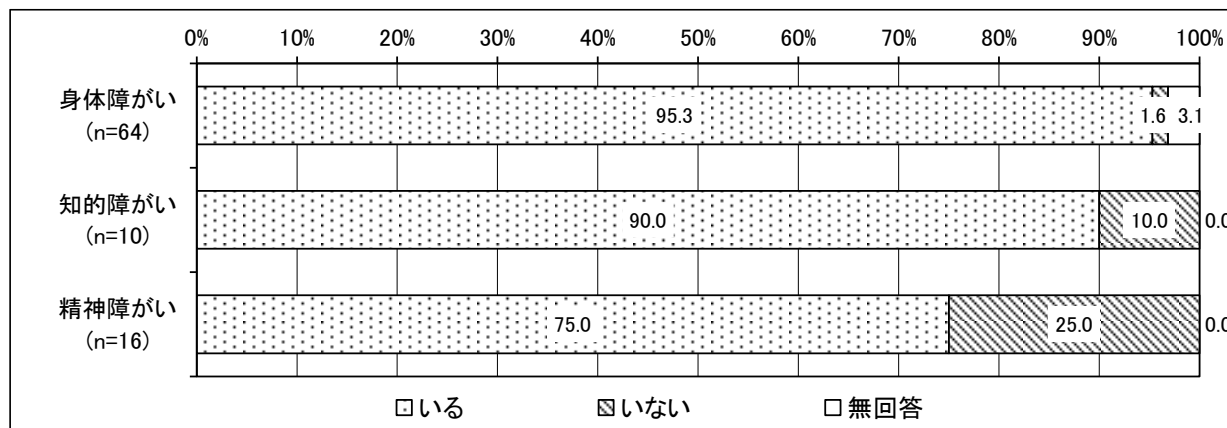


問11 緊急時に支援をしてくれる人はいますか。（どちらかに○）

緊急時に支援をしてくれる人がいるかは、「いる」が89.9%と多数を占め、「いない」は6.7%となっています。

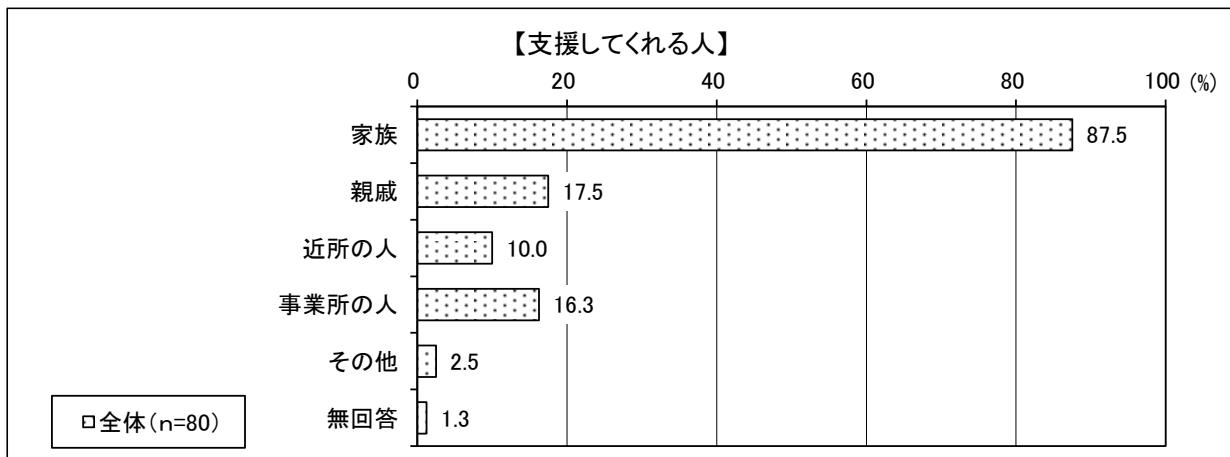


障がい別にみると、精神障がいでは「いない」が25.0%と、他障がいより高くなっています。

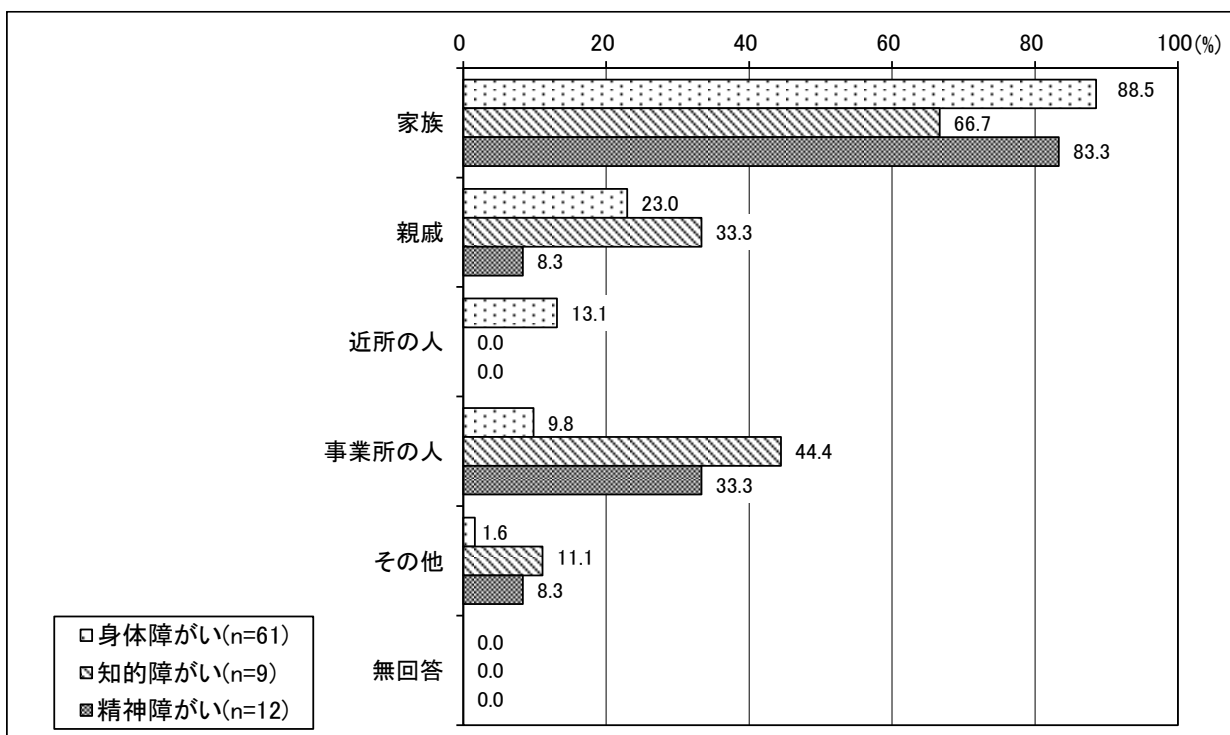


「いる」（あてはまるものすべてに○）

支援してくれる人は、「家族」が 87.5%と多数を占め、以下、「親戚」（17.5%）、「事業所の人」（16.3%）、「近所の人」（10.0%）となっています。

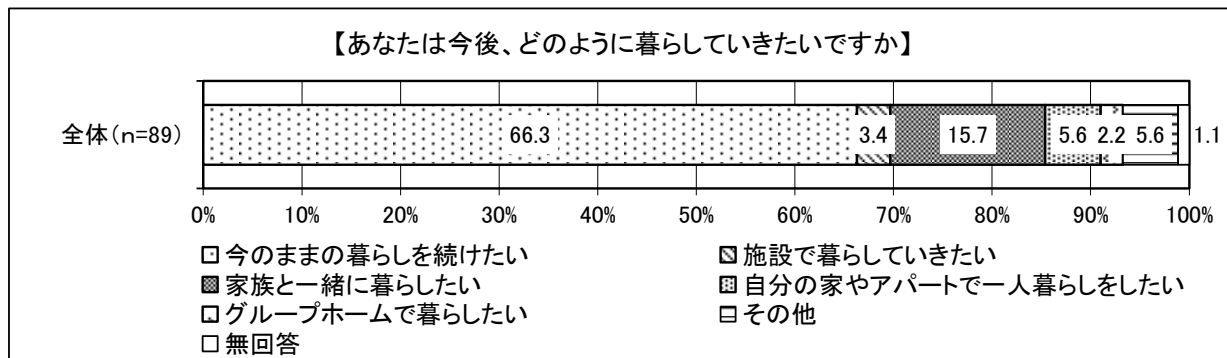


障がい別にみると、いずれの障がいも「家族」が最も高く、身体障がいは 88.5%、知的障がいは 66.7%、精神障がいは 83.3%となっています。また、知的障がいや精神障がいにおいて福祉施設で暮らしている人などは「事業所の人」との回答（それぞれ 44.4%、33.3%）の比率が高くなっています。

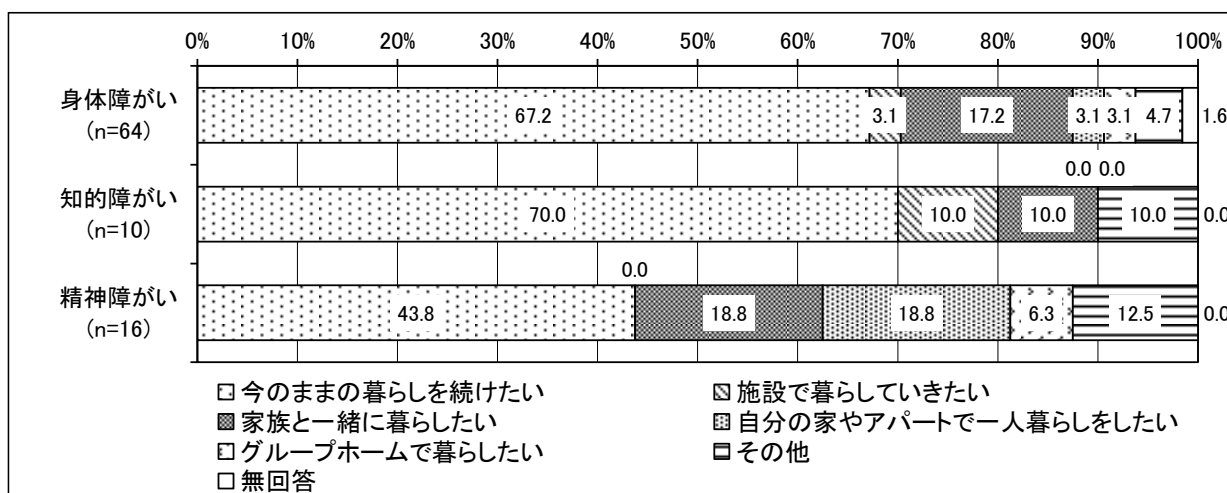


問12 あなたは今後、どのように暮らしていきたいですか。（○は1つだけ）

今後、どのように暮らしたいかは、「今のままの暮らしを続けたい」が66.3%と最も高く、以下、「家族と一緒に暮らしたい」（15.7%）、「自分の家やアパートで一人暮らしをしたい」（5.6%）などとなっています。



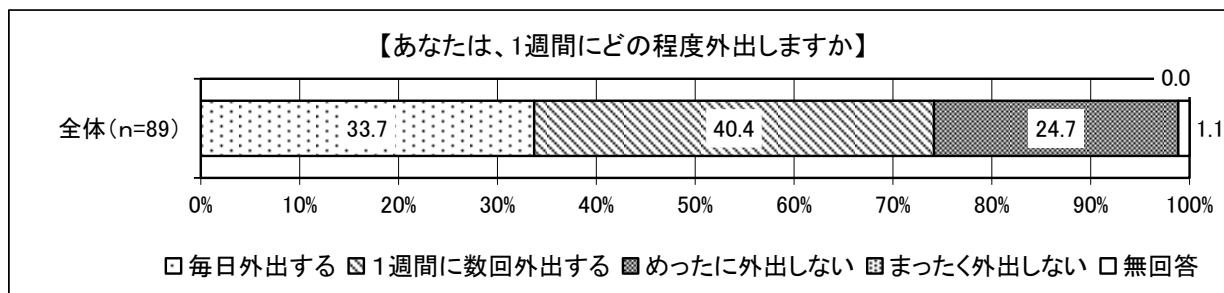
障がい別にみると、いずれの障がいも「今のままの暮らしを続けたい」が高くなっていますが、精神障がいでは「自分の家やアパートで一人暮らしをしたい」が18.8%と、他障がいを上回っています。



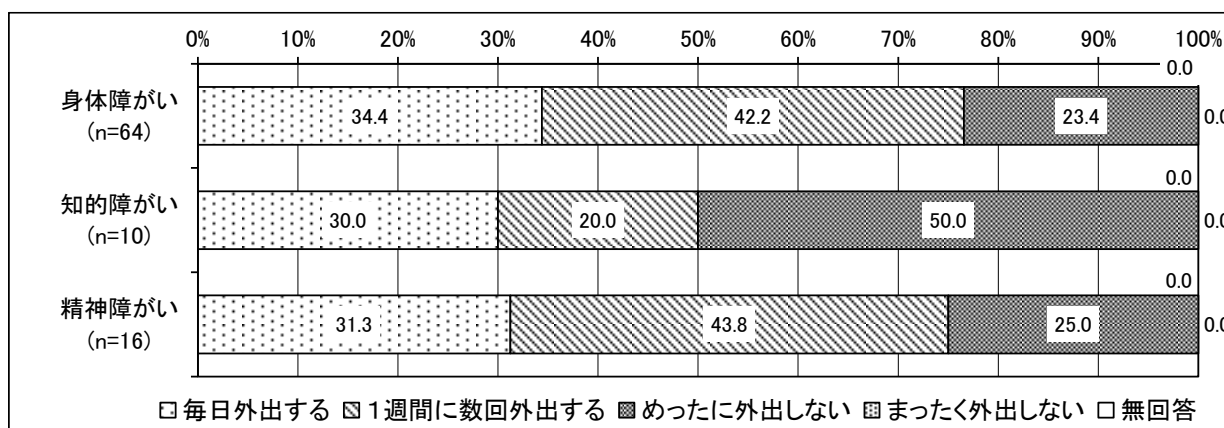
◇ 日中活動や就労について

問13 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。（○は1つだけ）

外出の頻度は、「1週間に数回外出する」が40.4%と最も高く、以下、「毎日外出する」が33.7%、「めったに外出しない」が24.7%となっています。



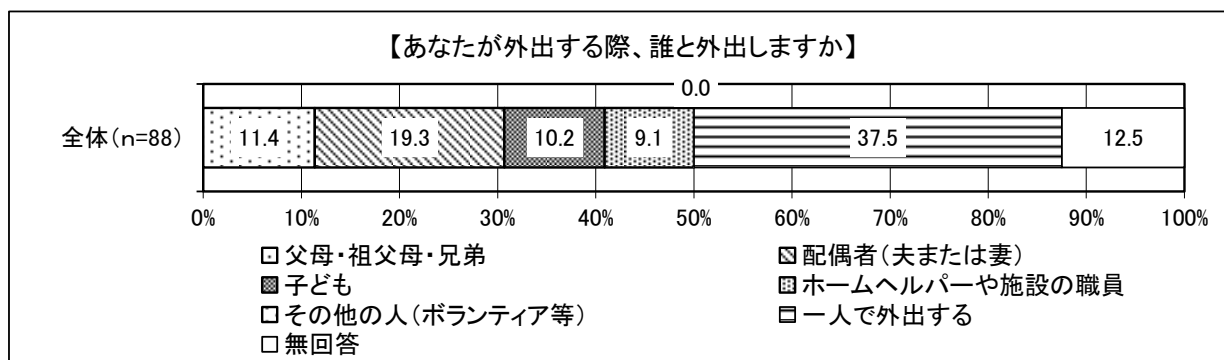
障がい別にみると、身体障がい及び精神障がいは「1週間に数回外出する」(42.2%、43.8%)が、知的障がいは「めったに外出しない」(50.0%)が、それぞれ最も高くなっています。



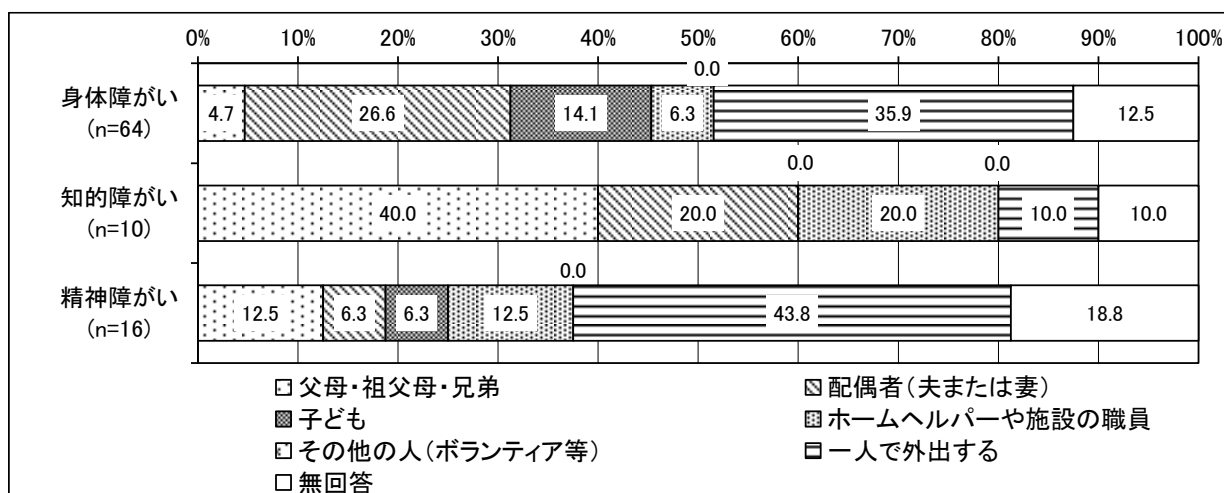
【※問14から16は、問13で 4 以外を選択した場合にお伺いします】

問14 あなたが外出する際、誰と外出しますか。（○は1つだけ）

外出時の同伴者は、「配偶者（夫または妻）」が 19.3%、「父母・祖父母・兄弟」が 11.4%、「子ども」が 10.2%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 9.1%となっています。なお、「一人で外出する」が 37.5%と最も高くなっています。

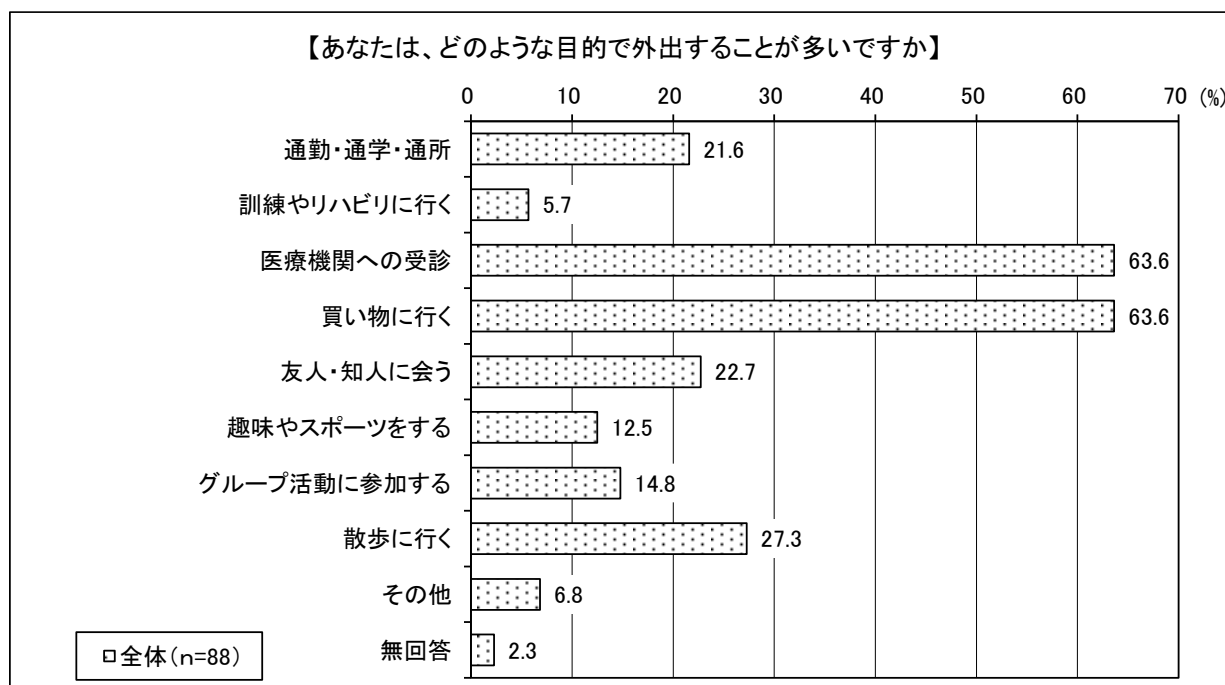


障がい別にみると、精神障がい及び身体障がいでは「一人で外出する」（43.8%、35.9%）が、知的障がいでは「父母・祖父母・兄弟」（40.0%）が、それぞれ最も高くなっています。

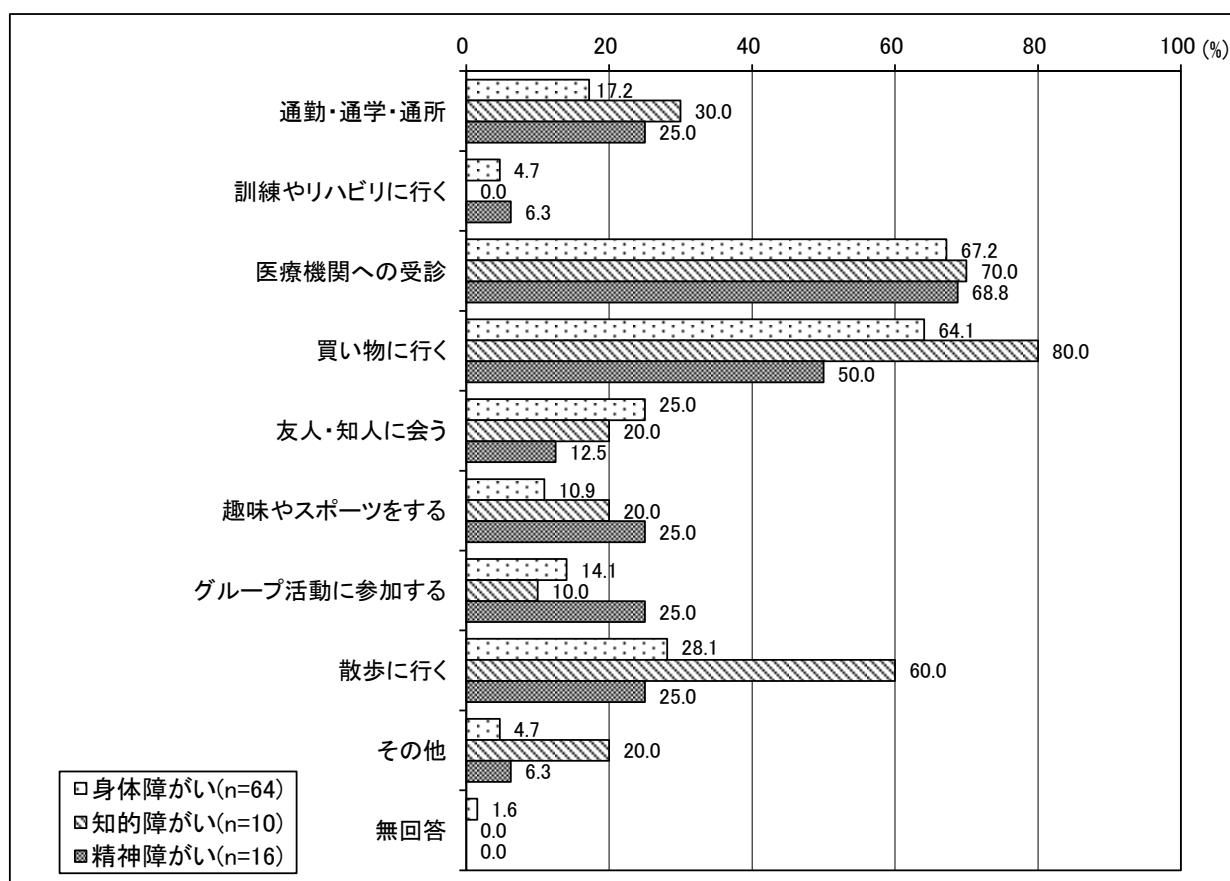


問15 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

外出の目的は、「医療機関への受診」及び「買い物に行く」がともに 63.6%と突出しており、以下、「散歩に行く」(27.3%)、「友人・知人に会う」(22.7%)、「通勤・通学・通所」(21.6%) などとなっています。

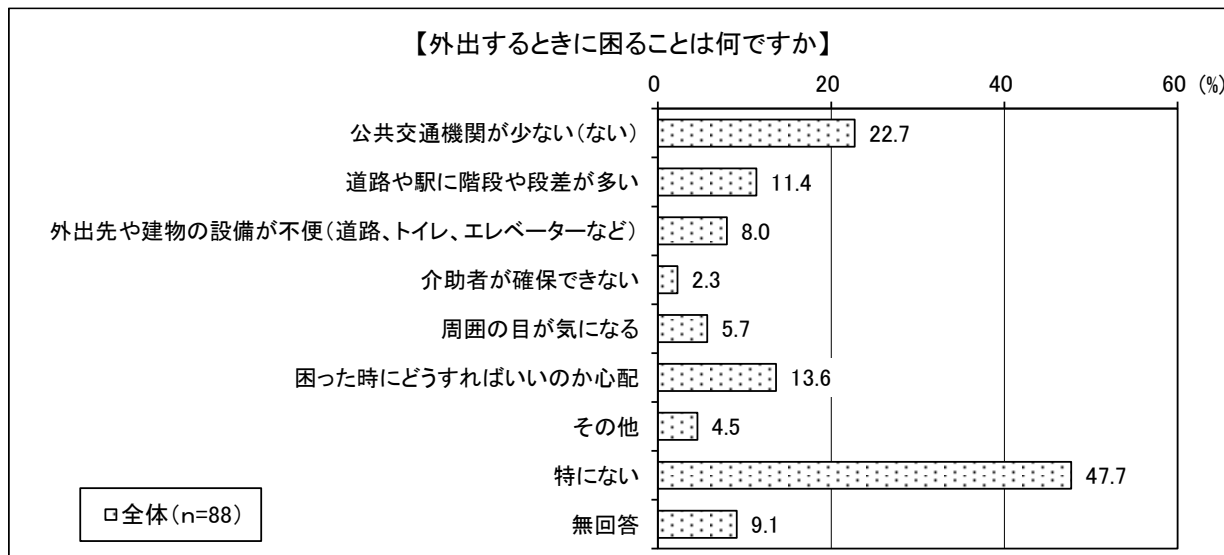


障がい別にみると、「医療機関への受診」や「買い物に行く」がそれぞれ高くなっています。また、知的障がいは「散歩に行く」が 60.0%と、他障がいを大きく上回っています。

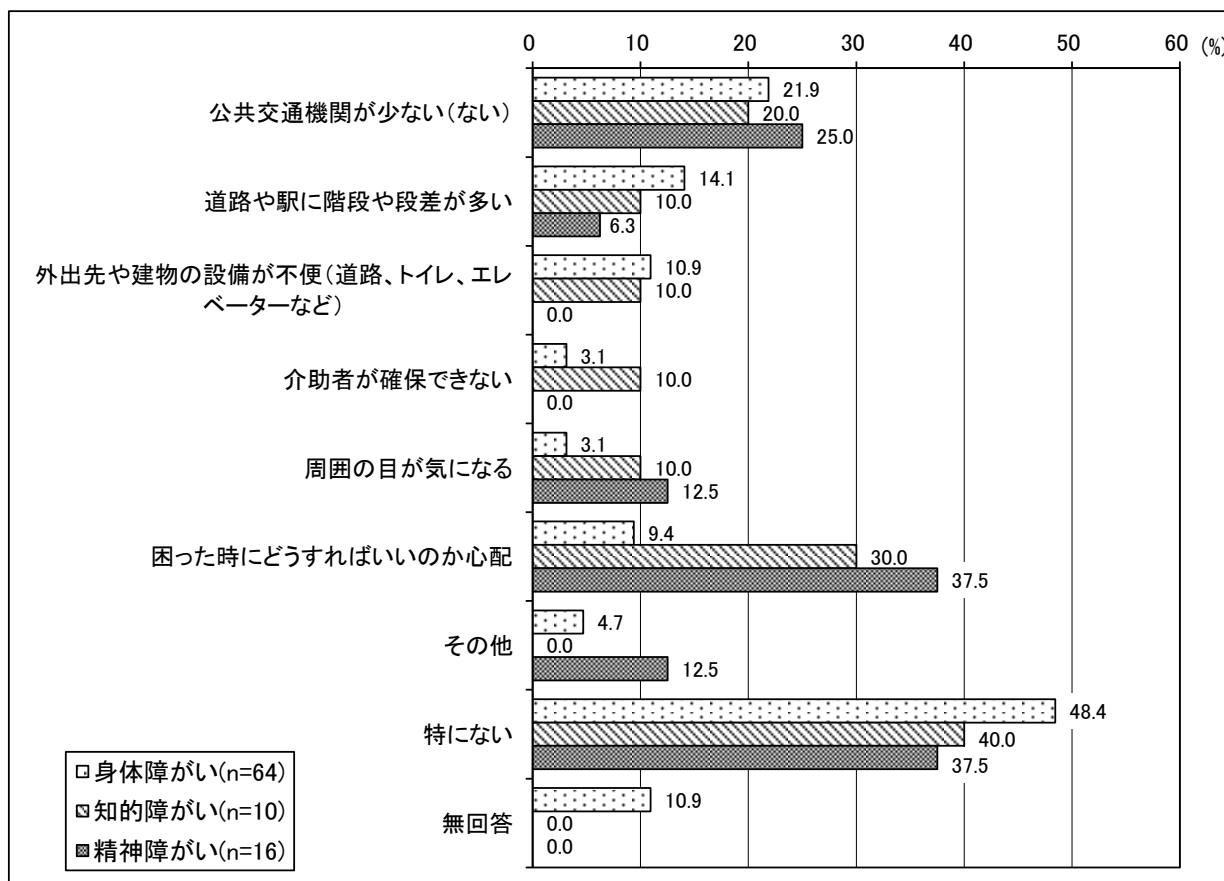


問16 外出するときに困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

外出時に困ることは、「公共交通機関が少ない(ない)」(22.7%)や「困った時にどうすればいいのか心配」(13.6%)、「道路や駅に階段や段差が多い」(11.4%)などが上位となっています。なお、「特にない」が47.7%と最も高くなっています。

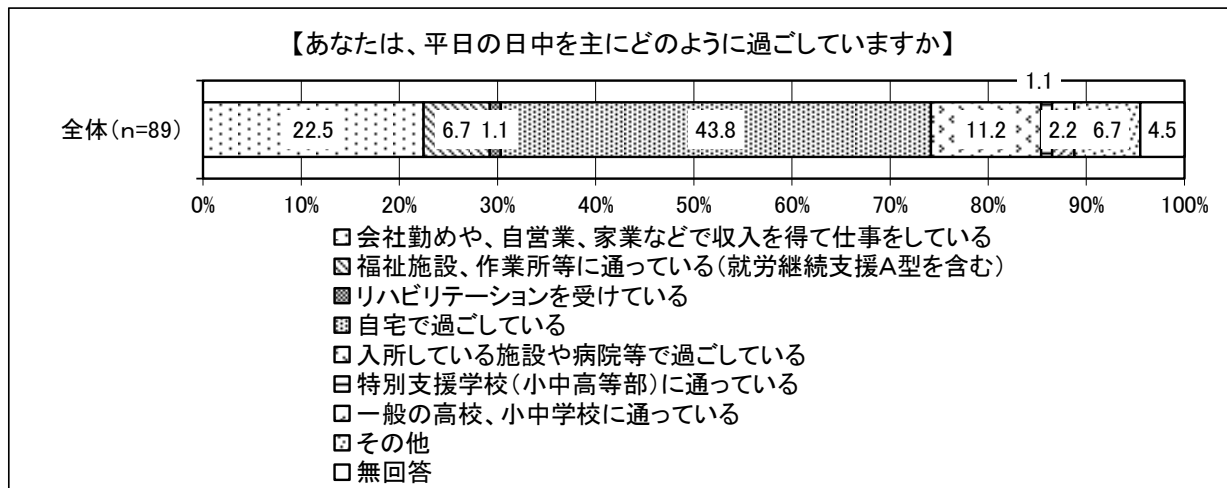


障がい別にみると、知的障がい及び精神障がいで「困った時にどうすればいいのか心配」(37.5%、30.0%)の比率が高くなっています。一方、身体障がいは「道路や駅に階段や段差が多い」や「外出先や建物の設備が不便(道路、トイレ、エレベーターなど)」において他障がいより比率が高くなっています。

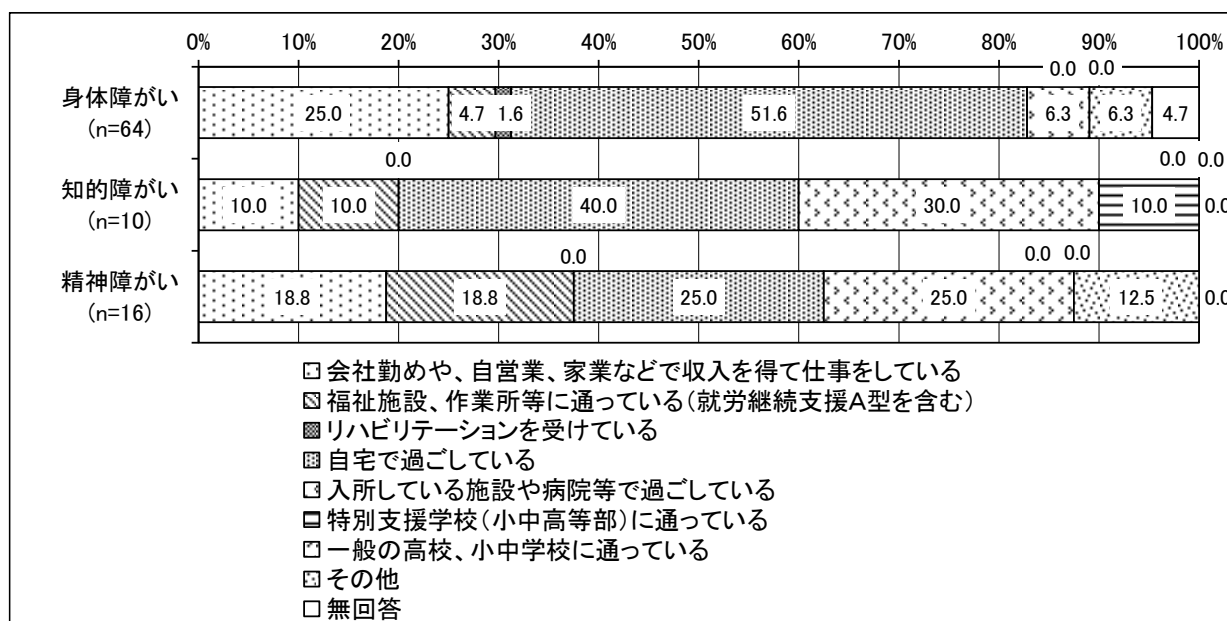


問17 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（○は1つだけ）

平日の日中の過ごし方は、「自宅で過ごしている」が43.8%と最も高く、以下、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」（22.5%）、「入所している施設や病院等で過ごしている」（11.2%）などとなっています。



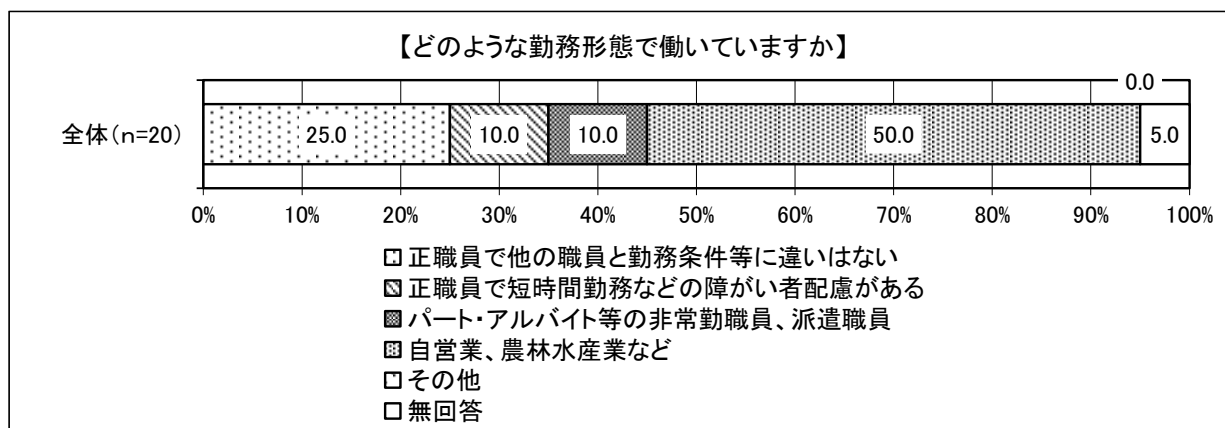
障がい別にみると、いずれも「自宅で過ごしている」が最も高く、以下、身体障がいでは「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」（25.0%）が、知的障がいでは「入所している施設や病院等で過ごしている」（30.0%）が高くなっています。精神障がいでは「入所している施設や病院等で過ごしている」（25.0%）や「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」及び「福祉施設、作業所等に通っている」（ともに18.8%）の比率も高くなっています。



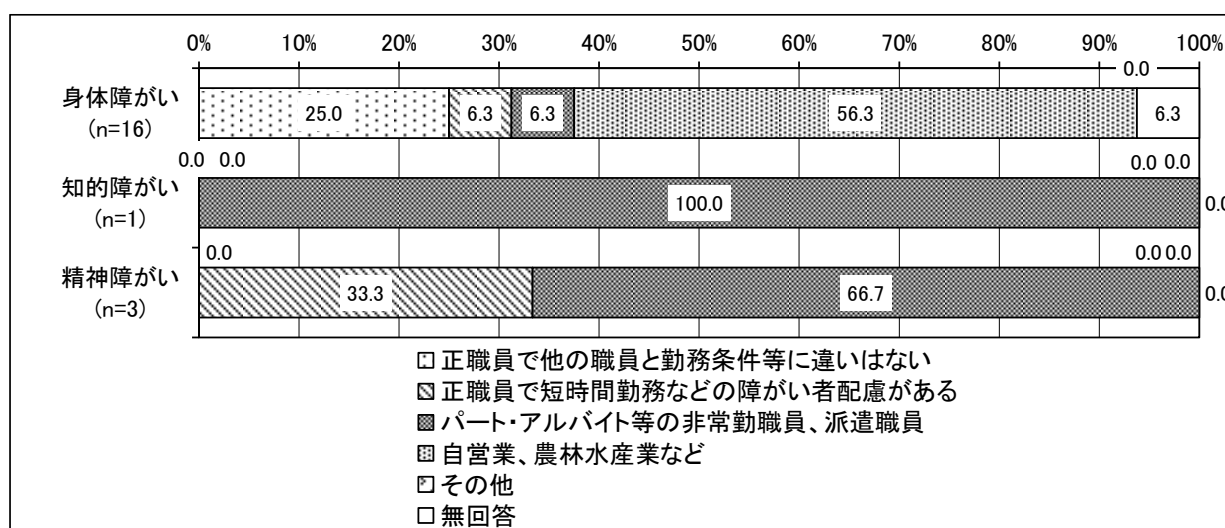
【※問18は、問17で 1 を選択した場合にお伺いします】

問18 どのような勤務形態で働いていますか。（○は1つだけ）

勤務形態は、「自営業、農林水産業など」が 50.0%と最も高く、以下、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」（25.0%）、「正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある」及び「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」（ともに 10.0%）となっています。



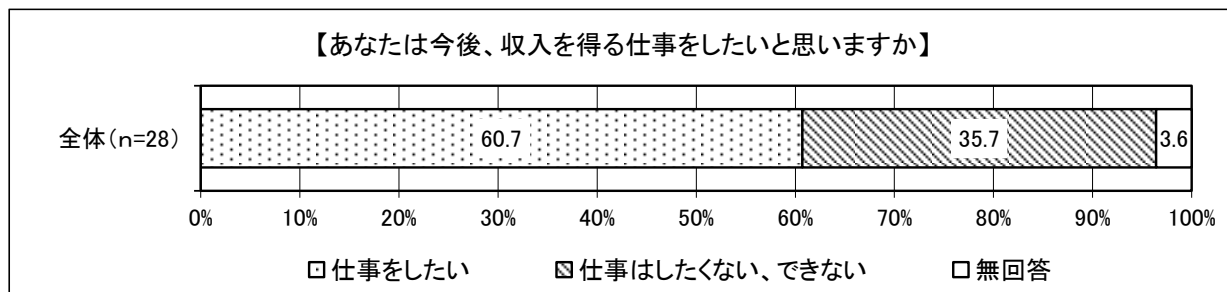
障がい別にみると、身体障がいでは「自営業、農林水産業など」が 56.3%と高くなっています。知的障がい及び精神障がいでは「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の比率が高くなっています。



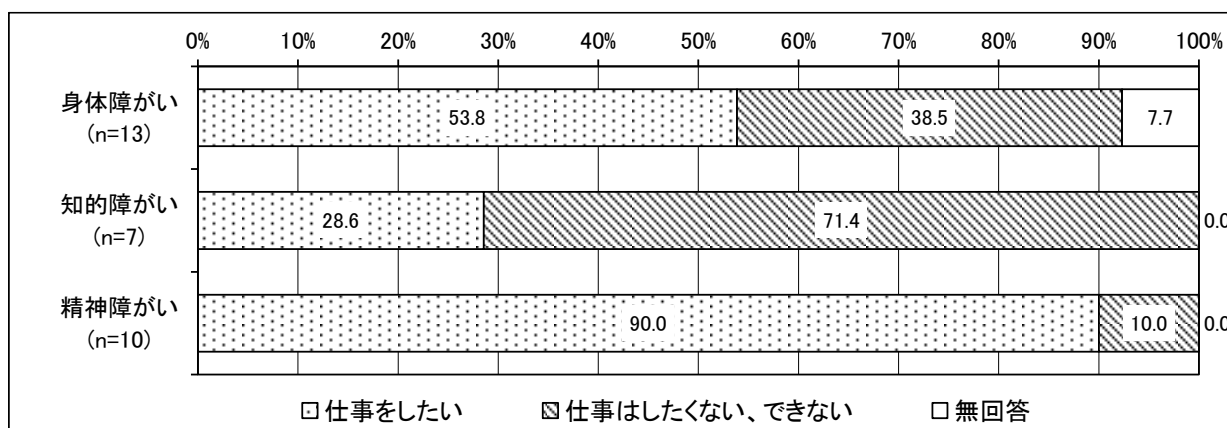
【※問19から問21は、問17で2～8を選択した18～64歳の方にお伺いします】

問19 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○は1つだけ）

今後、収入を得る仕事をしたいかは、「仕事をしたい」が60.7%、「仕事はしたくない、できない」が35.7%となっています。

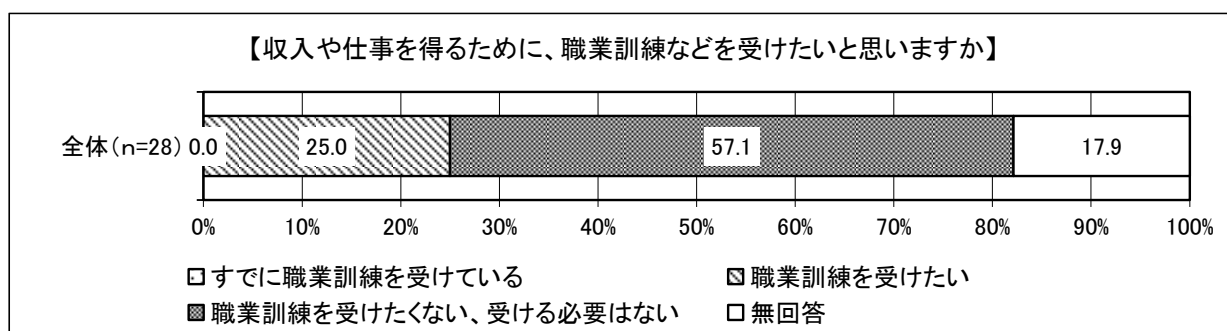


障がい別にみると、精神障がい及び身体障がいでは「仕事をしたい」（90.0%、53.8%）が、知的障がいでは「仕事はしたくない、できない」（71.4%）が、それぞれ高くなっています。

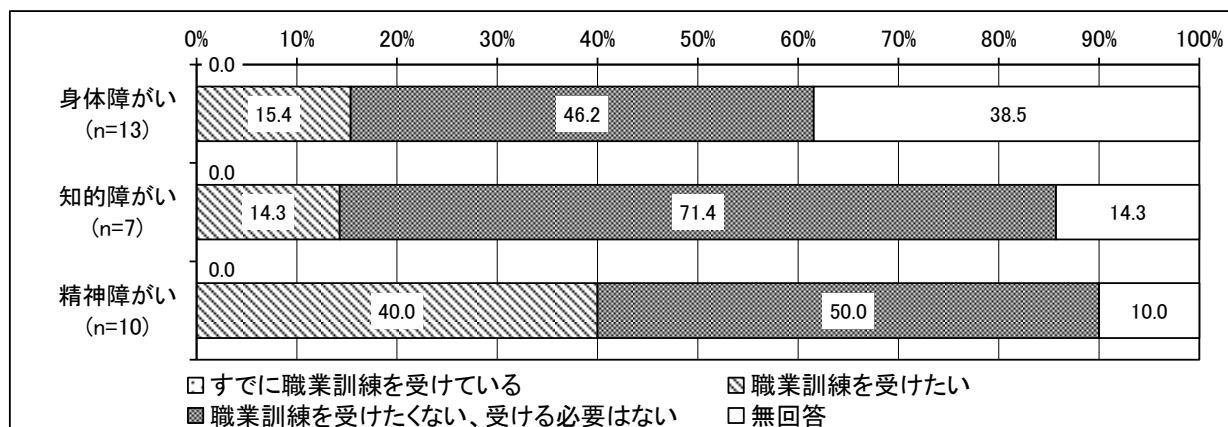


問20 収入や仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか（○は1つだけ）

収入や仕事を得るために職業訓練などを受けたいかについては、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が57.1%と過半数を占めており、「職業訓練を受けたい」が25.0%となっています。

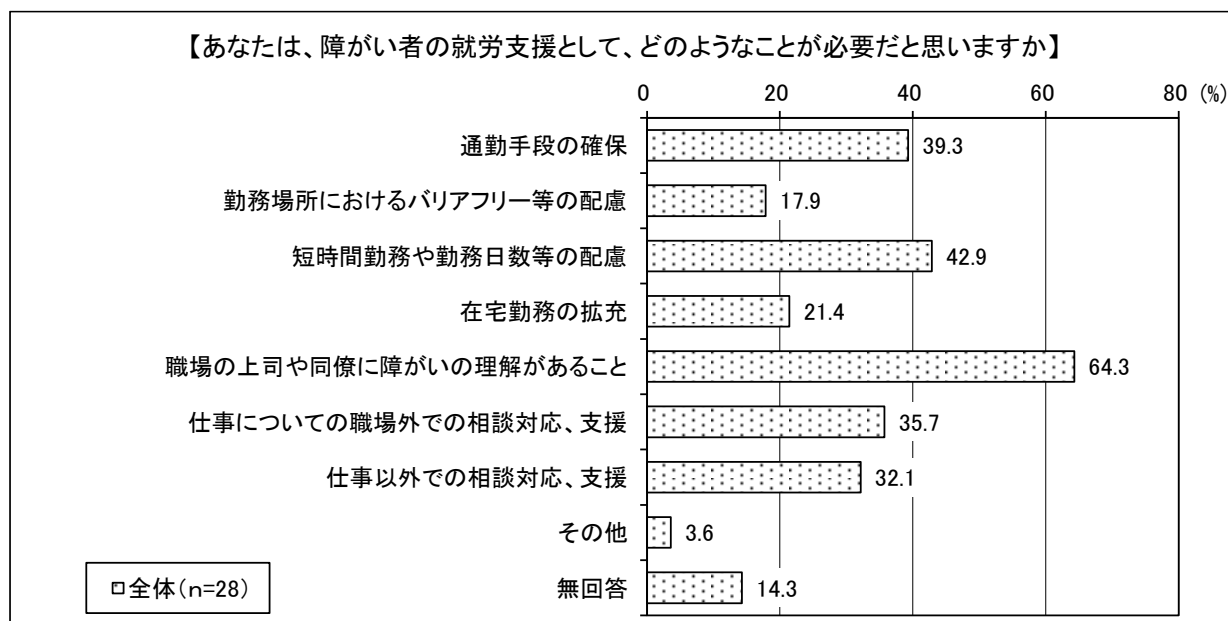


障がい別にみると、精神障がいでは「職業訓練を受けたい」が 40.0%と高くなっています。

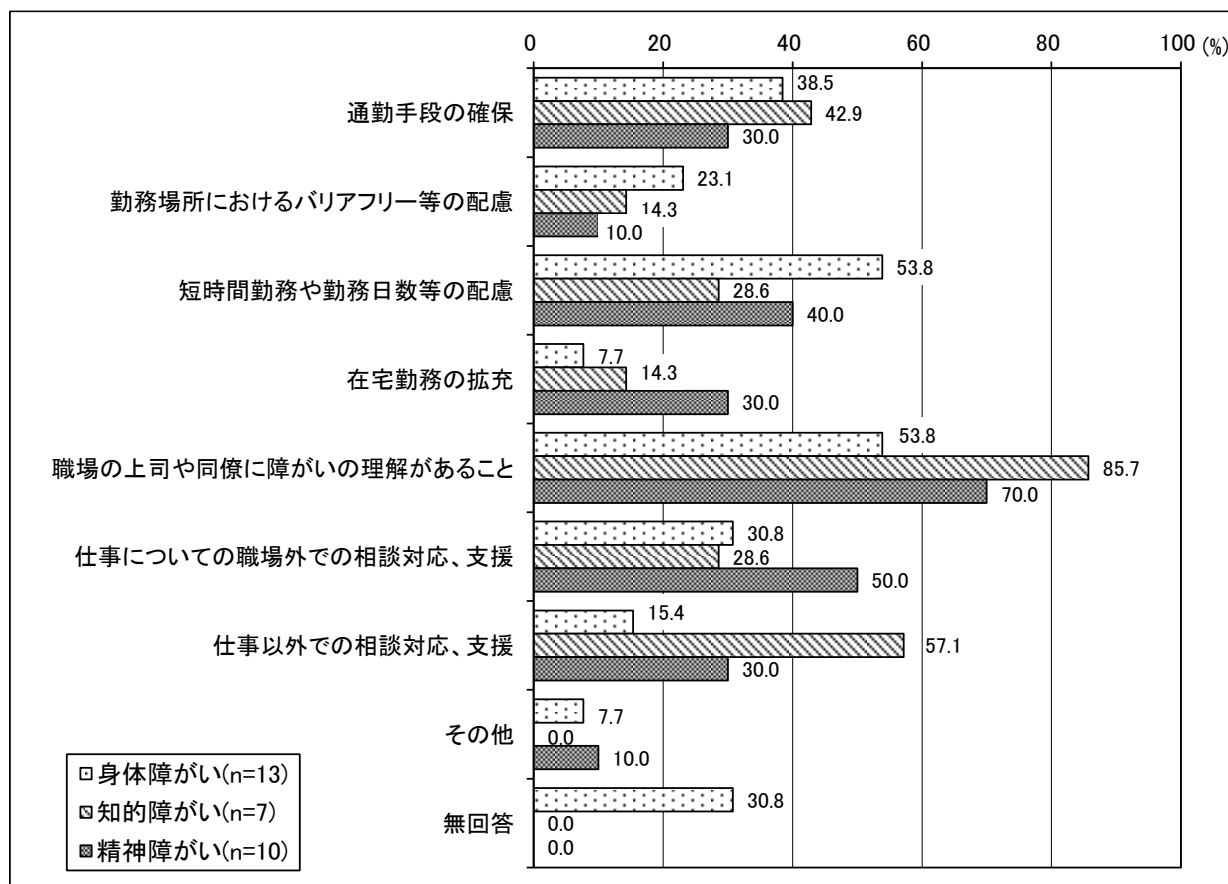


問21 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者の就労支援として必要なことは、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が 64.3%と最も高く、以下、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(42.9%)、「通勤手段の確保」(39.3%) などとなっています。



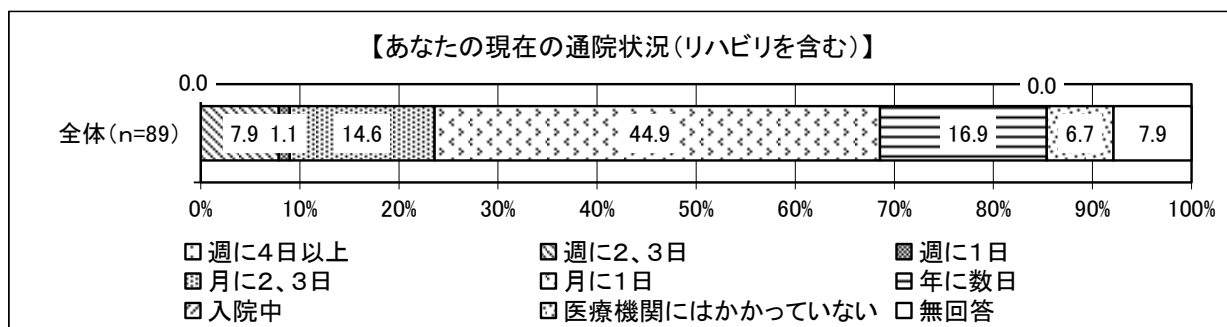
障がい別にみると、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」がそれぞれ高くなっていますが、知的障がいでは「仕事以外での相談対応、支援」（57.1%）、身体障がいでは「短時間勤務や勤務日数等の配慮」（53.8%）、精神障がいでは「仕事についての職場外での相談対応、支援」（50.0%）も半数を超える高い比率となっています。



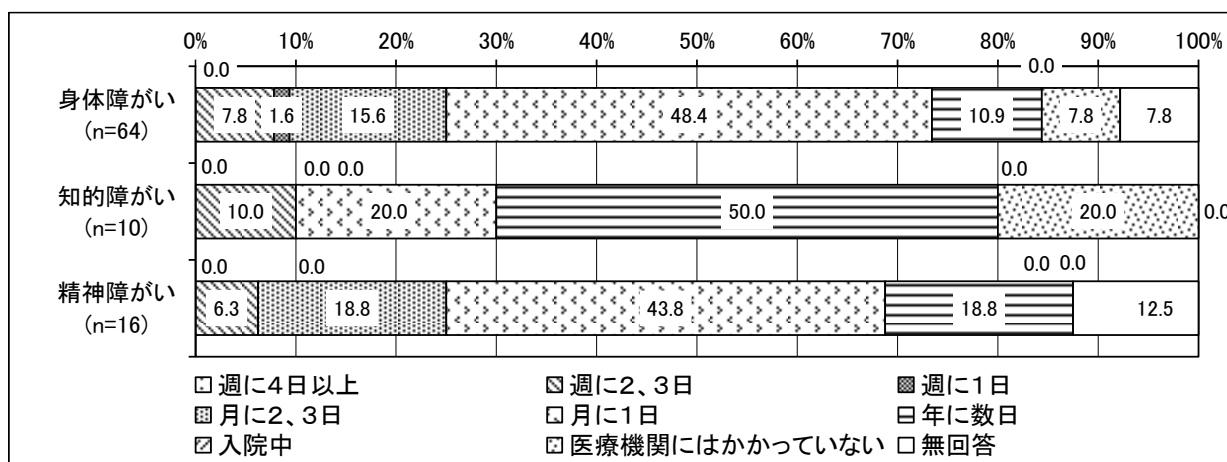
◇ 保健・医療について

問22 あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は次のうち、どれですか。（○は1つだけ）

現在の通院状況は、「月に1日」が44.9%と最も高く、以下、「年に数日」が16.9%、「月に2、3日」が14.6%と続きます。なお、「医療機関にはかかっていない」は6.7%となっています。

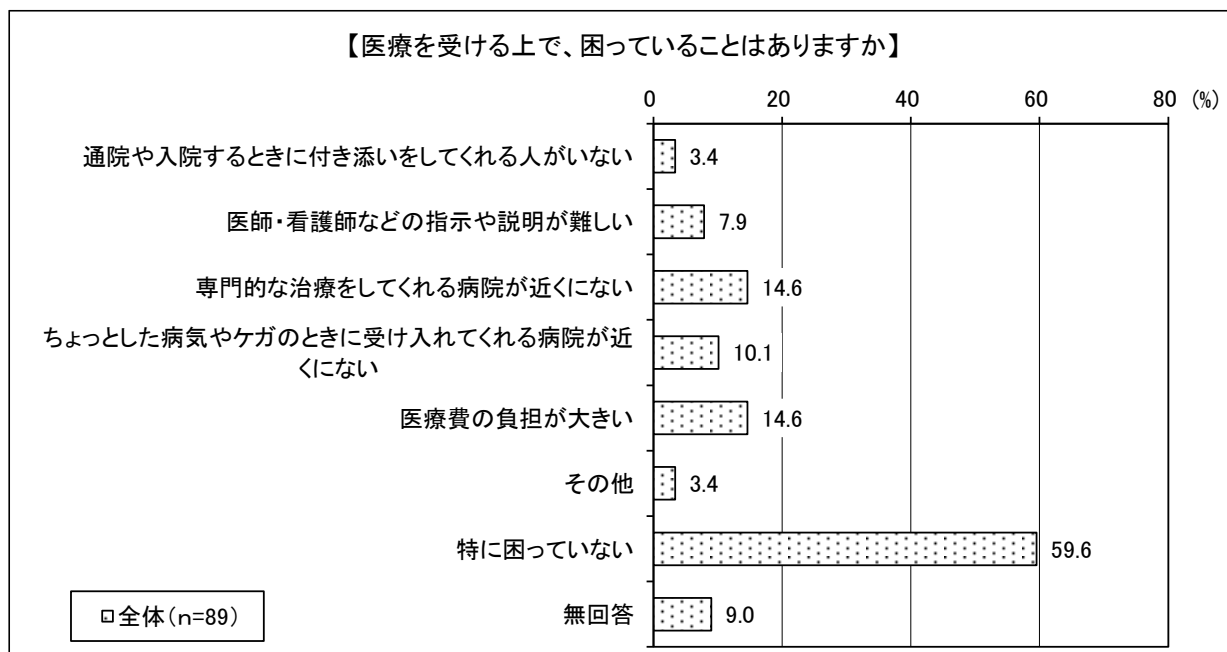


障がい別にみると、身体障がい及び精神障がいでは「月に1日」（48.4%、43.8%）が、知的障がいでは「年に数日」（50.0%）が、それぞれ最も高くなっています。

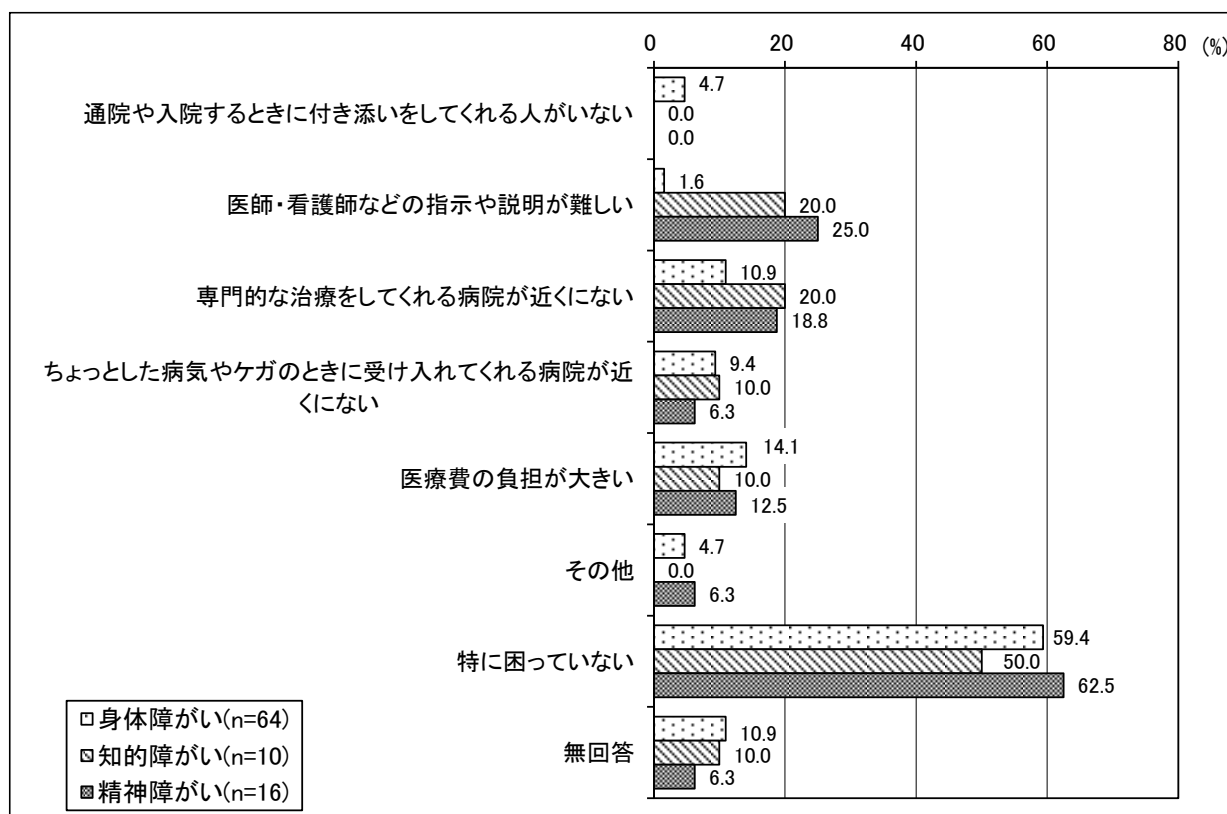


問23 医療を受ける上で、困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

医療を受ける上で、困っていることは、「専門的な治療をしてくれる病院が近くにない」及び「医療費の負担が大きい」がともに14.6%、「ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない」が10.1%などとなっています。なお、「特に困っていない」が59.6%と最も高くなっています。



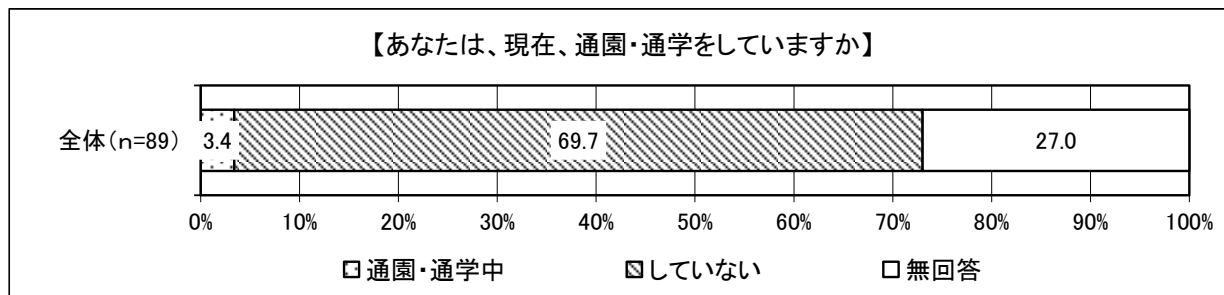
困っていることについて障がい別にみると、身体障がいは「医療費の負担が大きい」(14.1%)が、知的障がいで「医師・看護師などの指示や説明が難しい」及び「専門的な治療をしてくれる病院が近くにない」(ともに20.0%)が、精神障がいで「医師・看護師などの指示や説明が難しい」(25.0%)が、それぞれ最も高くなっています。



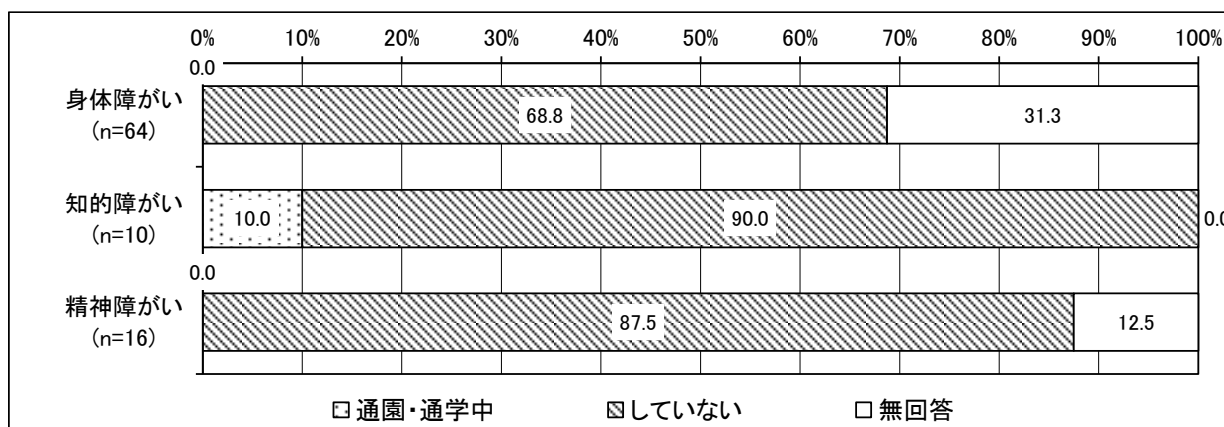
◇ 教育・就学について

問24 あなたは、現在、通園・通学をしていますか。（○は1つだけ）

現在、通園・通学をしているかについては、「していない」が69.7%、「通園・通学中」が3.4%となっています。



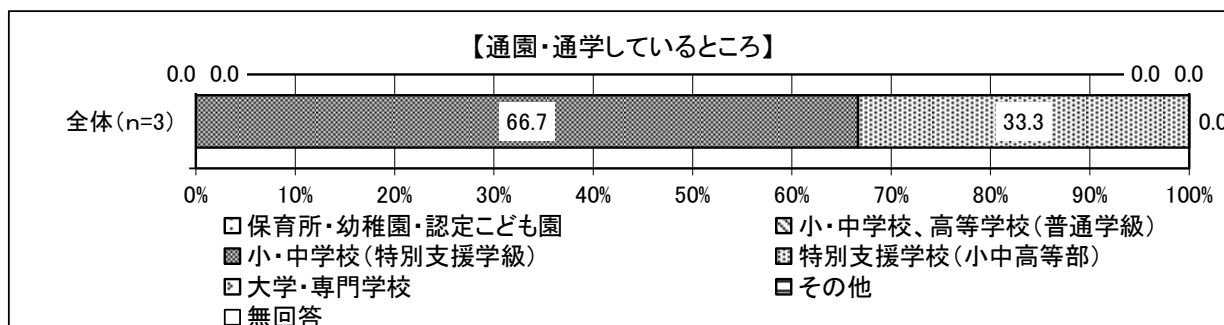
障がい別にみると、「通園・通学中」は知的障がいで10.0%（1人）となっています。



【※問25から問27までは、問24で1「通園・通学中」を選択した場合にお伺いします】
問25 通園・通学しているところは、次のうちどこですか。（○は1つだけ）

通園・通学しているところは、「小・中学校（特別支援学級）」が66.7%、「特別支援学校（小中高等部）」が33.3%となっています。

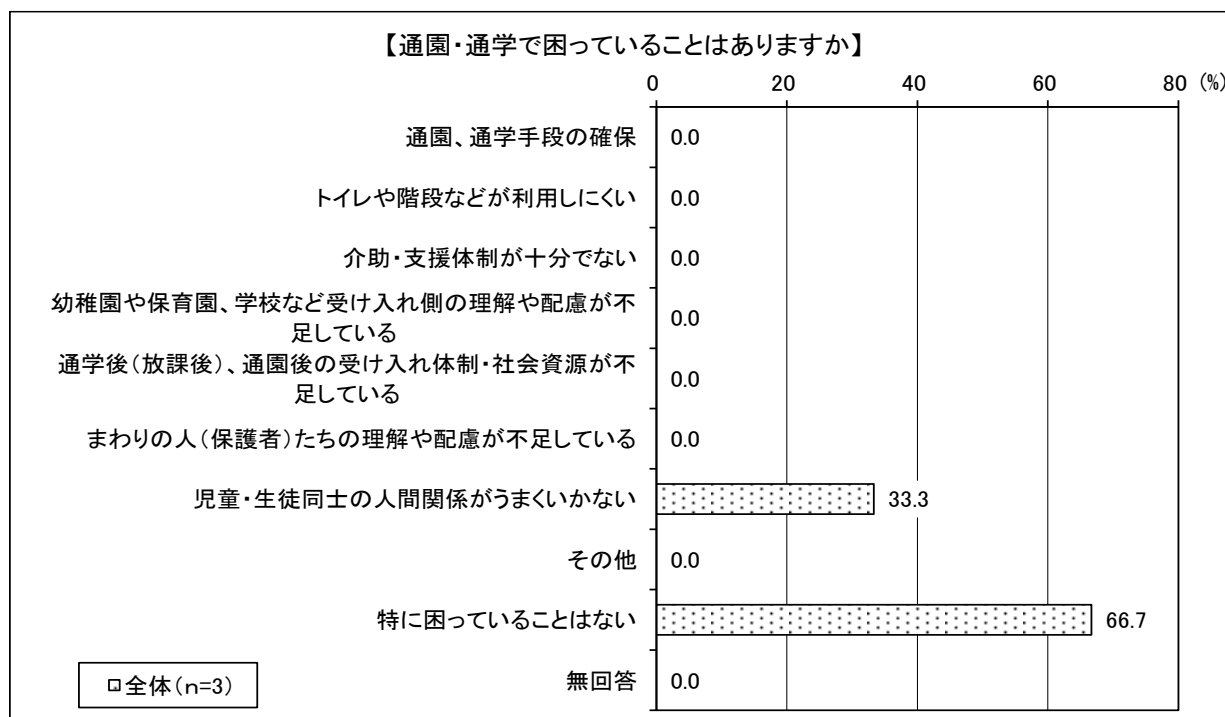
障がい別にみると、知的障がい（1人）は「特別支援学校（小中高等部）」と回答しています。



問26 通園・通学で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

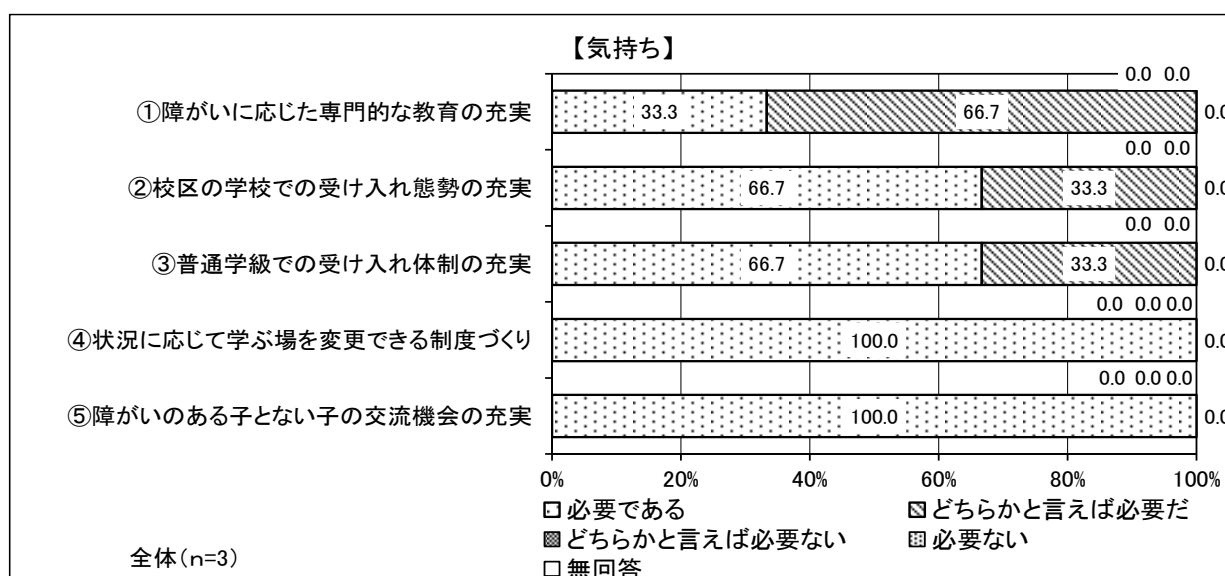
通園・通学で困っていることは、「特に困っていることはない」が 66.7%、「児童・生徒同士の人間関係がうまくいかない」が 33.3%となっています。

障がい別にみると、知的障がい（1人）は「特に困っていることはない」と回答しています。



問27 次の①から⑤のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちにもっとも近いものをお答えください。（〇は1つ）

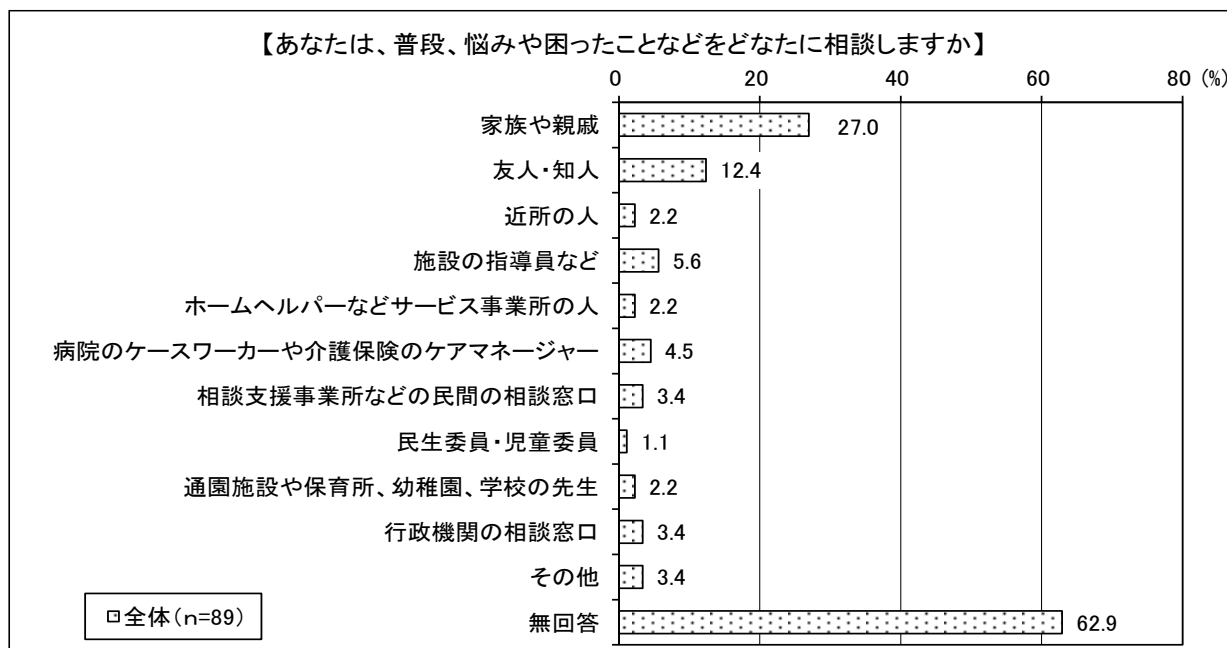
『①障がいに応じた専門的な教育の充実』は、「必要である」が 33.3%、「どちらかと言えば必要だ」が 66.7%、『②校区の学校での受け入れ態勢の充実』及び『③普通学級での受け入れ体制の充実』は、「必要である」が 66.7%、「どちらかと言えば必要だ」が 33.3%、『④状況に応じて学ぶ場を変更できる制度づくり』及び『⑤障がいのある子とない子の交流機会の充実』は「必要である」が 100.0%となっています。



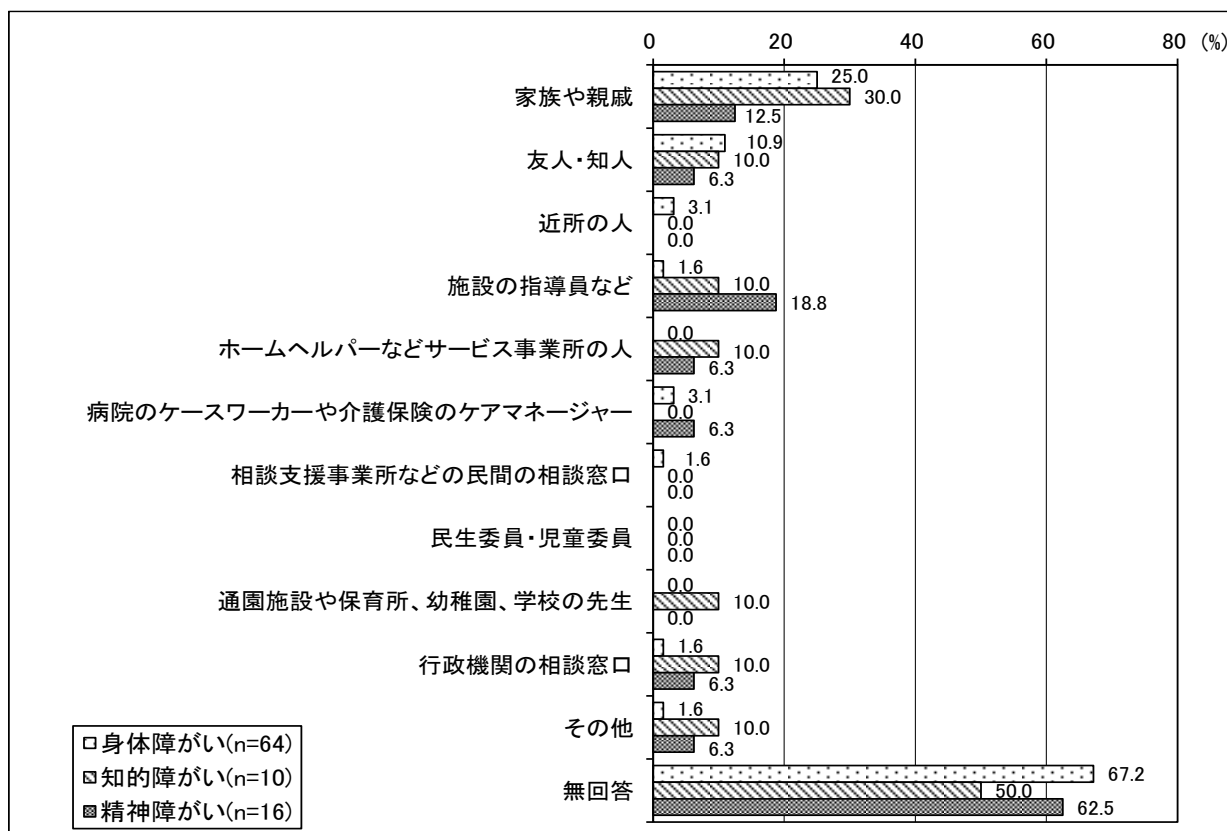
◇ 相談相手について

問28 あなたは、普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや等の相談相手は、「家族や親戚」27.0%や「友人・知人」12.4%が高くなっています。

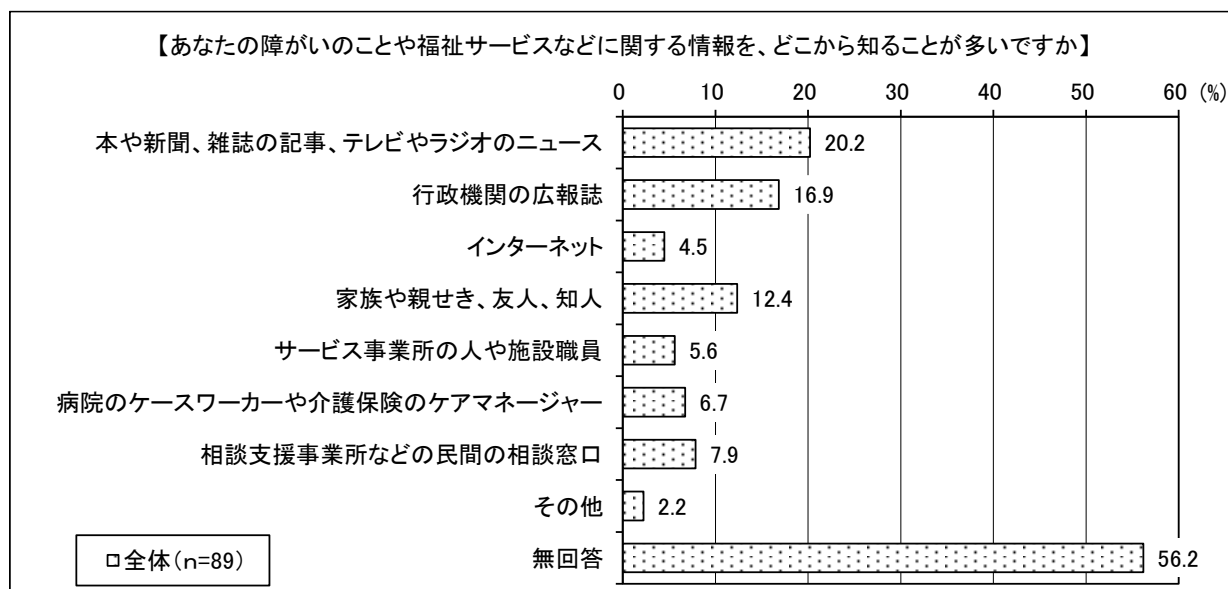


障がい別にみると、知的障がい及び身体障がいでは「家族や親戚」（30.0%、25.0%）が、精神障がいでは「施設の指導員など」（18.8%）が、それぞれ最も高くなっています。

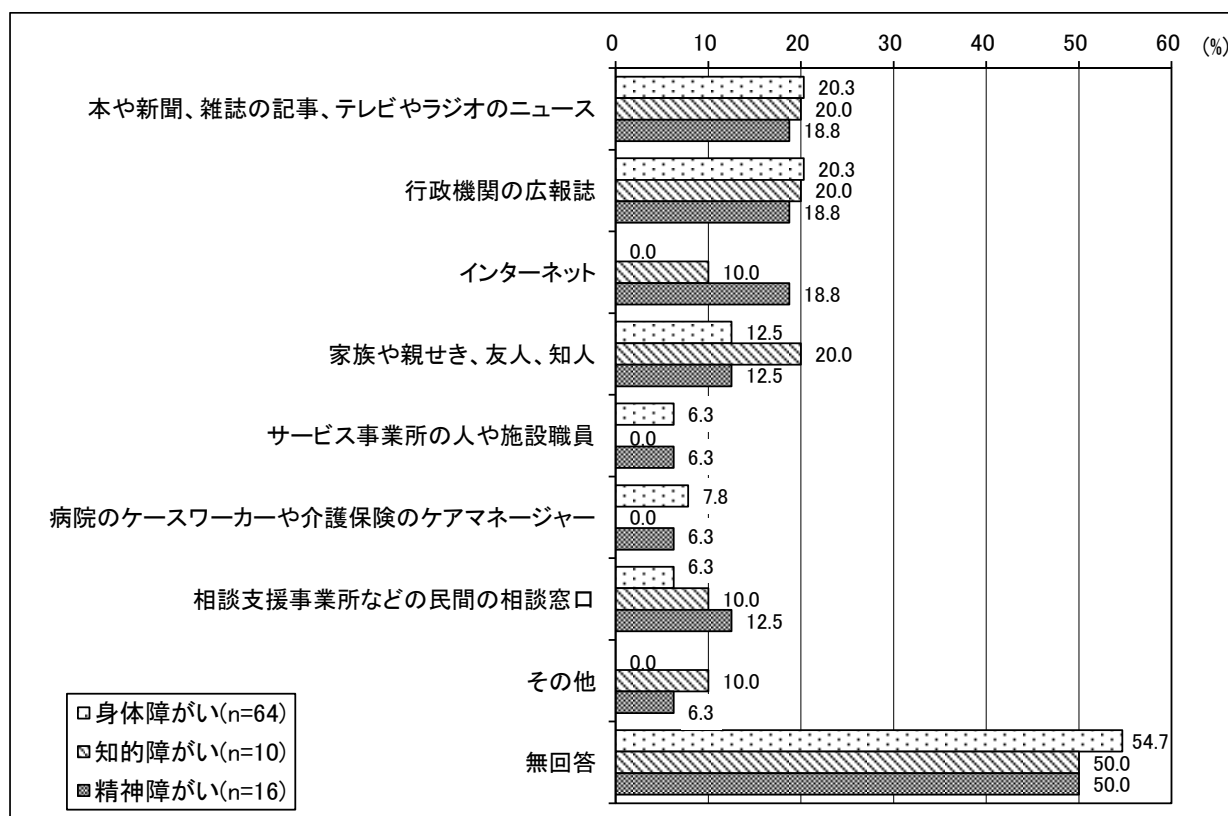


問29 あなたの障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

福祉サービスなどに関する情報の入手先については、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が20.2%と最も高く、以下、「行政機関の広報誌」（16.9%）、「家族や親せき、友人、知人」（12.4%）などとなっています。



障がい別にみると、いずれの障がいも「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」及び「行政機関の広報誌」が高く、さらに知的障がいでは「家族や親せき、友人、知人」（20.0%）、精神障がいは「インターネット」（18.8%）の比率も高くなっています。



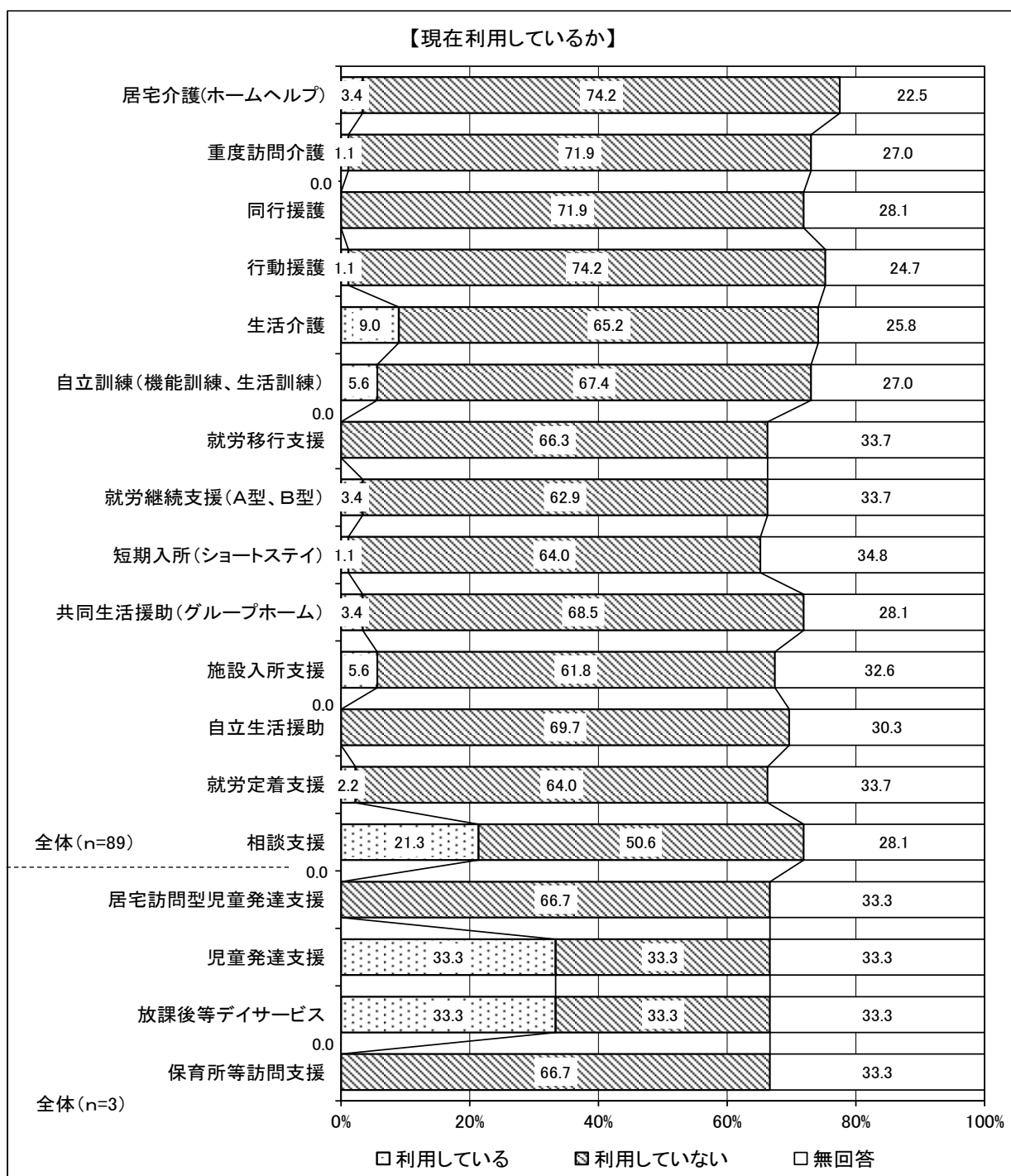
◇ あなたの障害福祉サービス等の利用について

問30 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

現在、利用しているサービスは、「相談支援」が21.3%と最も高く、以下、「生活介護」(9.0%)、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」及び「施設入所」（ともに5.6%）と続きます。

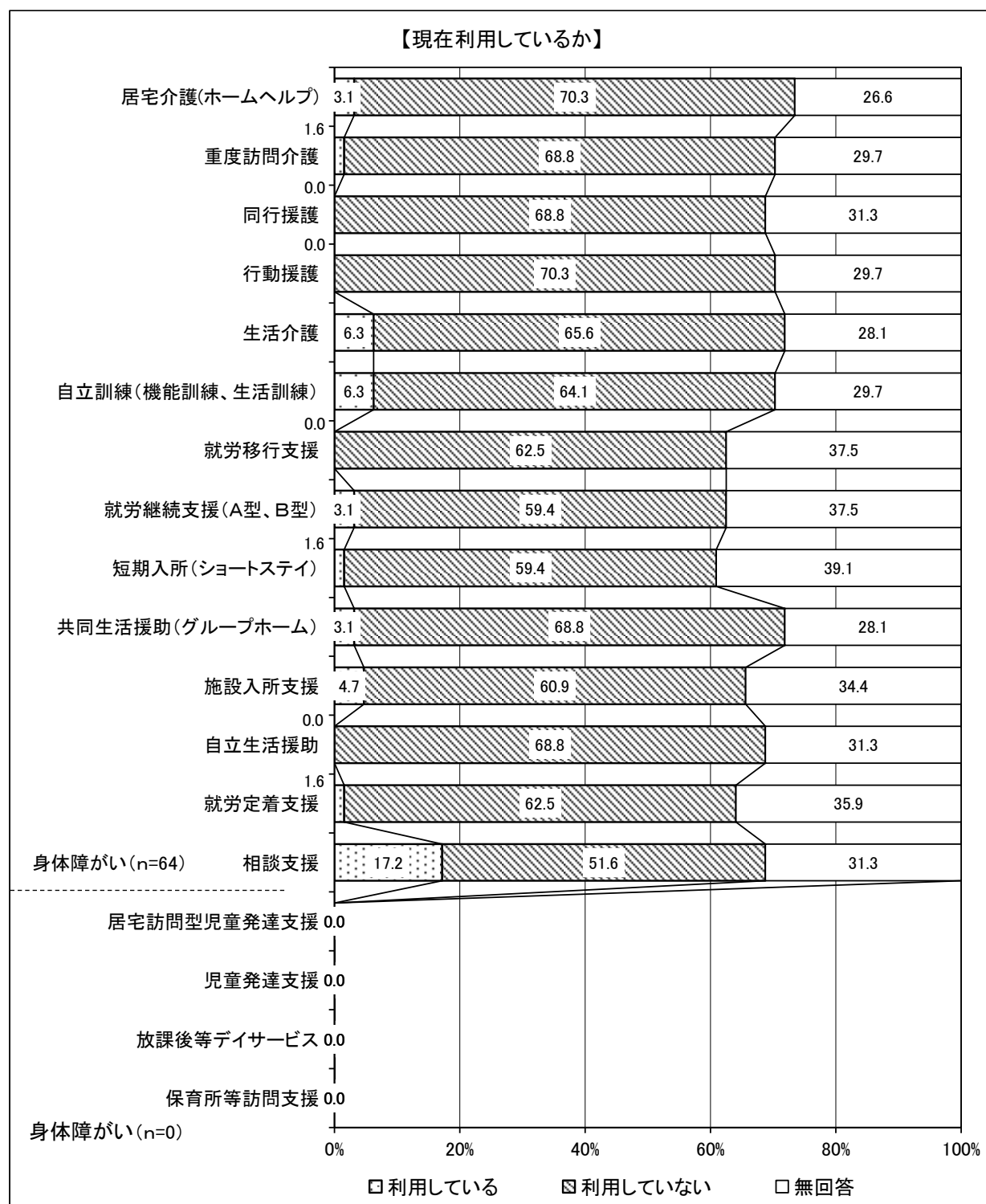
障がい児を対象とする「居宅訪問型児童発達支援」以下4サービスについて「利用している」は、「児童発達支援」及び「放課後等デイサービス」がともに33.3%となっています。

◇全体



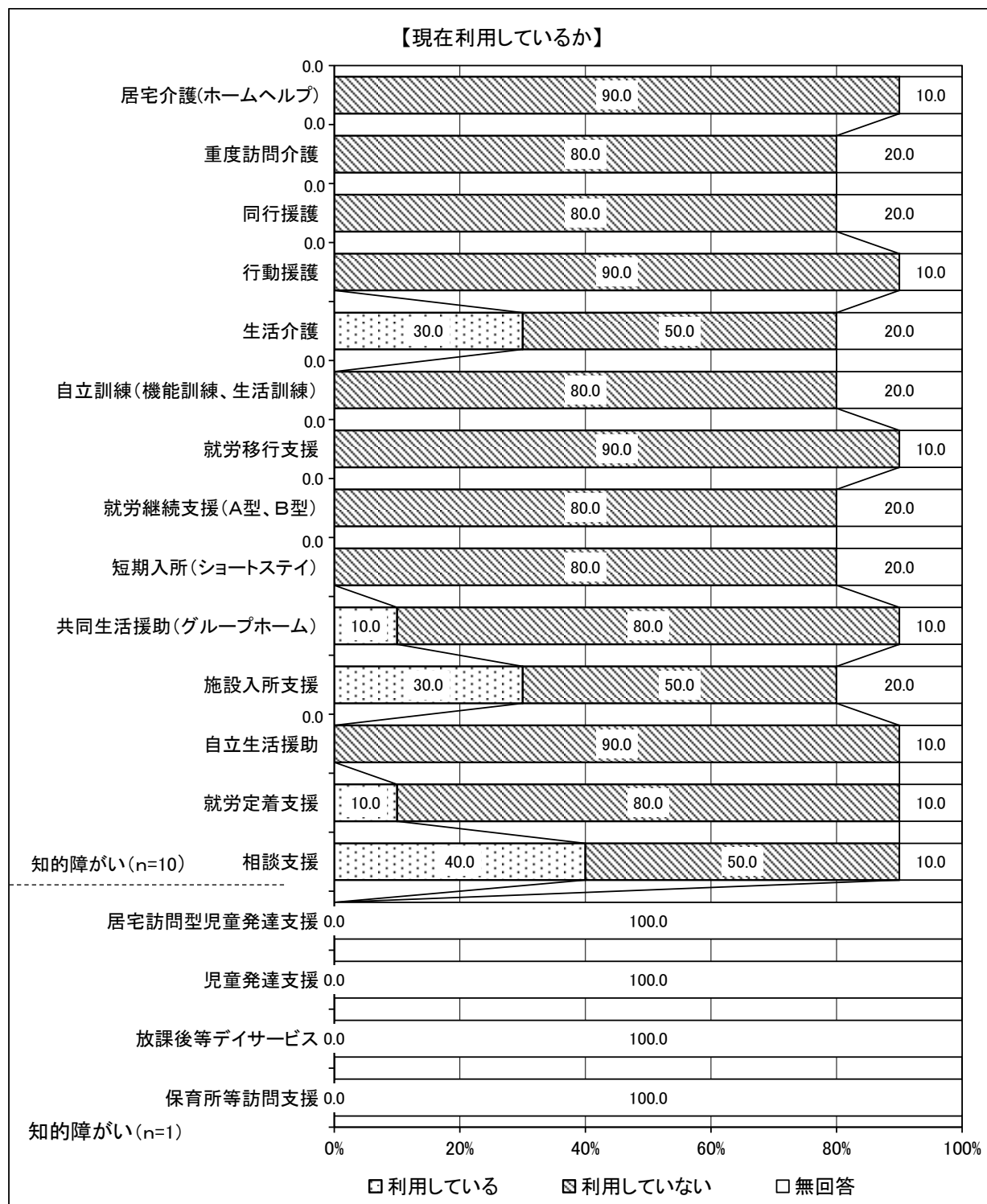
身体障がい者で現在、利用しているサービスは、「相談支援」(17.2%)や「生活介護」及び「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(ともに6.3%)などが高くなっています。

◇身体障がい



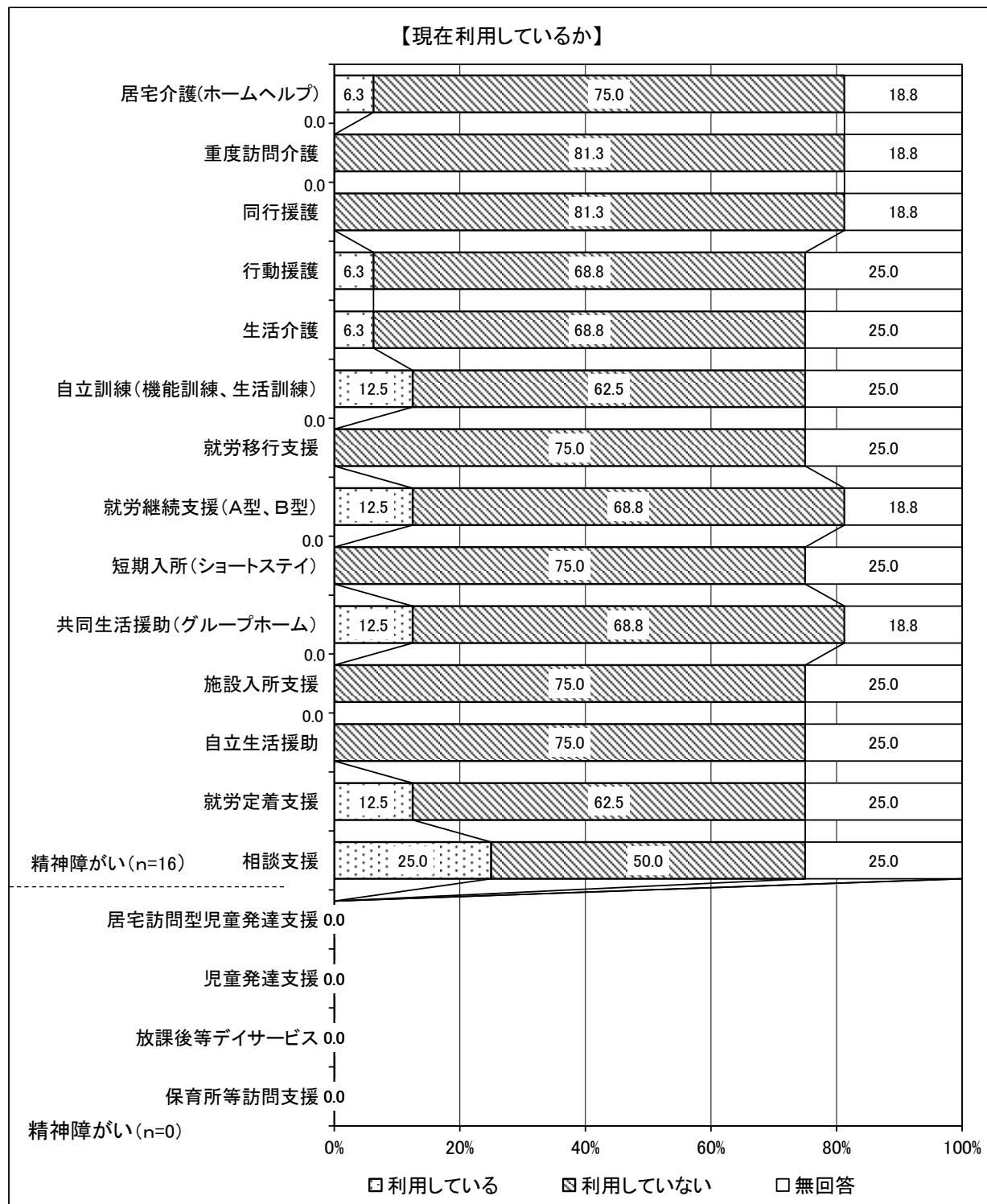
知的障がい児で現在、利用しているサービスは、「相談支援」(40.0%)や「生活介護」及び「施設入所支援」(ともに30.0%)などが高くなっています。

◇知的障がい



精神障がいで現在、利用しているサービスは、「相談支援」(25.0%)や「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」、「就労継続支援(A型、B型)」、「共同生活援助(グループホーム)」、「就労定着支援」(それぞれ12.5%)などが高くなっています。

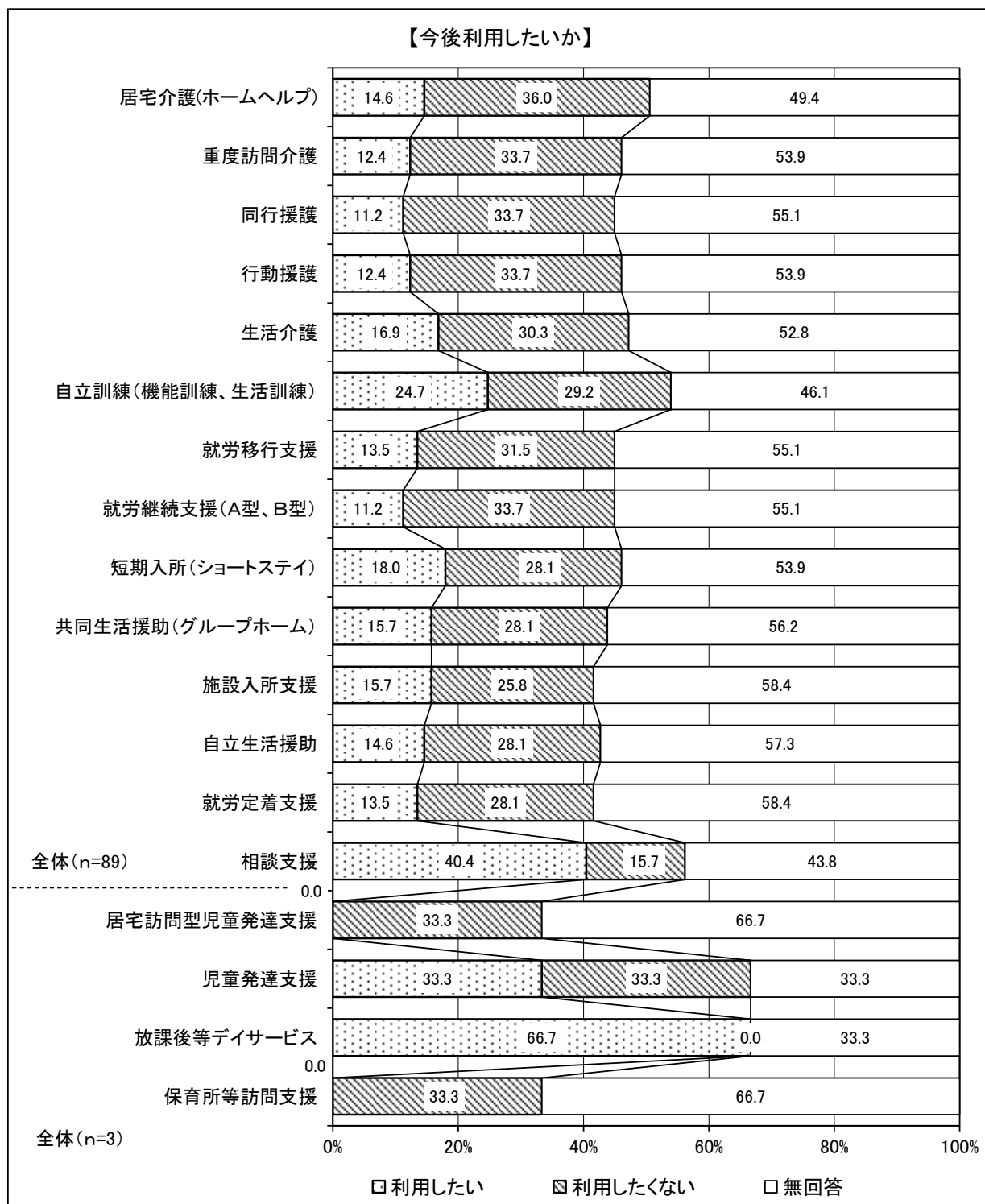
◇精神障がい



今後、利用したいサービスは、「相談支援」が40.4%と最も高く、以下、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（24.7%）、「短期入所（ショートステイ）」（18.0%）、「生活介護」（16.9%）と続きます。

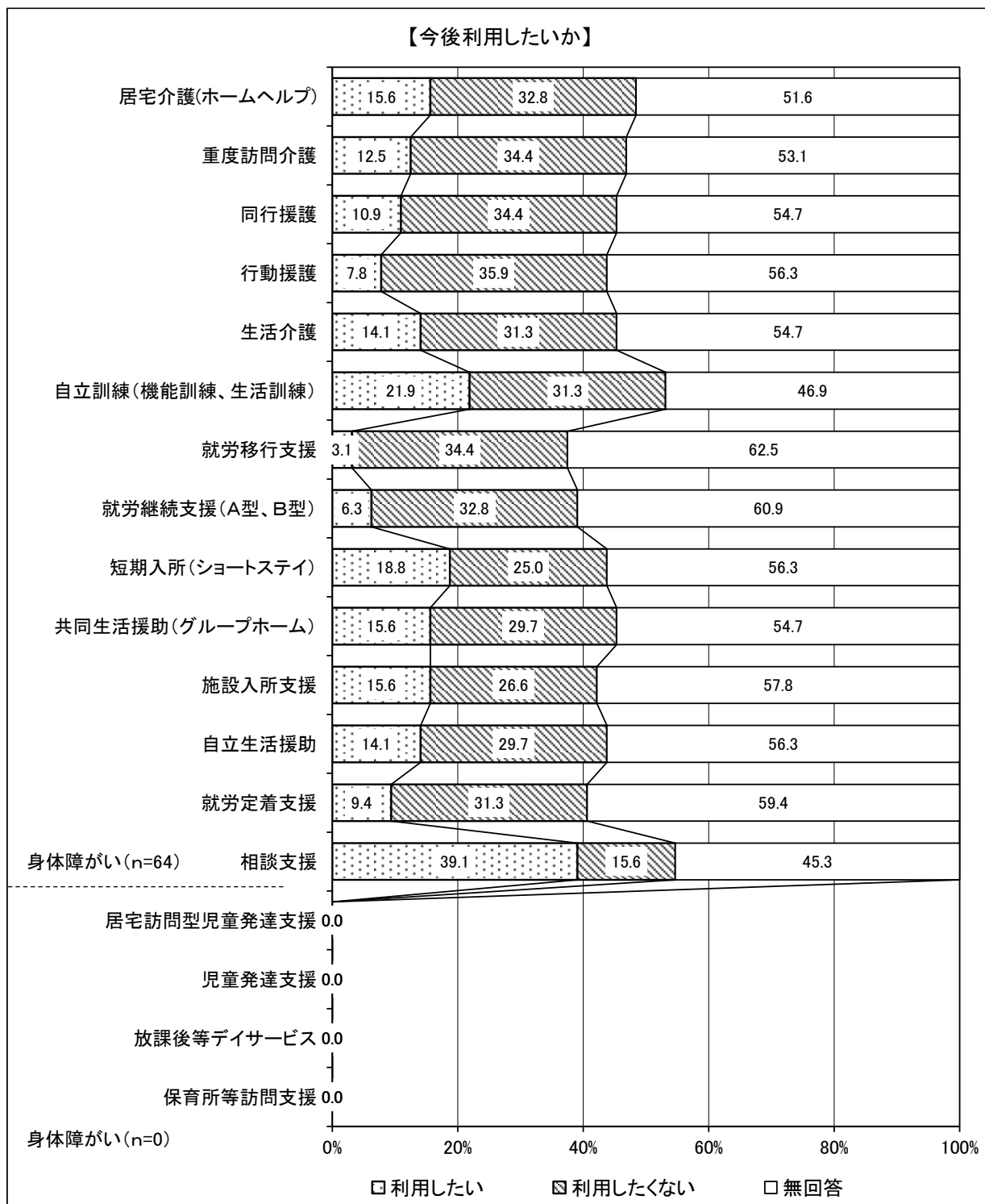
障がい児を対象とする「居宅訪問型児童発達支援」以下4サービスについて「利用したい」は、「放課後等デイサービス」が66.7%、「児童発達支援」が33.3%となっています。

◇全体



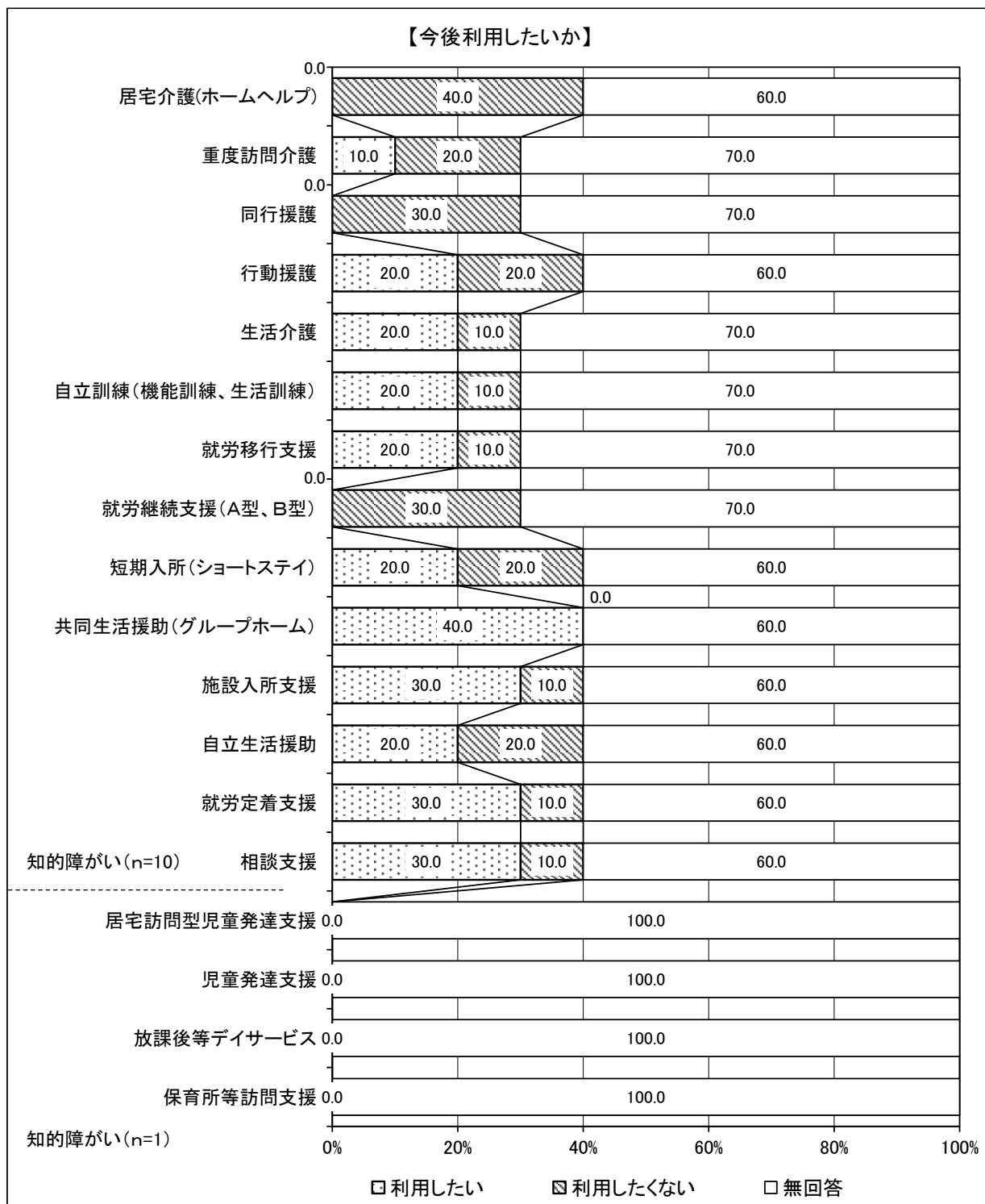
身体障がい者で今後、利用したいサービスは、「相談支援」(39.1%)や「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(21.9%)、「短期入所(ショートステイ)」(18.8%)などが高くなっています。

◇身体障がい



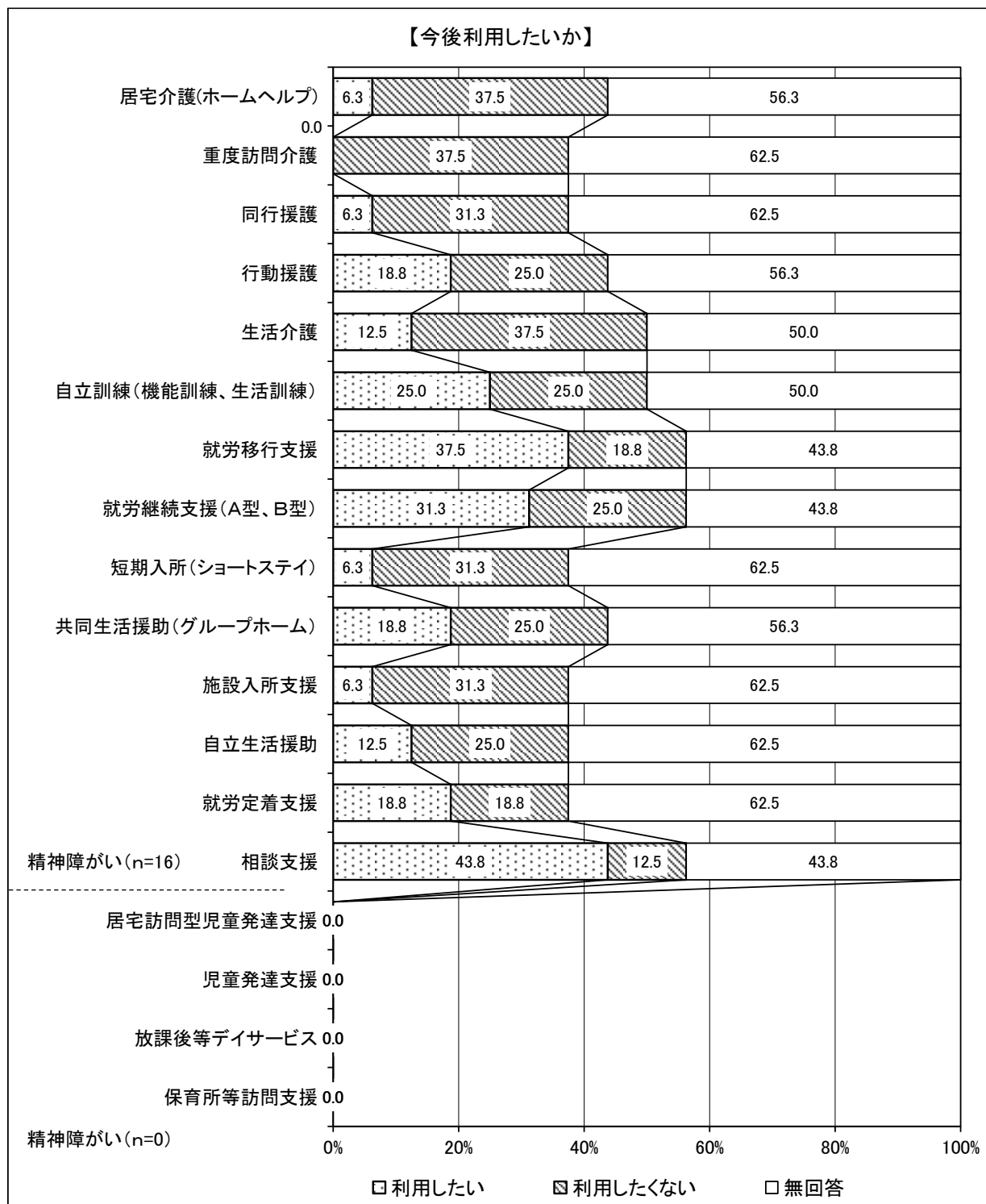
知的障がい者で今後、利用したいサービスは、「共同生活援助（グループホーム）」（40.0%）や「施設入所支援」及び「就労定着支援」、「相談支援」（それぞれ 30.0%）などが高くなっています。

◇知的障がい



精神障がい者で今後、利用したいサービスは、「相談支援」(43.8%)や「就労移行支援」(37.5%)、「就労継続支援（A型、B型）」(31.3%)、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」(25.0%) などが高くなっています。

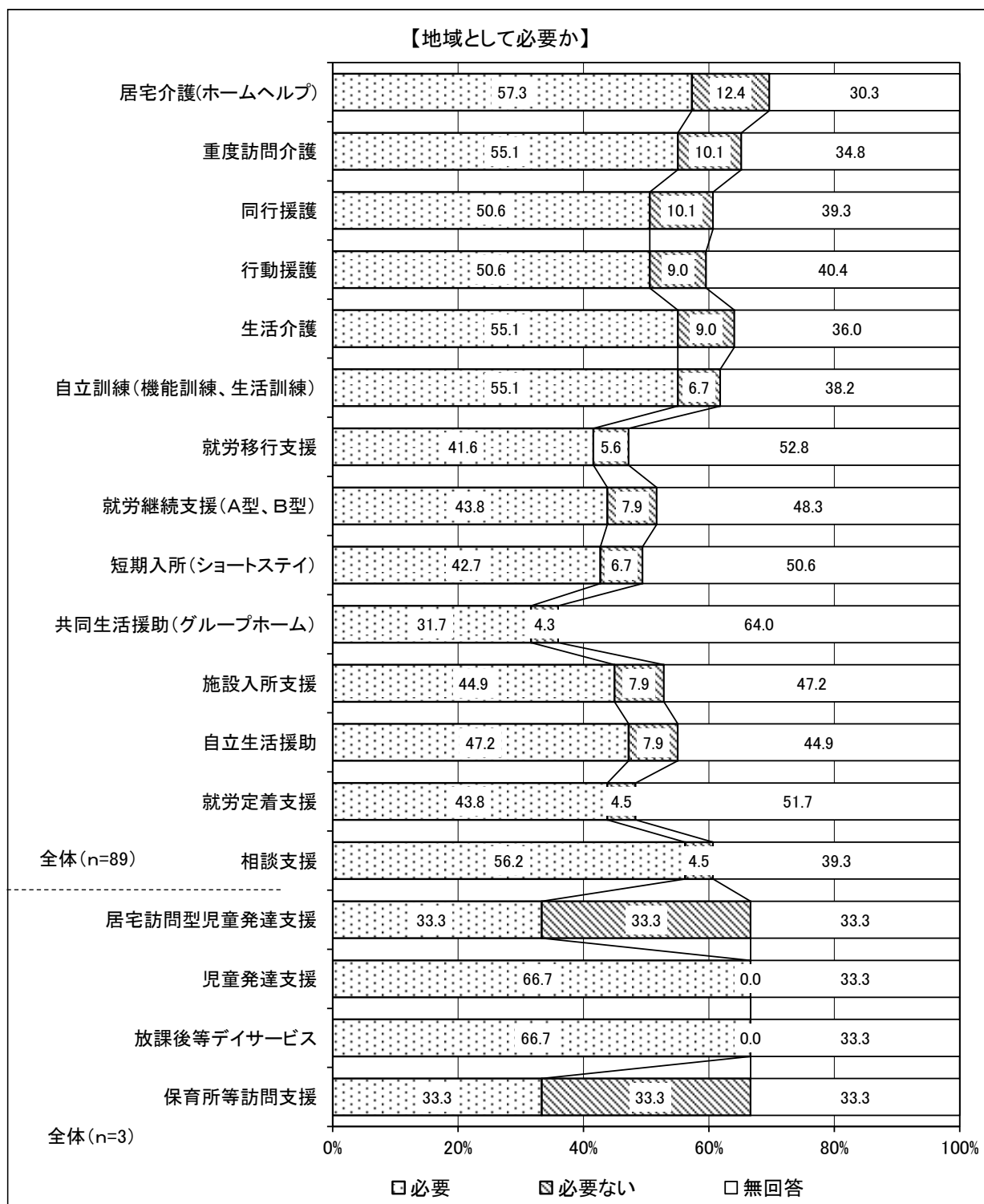
◇精神障がい



地域として必要なサービスは、「居宅介護(ホームヘルプ)」が 57.3%と最も高く、以下、「相談支援」が 56.2%、「重度訪問介護」及び「生活介護」、「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」がそれぞれ 55.1%、「同行援護」及び「行動援護」がともに 50.6%と続きます。

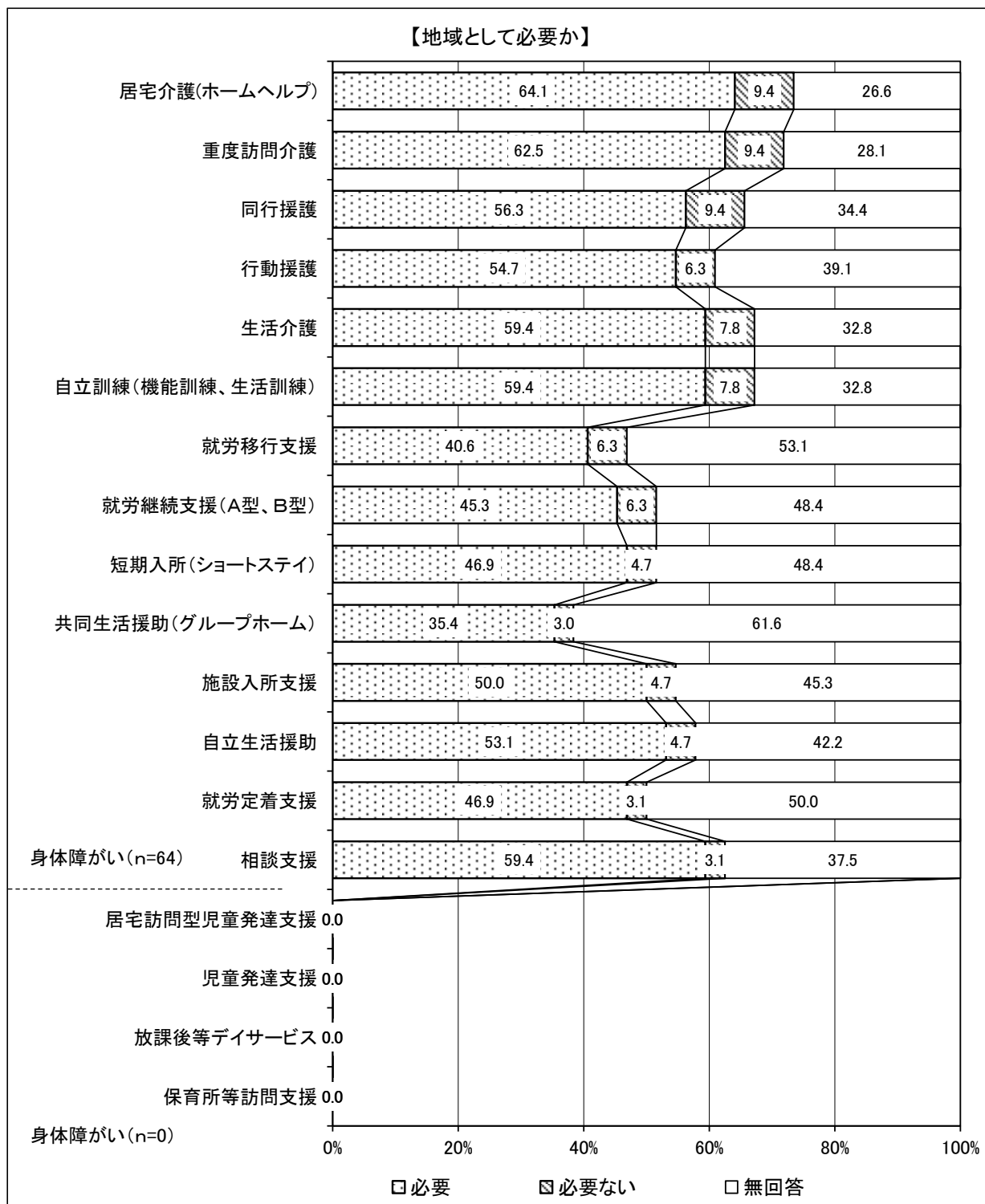
障がい児を対象とする「居宅訪問型児童発達支援」以下4サービスについて「必要」は、「児童発達支援」及び「放課後等 デイサービス」とともに 66.7%、「居宅訪問型児童発達支援」及び「保育所等訪問支援」がともに 33.3%となっています。

◇全体



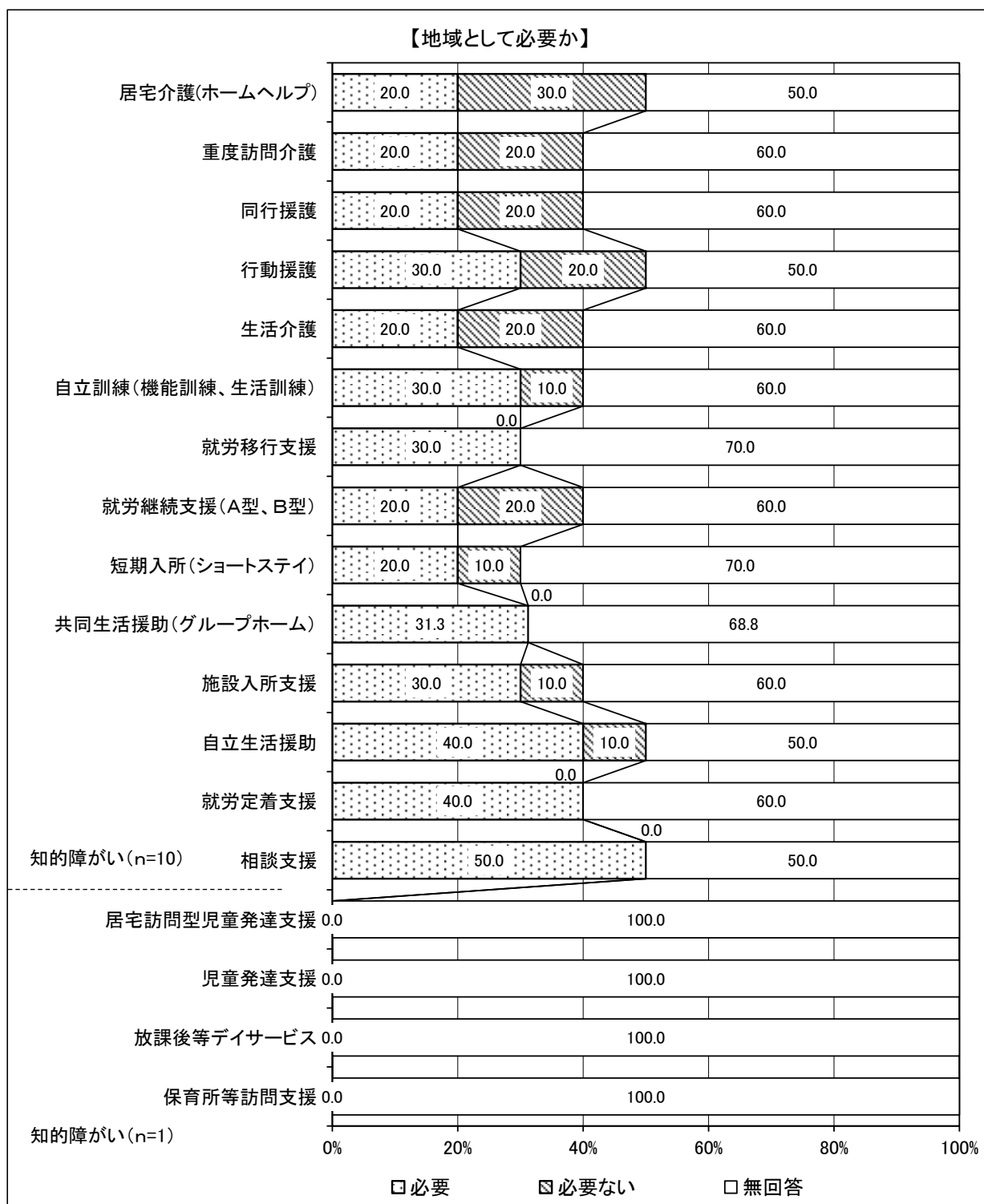
身体障がい地域として必要なサービスは、「居宅介護(ホームヘルプ)」(64.1%)や「重度訪問介護」(62.5%)、「生活介護」及び「自立訓練(機能訓練、生活訓練)」、「相談支援」(それぞれ59.4%)などが高くなっています。

◇身体障がい



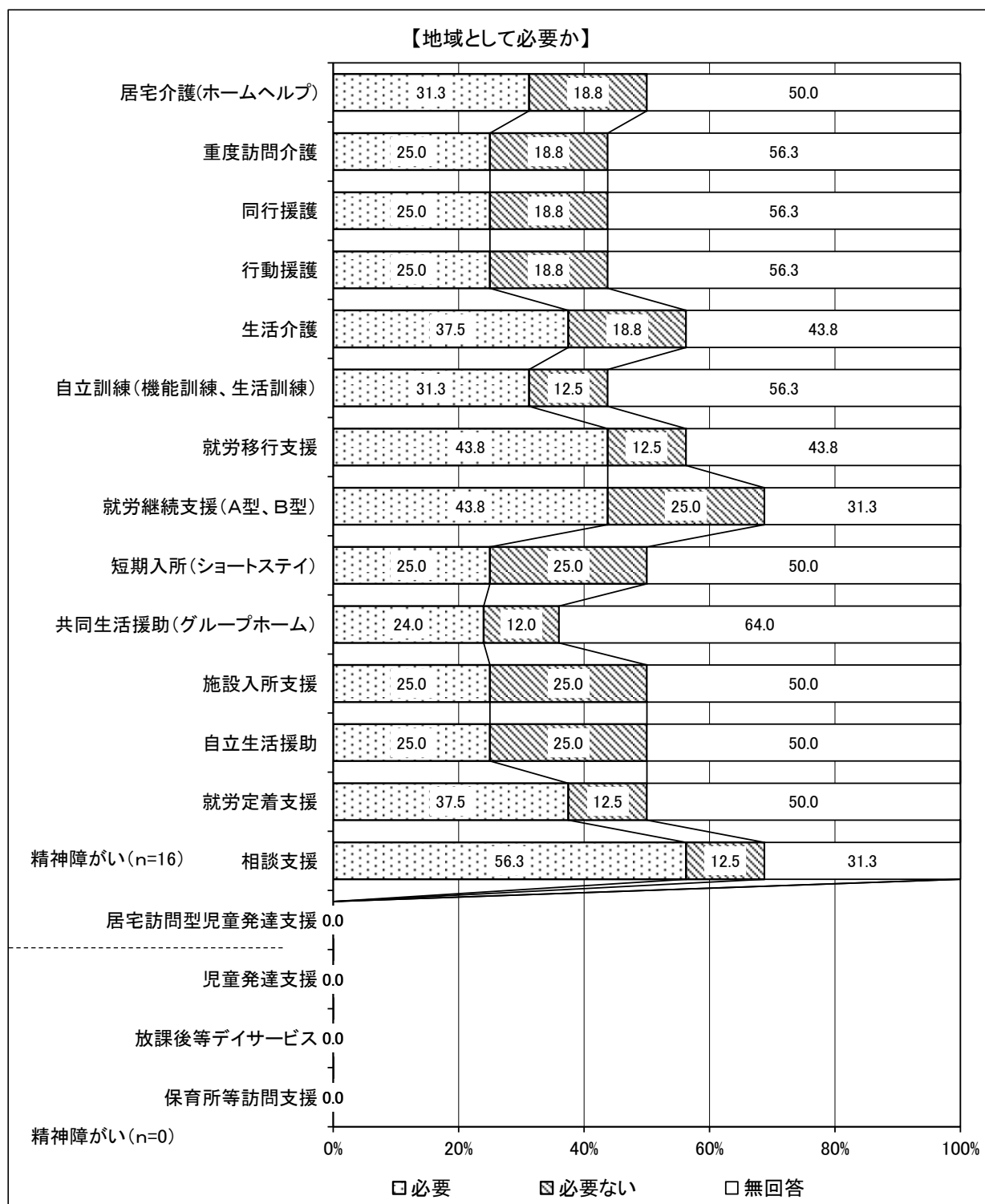
知的障がい地域として必要なサービスは、「相談支援」（50.0％）や「自立生活援助」及び「就労定着支援」（ともに 40.0％）などが高くなっています。

◇知的障がい



精神障がい地域として必要なサービスは、「相談支援」(56.3%)や「就労移行支援」及び「就労継続支援(A型、B型)」(ともに43.8%)などが高くなっています。

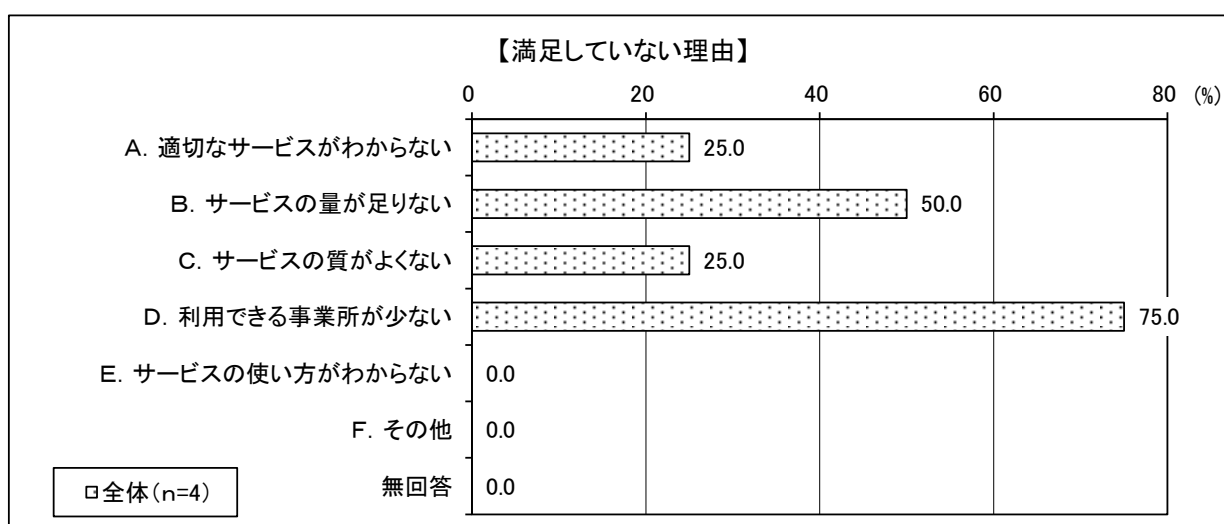
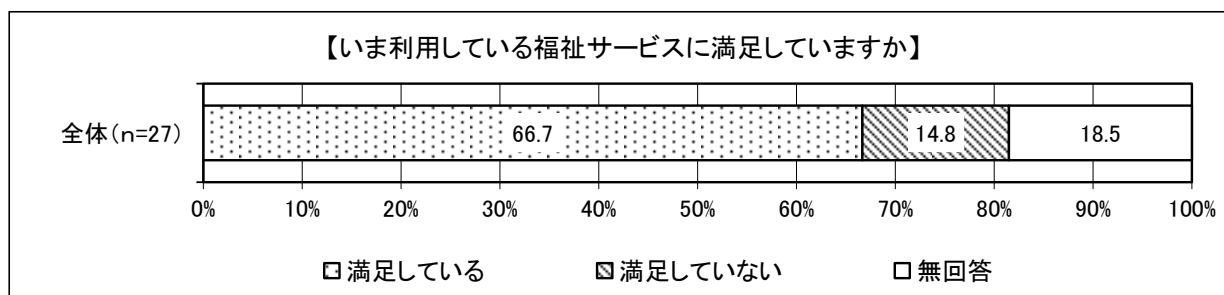
◇精神障がい



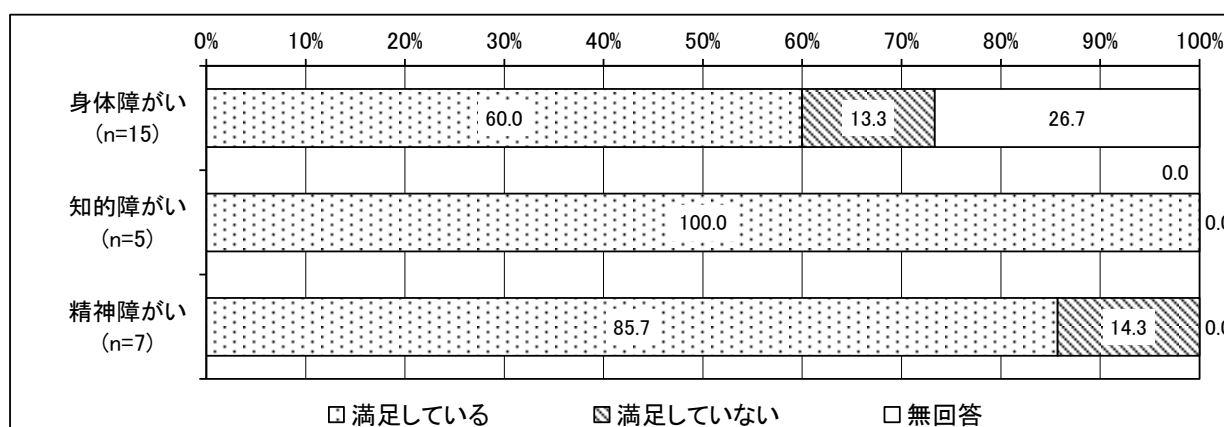
問31 いま利用している福祉サービスに満足していますか。（どちらかに○）

いま利用している福祉サービスに満足しているかについては、「満足している」が 66.7%、「満足していない」が 14.8%となっています。

満足していない理由は、「D. 利用できる事業所が少ない」が 75.0%、「B. サービスの量が足りない」が 50.0%、「A. 適切なサービスがわからない」及び「C. サービスの質がよい」がともに 25.0%となっています。



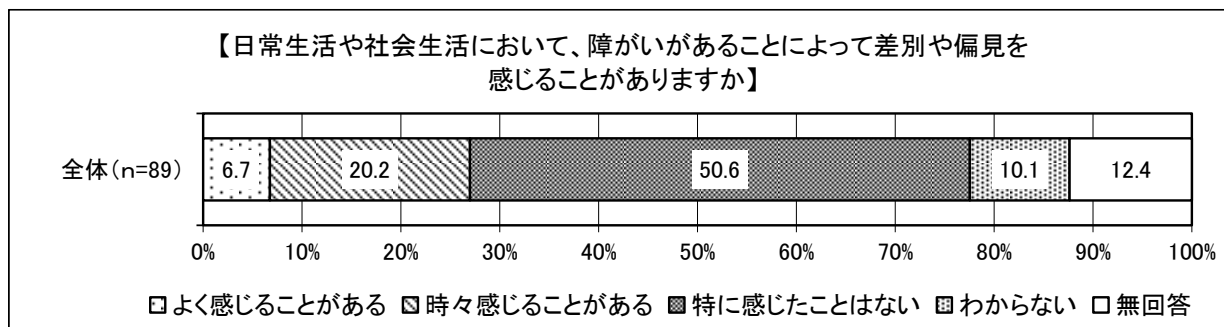
障がい別にみると、身体障がいでは「満足している」が 60.0%と、他障がいより低くなっています。



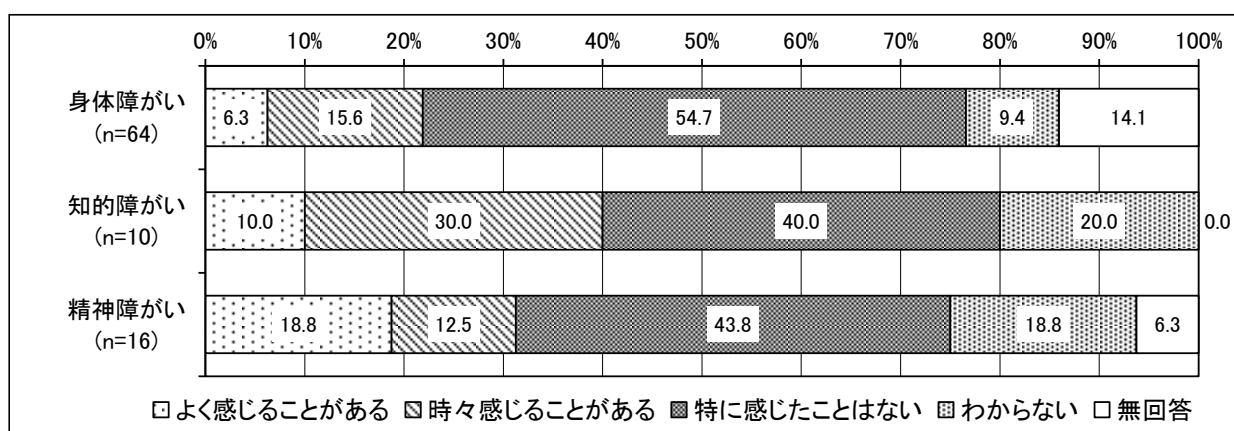
◇ 権利擁護について

問32 日常生活や社会生活において、障がいがあることによって差別や偏見を感じることはありますか。（○は1つだけ）

差別や偏見を感じることはあるかは、「時々感じることはある」（20.2%）と「よく感じることはある」（6.7%）を合わせた“感じることはある”は26.9%、「特に感じたことはない」は50.6%、「わからない」は10.1%となっています。



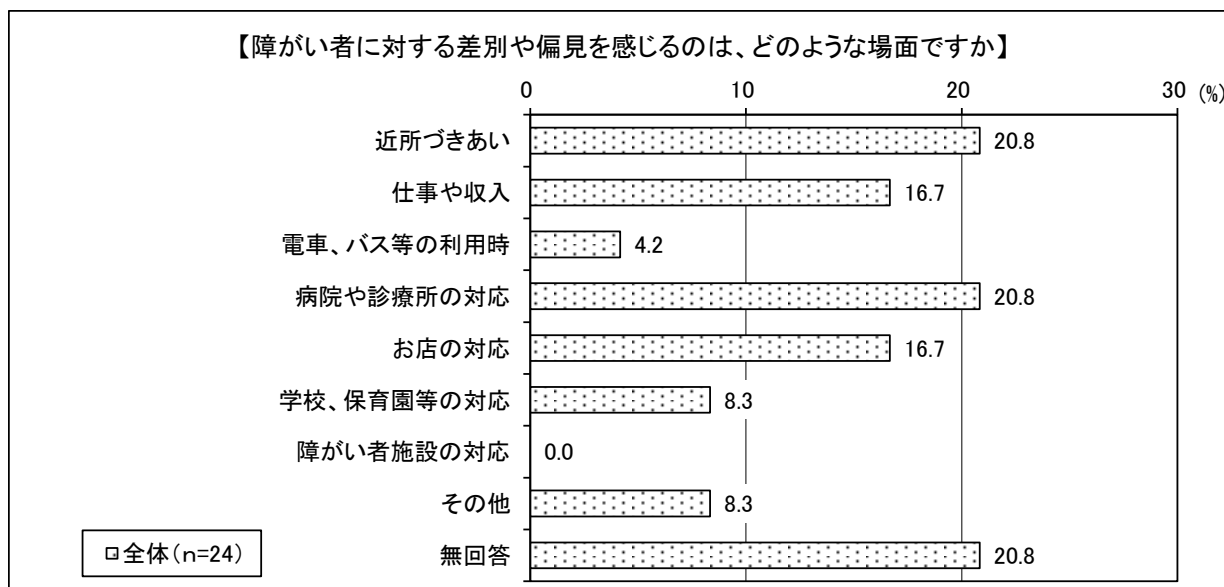
障がい別にみると、精神障がいは「よく感じることはある」（18.8%）が、知的障がいは「時々感じることはある」（30.0%）が、それぞれ高くなっています。



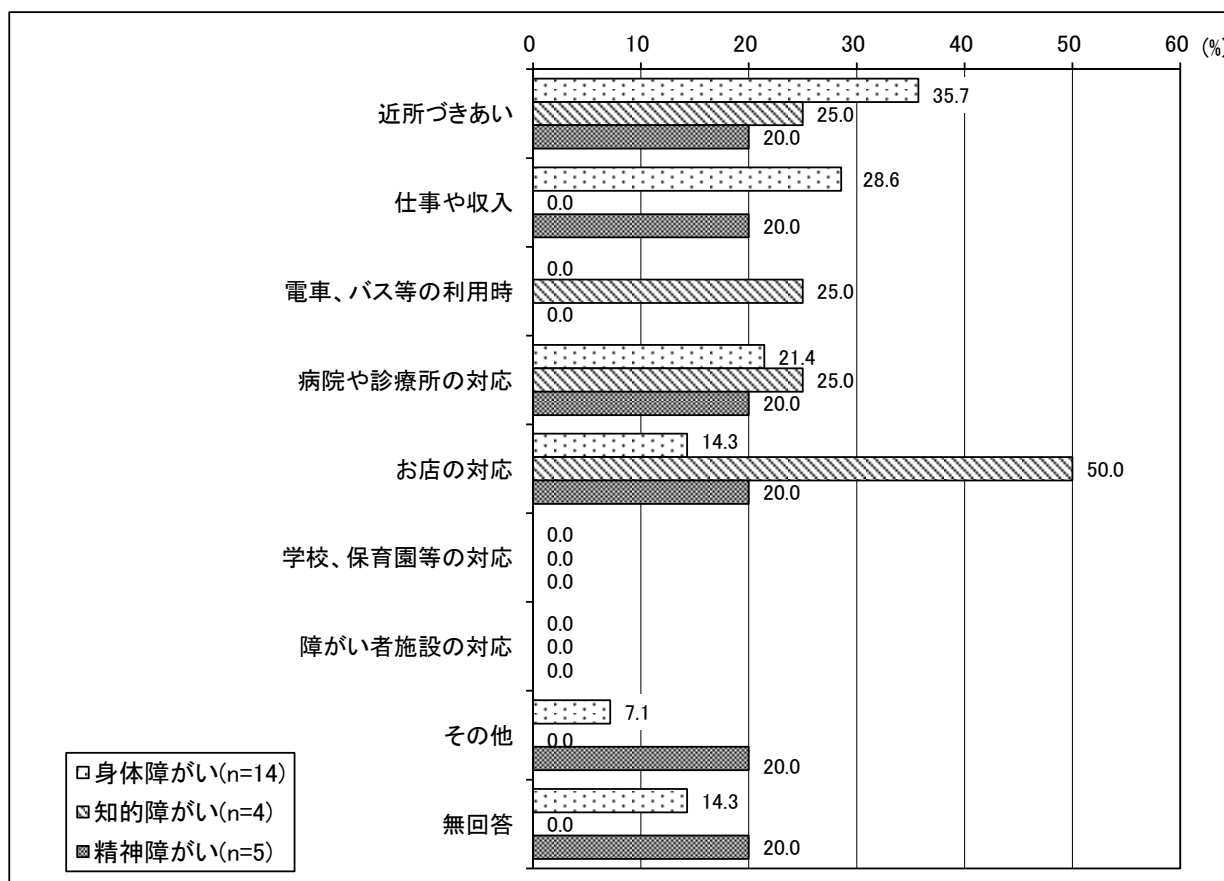
【※問33は、問32で「1」又は「2」と回答された方にお伺いします】

問33 障がい者に対する差別や偏見を感じるのは、どのような場面ですか。（〇はいくつでも）

差別や偏見を感じる場面については、「近所づきあい」及び「病院や診療所の対応」（ともに20.8%）や「仕事や収入」及び「お店の対応」（ともに16.7%）の比率が高くなっています。

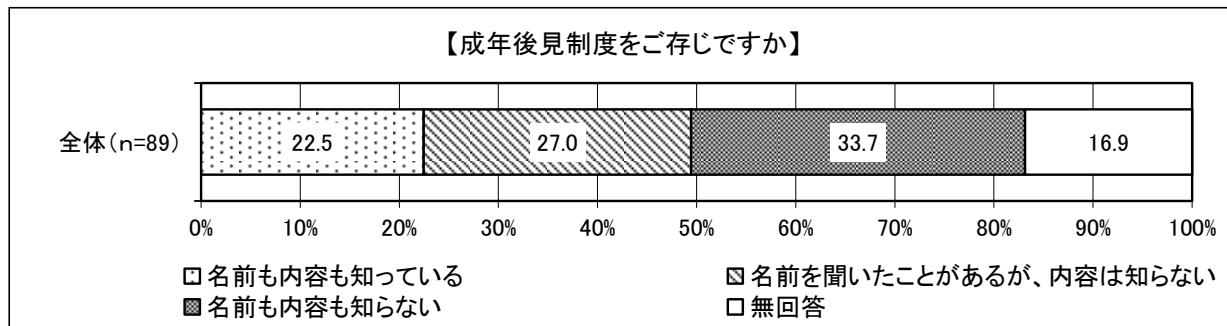


障がい別にみると、知的障がいでは「お店の対応」が50.0%と、他障がいを大きく上回っています。

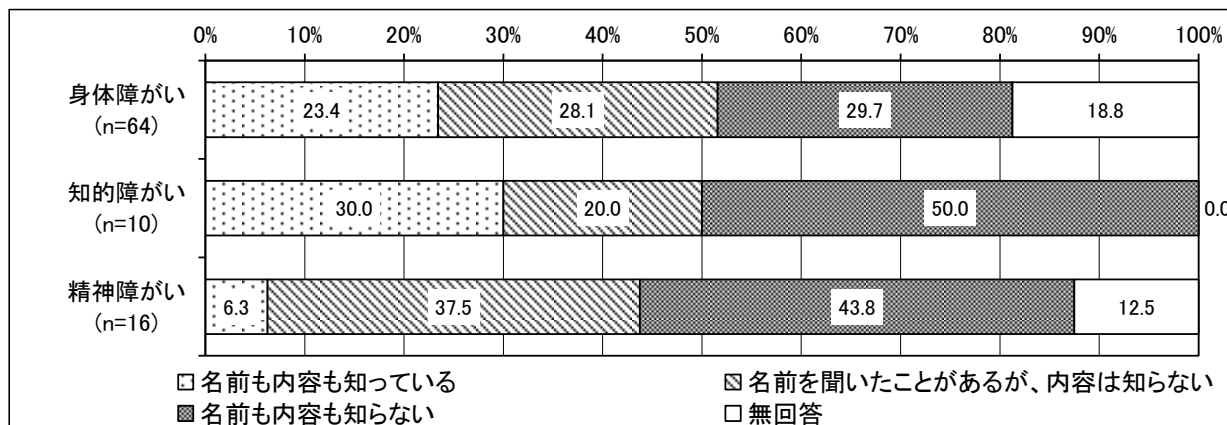


問34 成年後見制度をご存じですか。（○は1つだけ）

成年後見制度を知っているかは、「名前も内容も知らない」が33.7%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が27.0%、「名前も内容も知っている」が22.5%となっています。

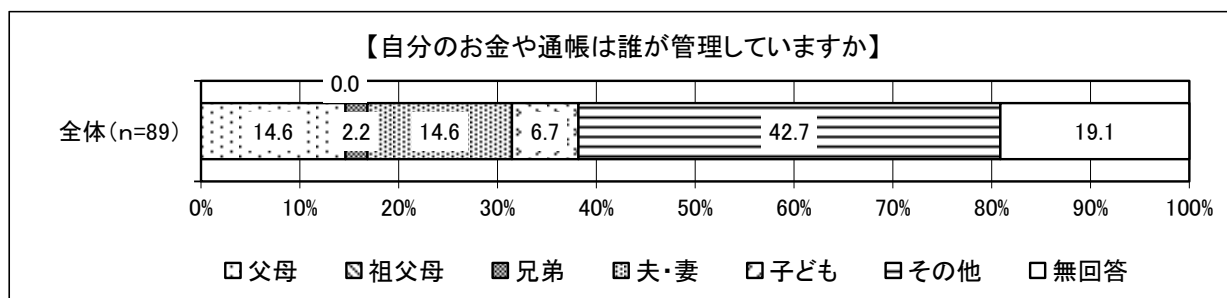


障がい別にみると、「名前も内容も知らない」は知的障がい(50.0%)や精神障がい(43.8%)は高く、身体障がいは29.7%と他と比較してやや低くなっています。

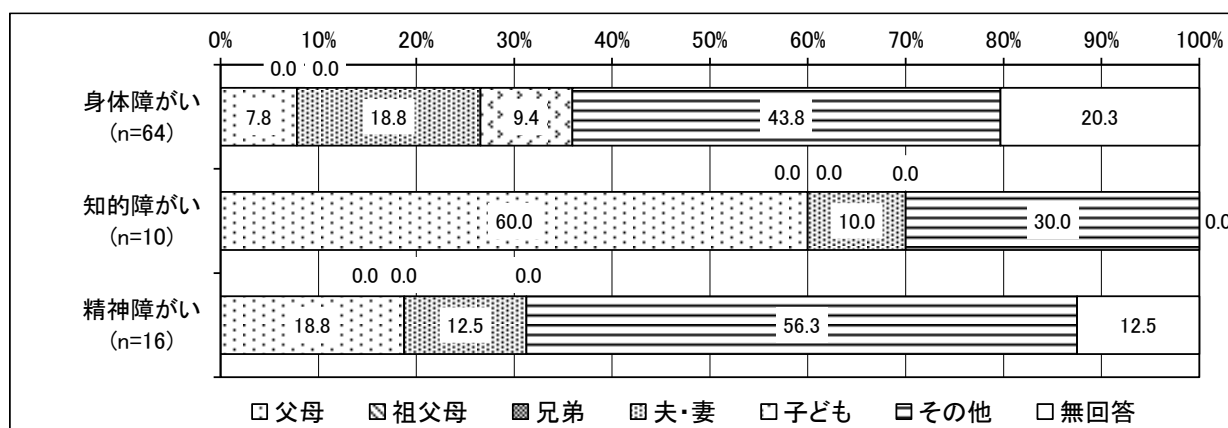


問35 自分のお金や通帳は誰が管理していますか。（○は1つだけ）

お金や通帳の管理者については、「その他」が42.7%と最も高く、「父母」及び「夫・妻」はともに14.6%、「子ども」が6.7%、「兄弟」が2.2%となっています。なお「その他」の回答では“本人”や“施設”などが多くなっています。

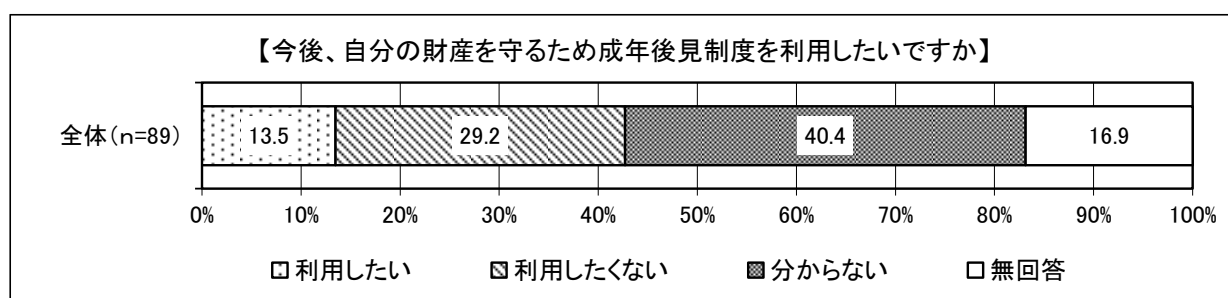


障がい別にみると、知的障がいでは「父母」が60.0%と、他障がいを大きく上回り高くなっています。

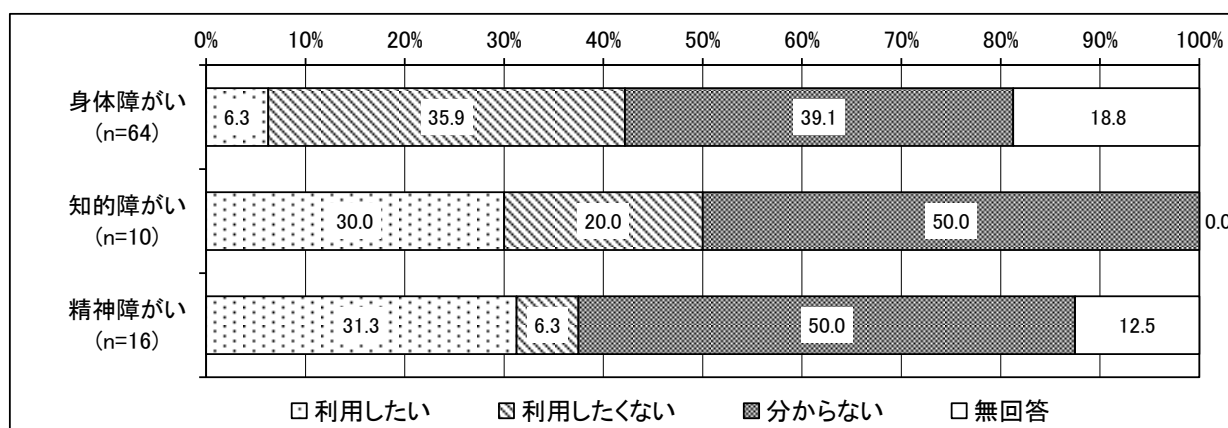


問36 今後、自分の財産を守るため成年後見制度を利用したいですか。（○は1つだけ）

今後、自分の財産を守るため成年後見制度を利用したいかは、「分からない」が40.4%、「利用したくない」が29.2%、「利用したい」が13.5%となっています。



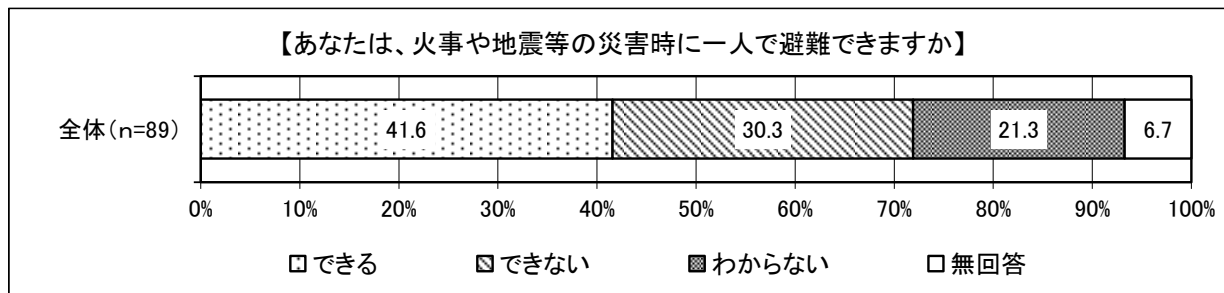
障がい別にみると、身体障がいでは「利用したい」が6.3%と、他と比較して最も低くなっています。



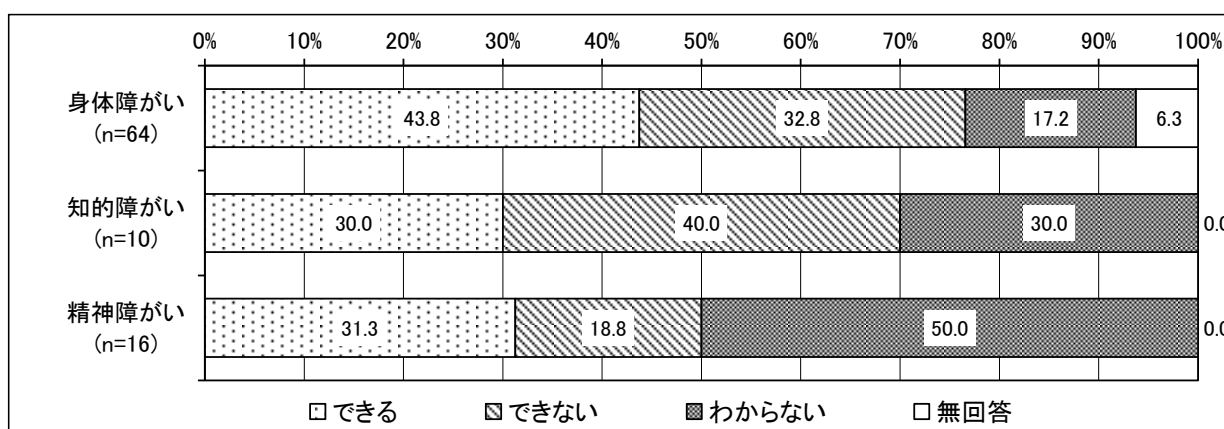
◇ 災害時の避難等について

問37 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。（○は1つだけ）

火事や地震等の災害時に一人で避難できるかは、「できる」が41.6%、「できない」が30.3%、「わからない」が21.3%となっています。

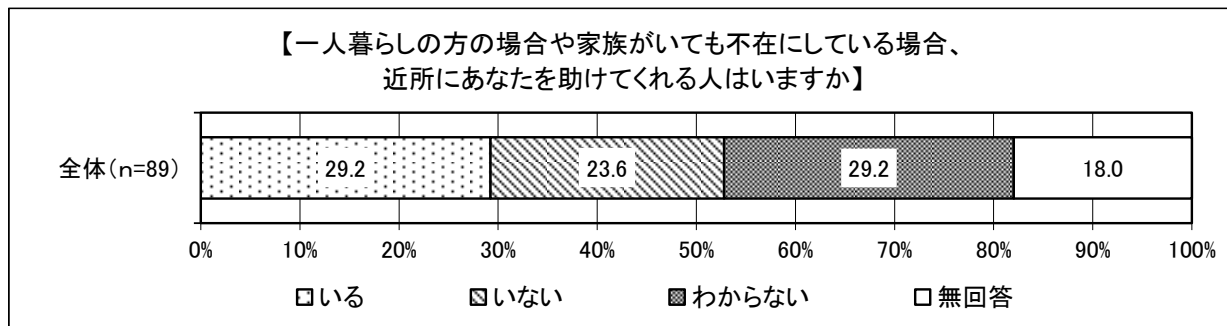


障がい別にみると、「できない」は知的障がい者が40.0%、身体障がい者が32.8%、精神障がい者が18.8%となっています。

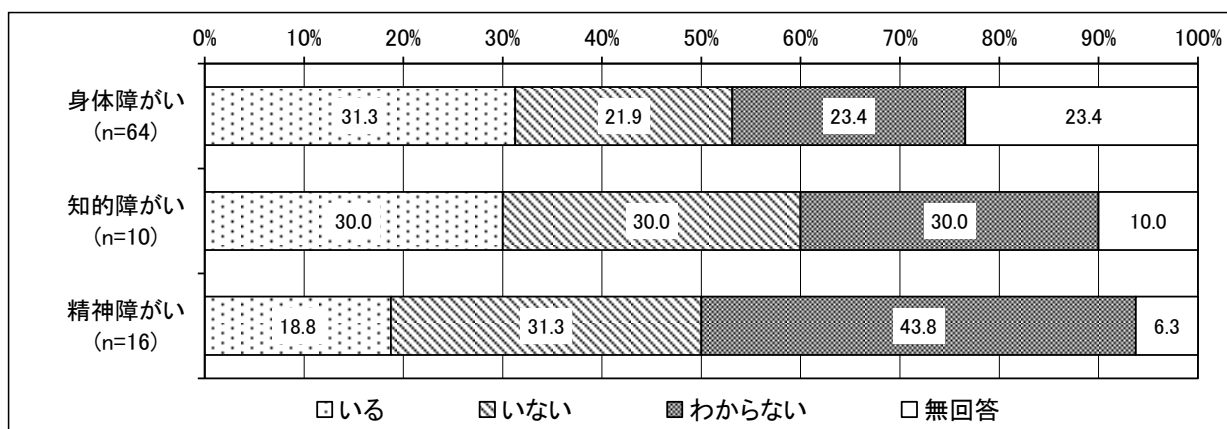


問38 一人暮らしの方の場合や家族がいても不在にしている場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。（○は1つだけ）

近所に助けてくれる人がいるかは、「いる」及び「わからない」がともに 29.2%、「いない」が 23.6%となっています。

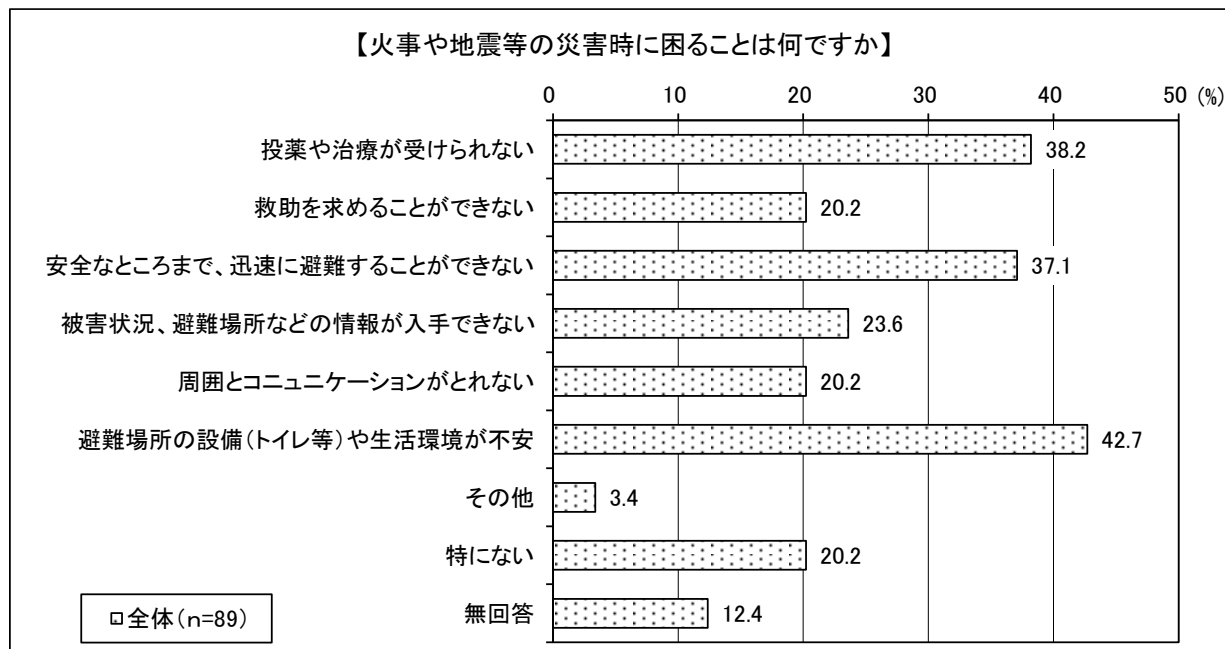


障がい別にみると、「いない」は精神障がい 31.3%、知的障がい 30.0%、身体障がい 21.9%となっています。

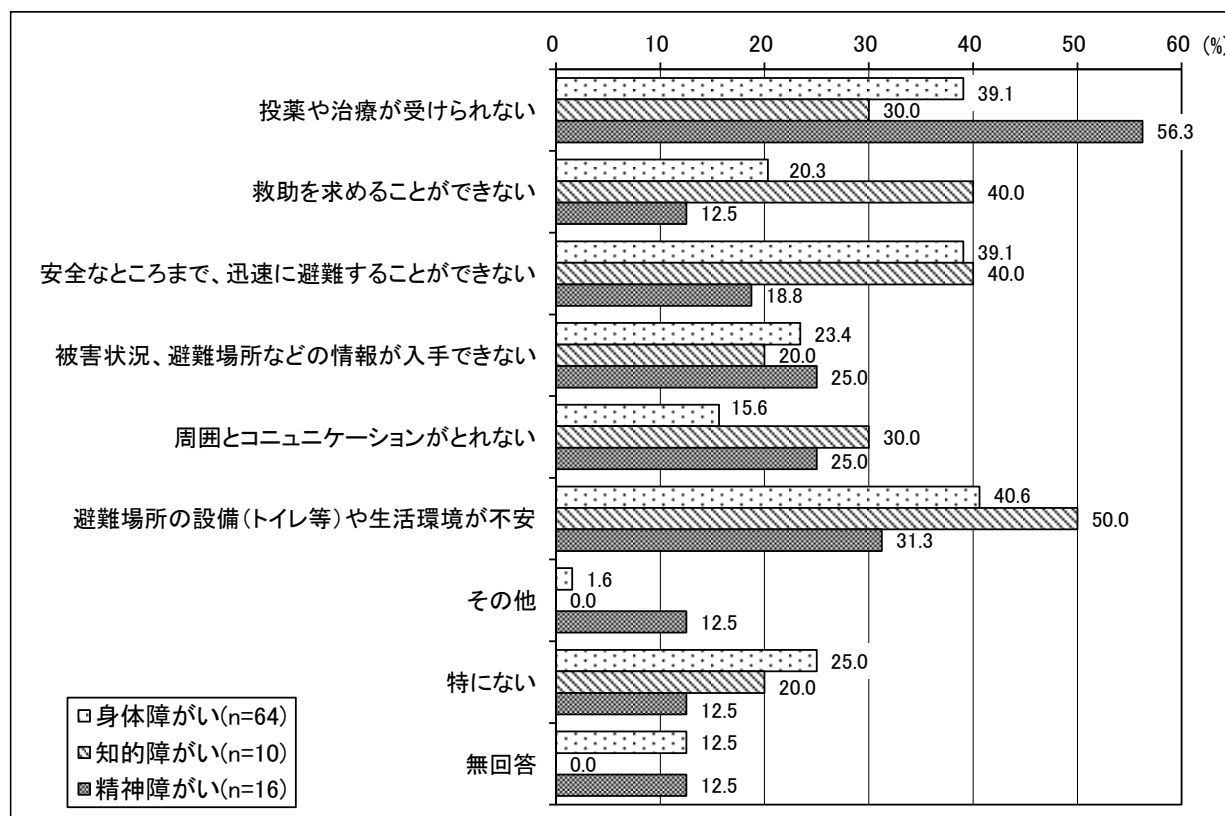


問39 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（〇はいくつでも）

火事や地震等の災害時に困ることは、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が42.7%と最も高く、以下、「投薬や治療が受けられない」（38.2%）、「安全なところまで、迅速に避難することができない」（37.1%）などとなっています。



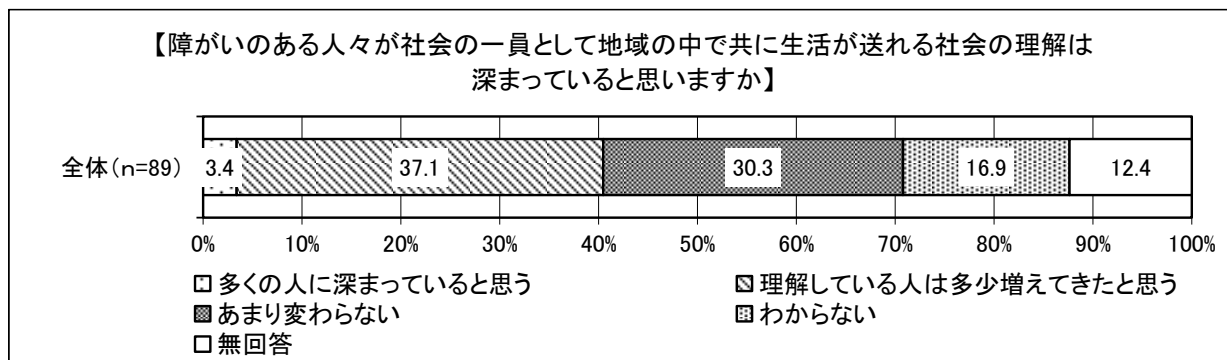
障がい別にみると、身体障がいでは「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」（40.6%）や「投薬や治療が受けられない」及び「安全なところまで、迅速に避難することができない」（ともに39.1%）が、知的障がいでは「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」（50.0%）が、精神障がいでは「投薬や治療が受けられない」（56.3%）が、それぞれ高くなっています。



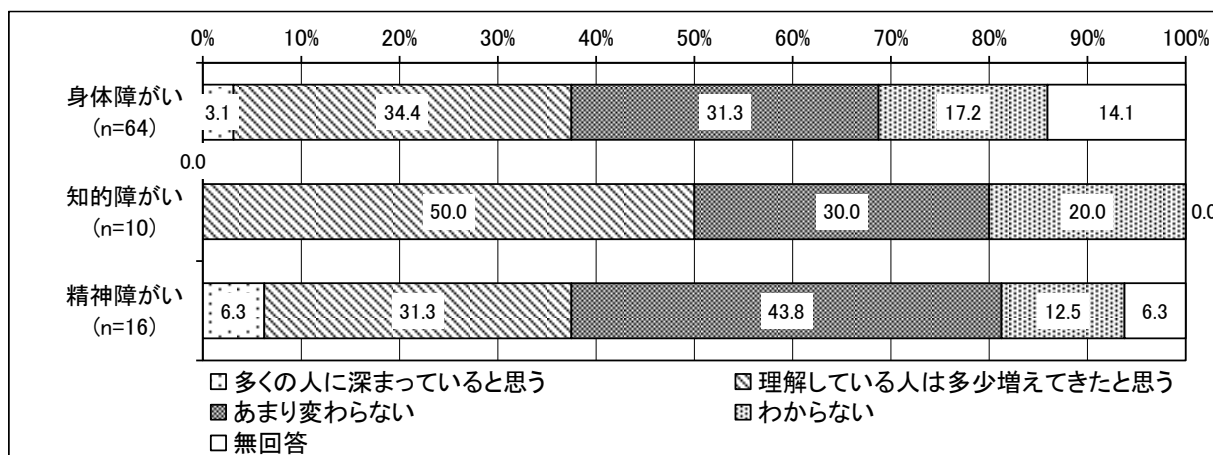
◇ 障がい者への理解について

問40 障がいのある人々が社会の一員として地域の中で共に生活が送れる社会の理解は深まっていると思いますか。（○は1つだけ）

社会の理解は深まっていると思うかについては、「理解している人は多少増えてきたと思う」が37.1%と最も高く、「あまり変わらない」が30.3%、「わからない」が16.9%、「多くの人に深まっていると思う」が3.4%となっています。

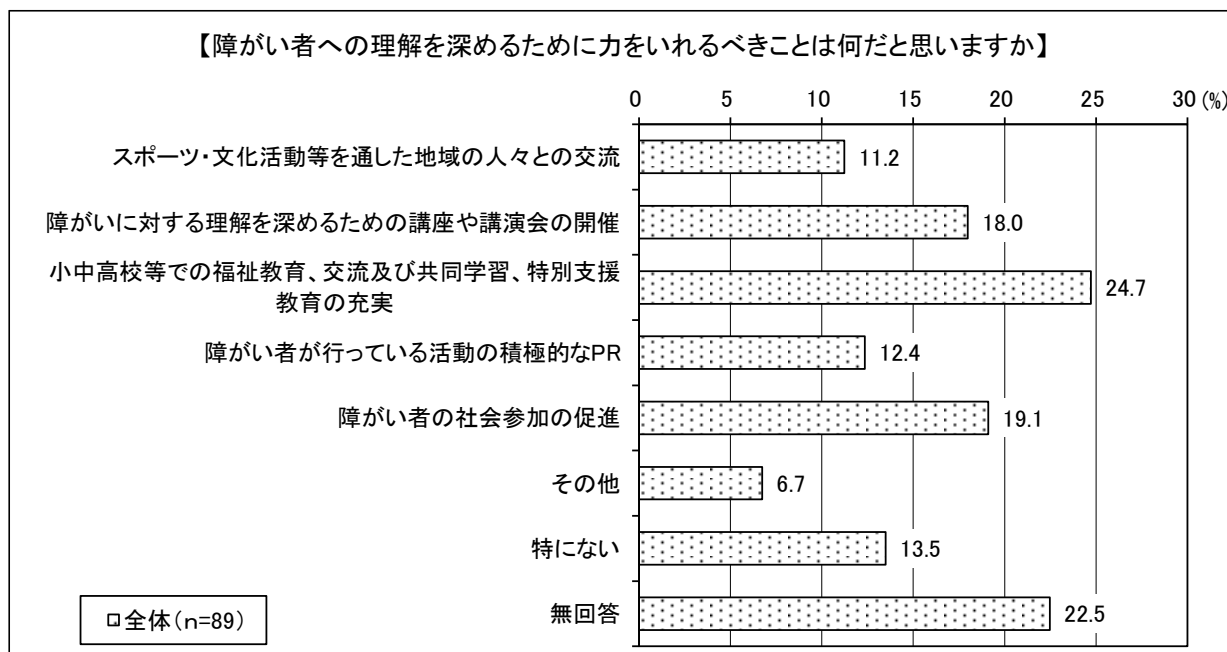


障がい別にみると、知的障がい及び身体障がいは「理解している人は多少増えてきたと思う」（50.0%、34.4%）が、精神障がいは「あまり変わらない」（43.8%）が、それぞれ最も高くなっています。

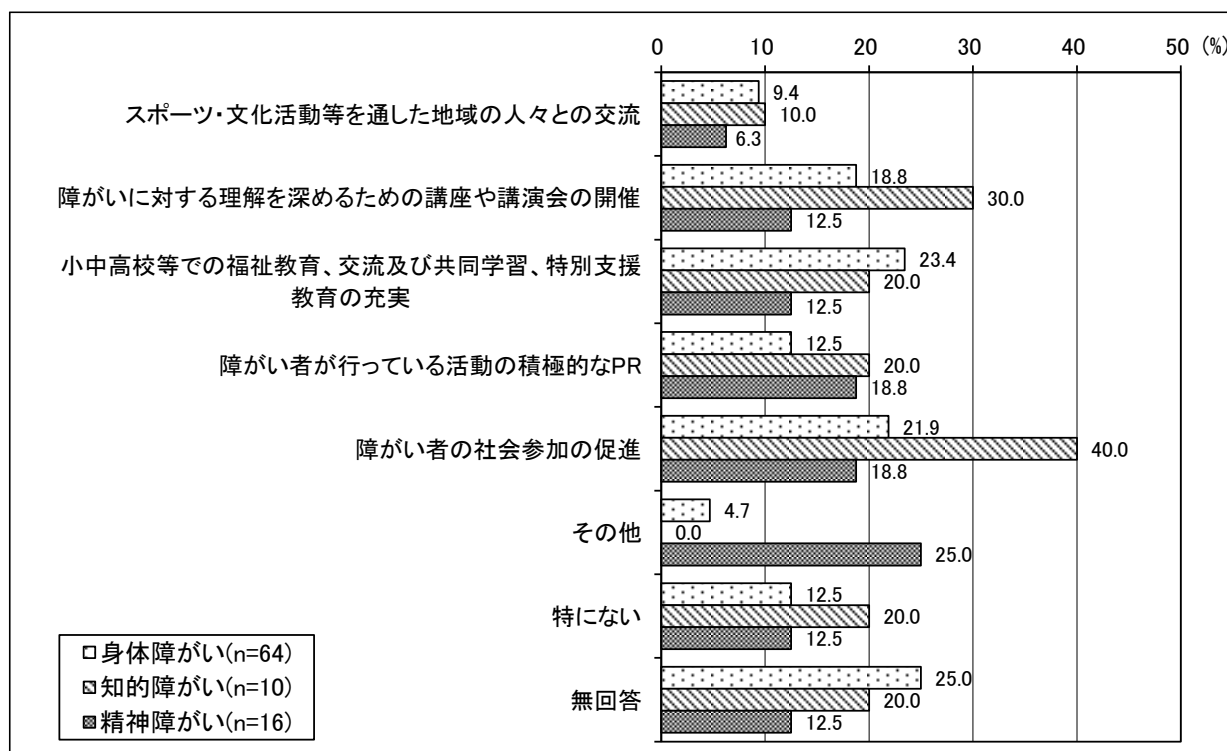


問41 障がい者への理解を深めるために力をいれるべきことは何だと思いますか。（〇は3つまで）

障がい者への理解を深めるために力をいれるべきことについては、「小中高校等での福祉教育、交流及び共同学習、特別支援教育の充実」が24.7%と最も高く、以下、「障がい者の社会参加の促進」(19.1%)、「障がいに対する理解を深めるための講座や講演会の開催」(18.0%)などとなっています。

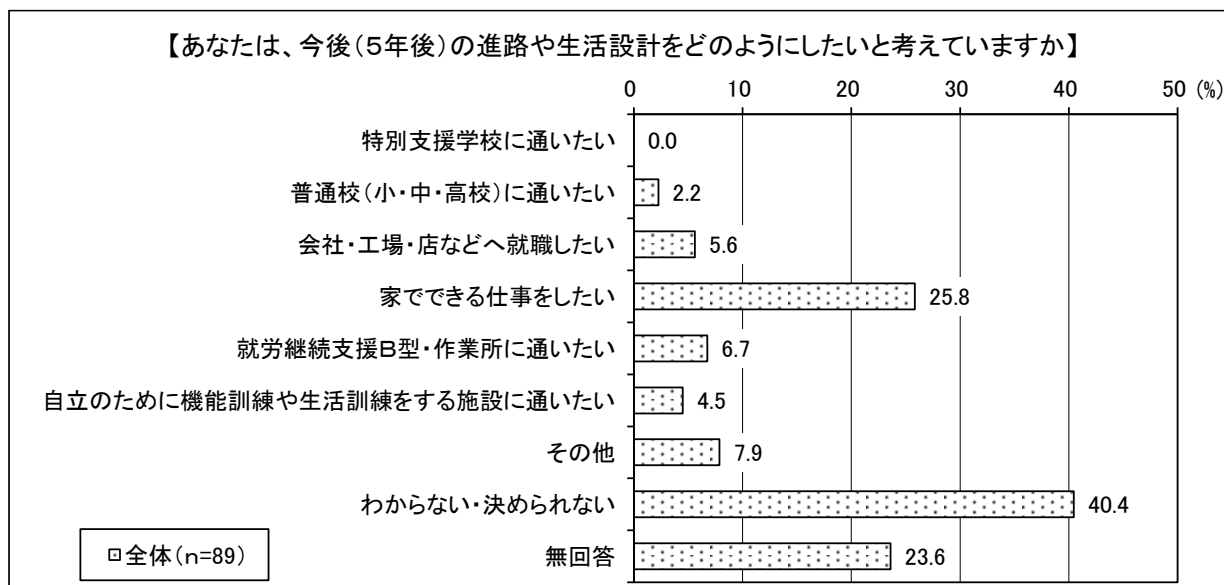


障がい別にみると、知的障がいは「障がい者の社会参加の促進」(40.0%)や「障がいに対する理解を深めるための講座や講演会の開催」(30.0%)が他障がいを上回り高くなっています。

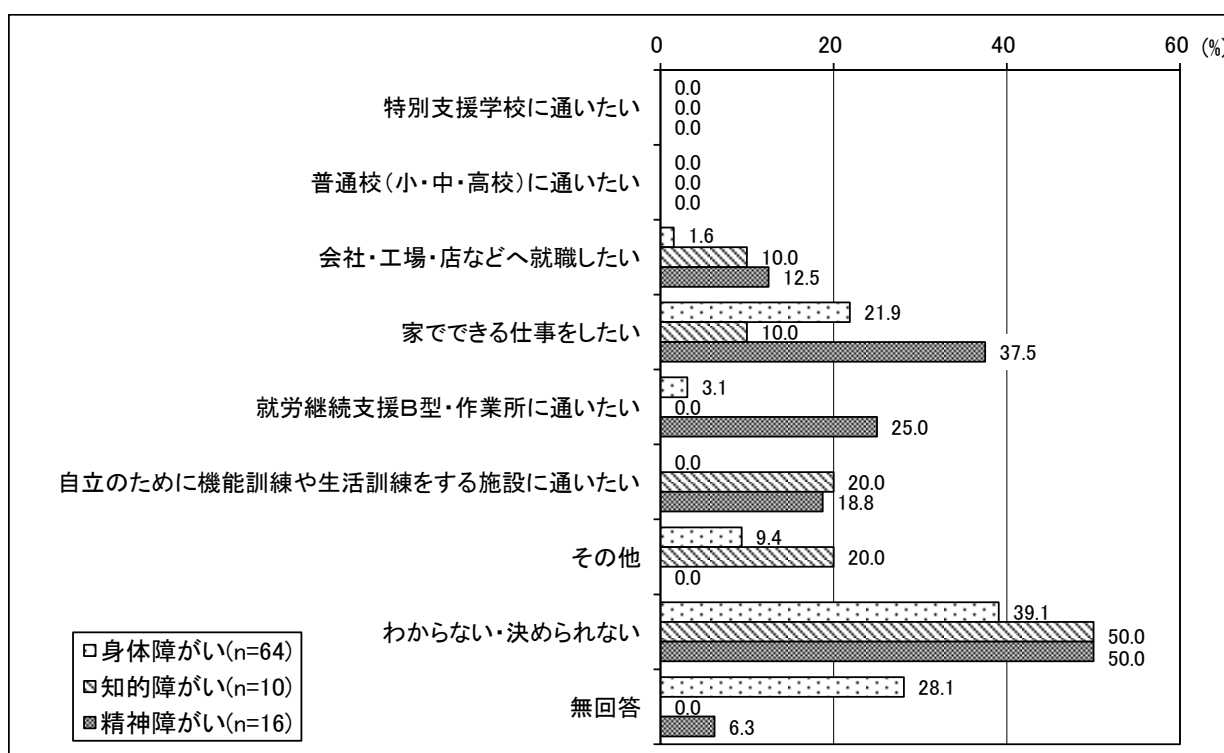


問42 あなたは、今後（５年後）の進路や生活設計をどのようにしたいと考えていますか。
（○は３つまで。現在の生活を継続する場合も含める）

今後（５年後）の進路や生活設計については、「家でできる仕事をしたい」が25.8%突出しており、以下、「就労継続支援B型・作業所に通いたい」（6.7%）、「会社・工場・店などへ就職したい」（5.6%）などとなっています。なお、「わからない・決められない」が40.4%と最も高くなっています。

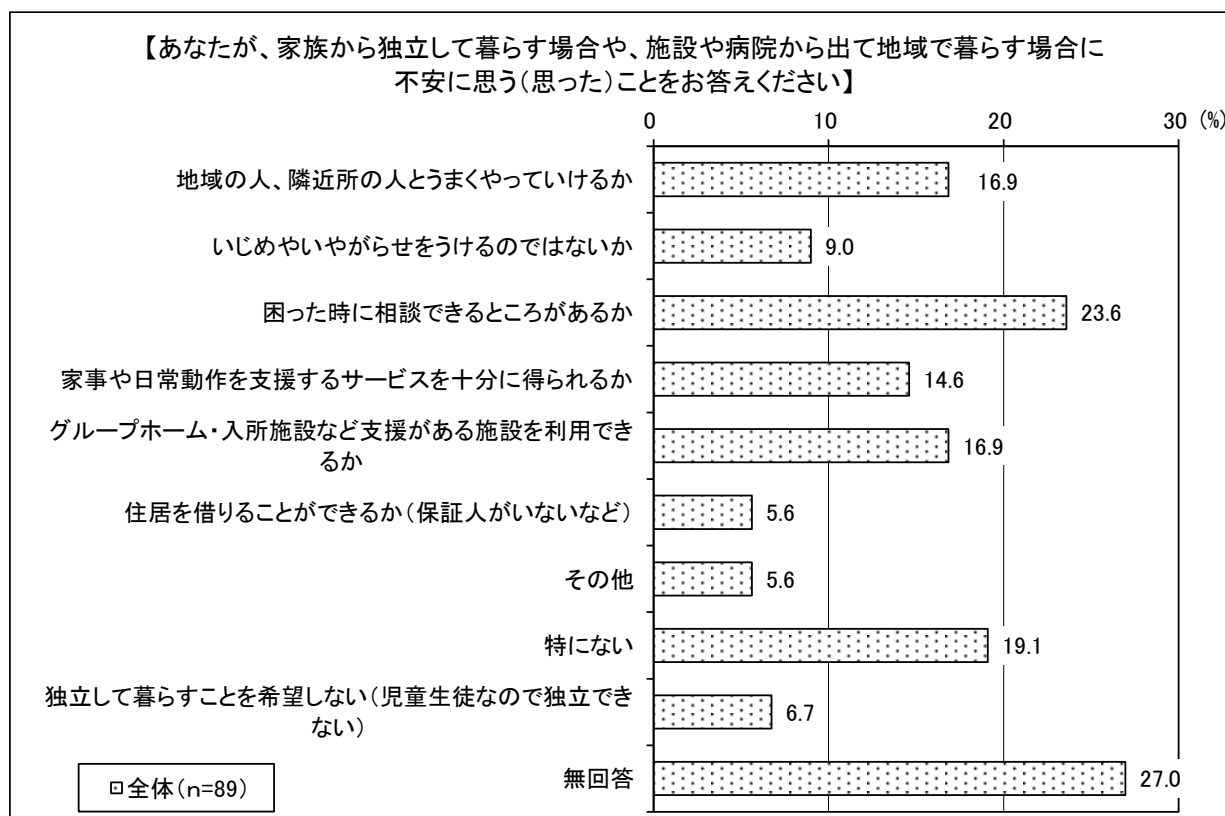


障がい別にみると、精神障がいは「家でできる仕事をしたい」（37.5%）や「就労継続支援B型・作業所に通いたい」（25.0%）が他障がいを上回り高くなっています。

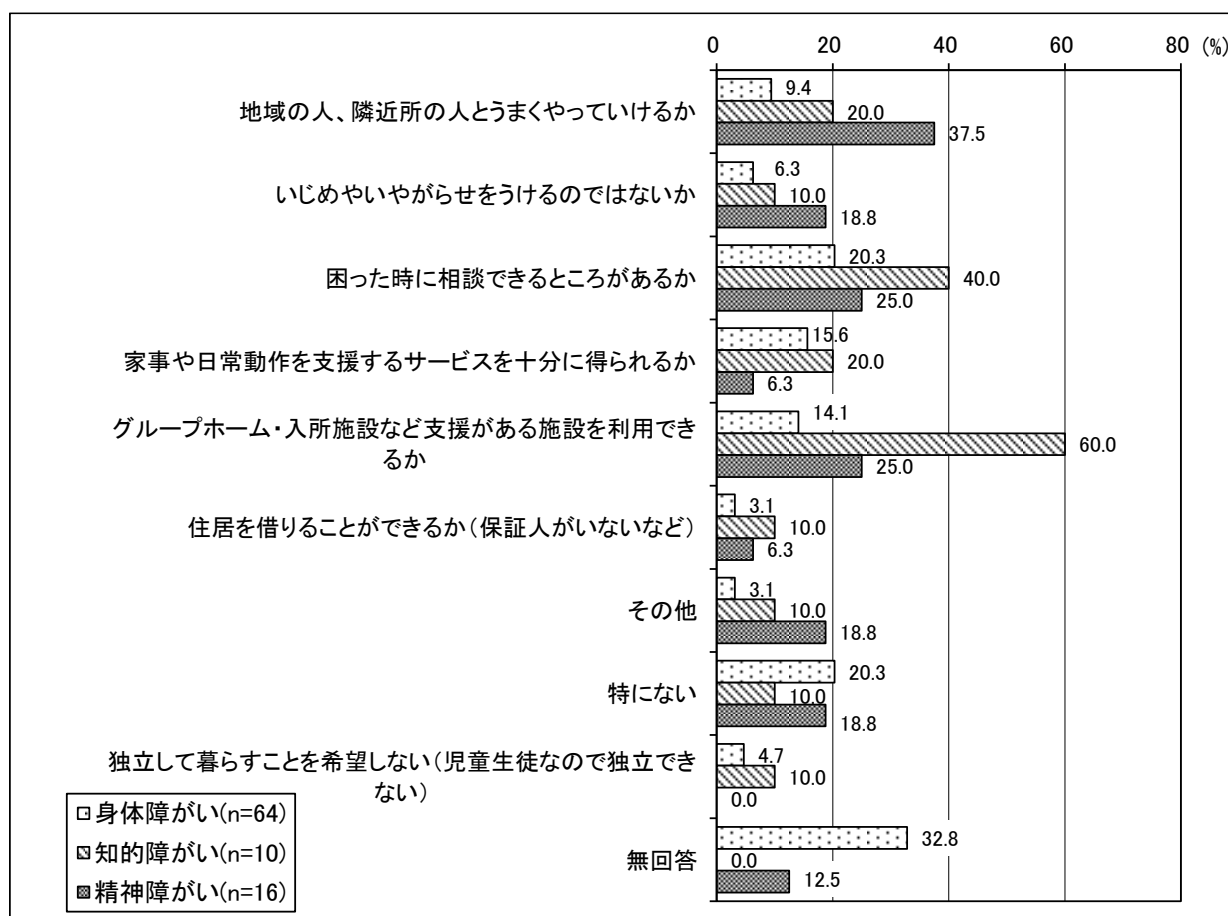


問43 あなたが、家族から独立して暮らす場合や、施設や病院から出て地域で暮らす場合に不安に思う（思った）ことをお答えください。（〇は3つまで）

家族から独立して暮らす場合や、施設や病院から出て地域で暮らす場合に不安に思うことは、「困った時に相談できるところがあるか」が23.6%と最も高く、以下、「地域の人、隣近所の人とうまくやっていけるか」及び「グループホーム・入所施設など支援がある施設を利用できるか」（ともに19.1%）、「家事や日常動作を支援するサービスを十分に得られるか」（14.6%）と続きます。なお、「特にない」は19.1%となっています。

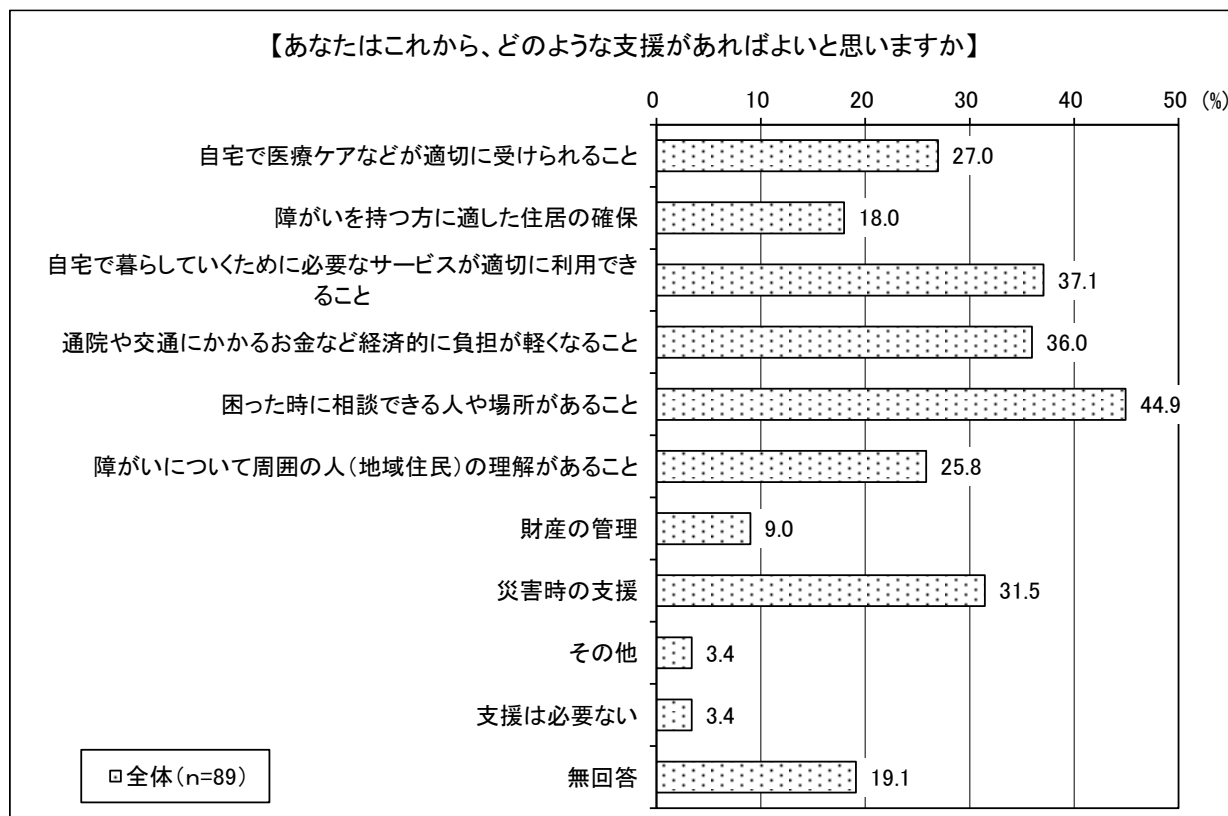


障がい別にみると、知的障がいは「グループホーム・入所施設など支援がある施設を利用できるか」(60.0%)や「困った時に相談できるところがあるか」(40.0%)が、精神障がいは「地域の人、隣近所の人とうまくやっていけるか」(37.5%)が、それぞれ他の障がいより高い比率となっています。

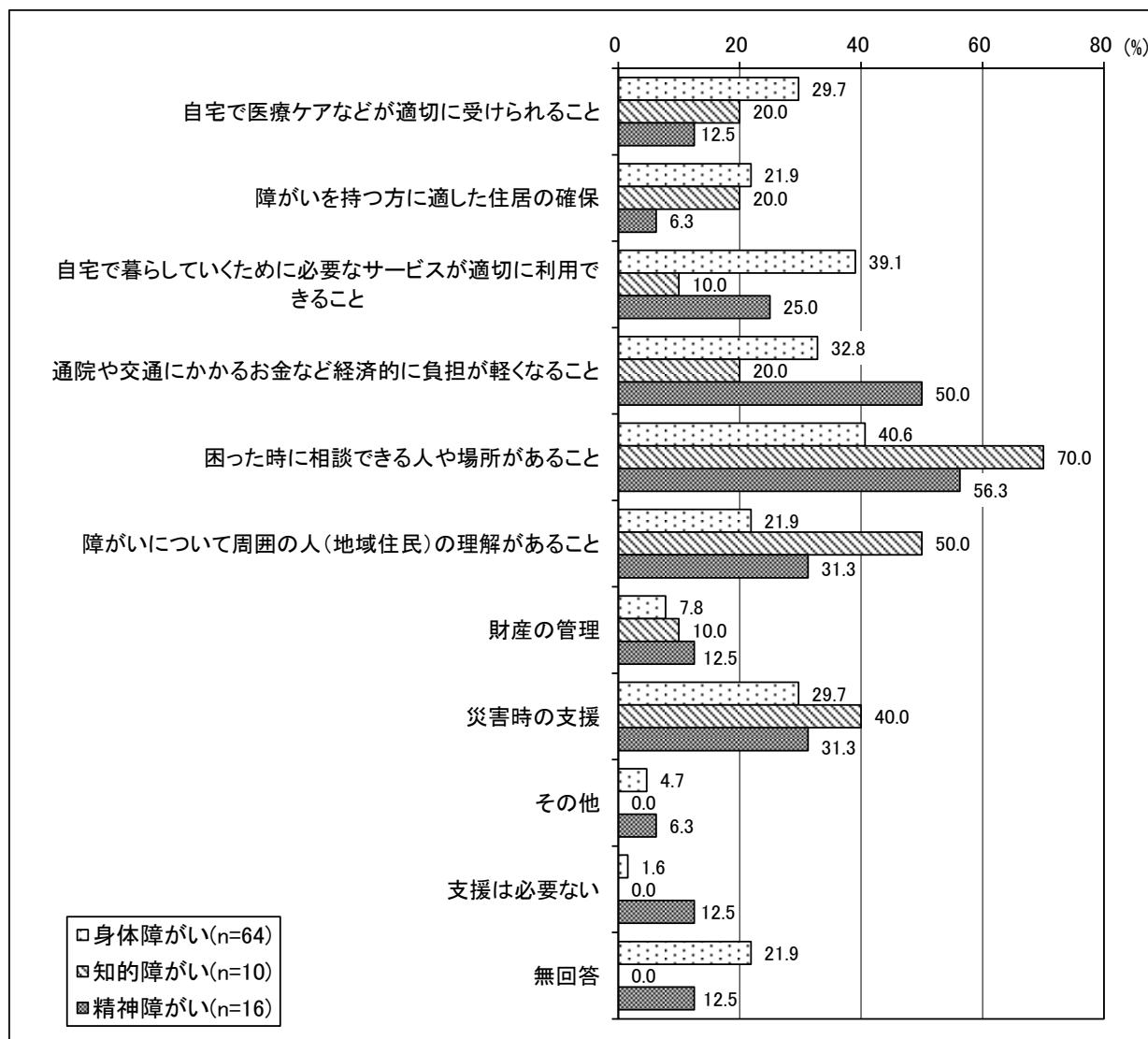


問44 あなたはこれから、どのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

今後どのような支援があれば良いと思うかについては、「困った時に相談できる人や場所があること」が44.9%と最も高く、以下、「自宅で暮らしていくために必要なサービスが適切に利用できること」（37.1%）、「通院や交通にかかるお金など経済的に負担が軽くなること」（36.0%）、「災害時の支援」（31.5%）などとなっています。



障がい別にみると、「困った時に相談できる人や場所があること」は全ての障がいでも最も高く、特に知的障がいは7割と高い比率になっています。また、身体障がいは「自宅で医療ケアなどが適切に受けられること」(29.7%)や「自宅で暮らしていくために必要なサービスが適切に利用できること」(39.1%)が、知的障がいは「障がいについて周囲の人(地域住民)の理解があること」(50.0%)や「災害時の支援」(40.0%)、精神障がいは「通院や交通にかかるお金など経済的に負担が軽くなること」(50.0%)が、それぞれ他障がいより高い比率となっています。



問45 障害福祉サービス以外でどのようなサービスがあるとよいですか。ご記入ください。

下表のとおり 8 人からご意見をいただきました。交通に関して 3 人から意見が寄せられました。

No.	性別	年齢	手帳の種類			自由意見
			身体	療育	精神	
1	男性	19～29 歳		○	○	生活の上で難しくなった場合は支援施設を利用したい。
2	男性	30～39 歳			○	障害者は障害者雇用制度などにより、普通の人より所得が低くなる傾向があります。生活していくには家族の支援は必須であり、居なくなった時の事を考えると不安でなりません。
3	女性	30～39 歳			○	あるかわかりませんが、障害のある人が参加するスポーツや文化のサークルなど知りたいです。
4	男性	50～59 歳	○			困り事がある場合に気軽に相談できる又は、解決してくれる所があると良い。例、法律専門知識のある人がいる。問題を仲介してくれる人がいるなど。
5	女性	50～59 歳	○		○	収入の援助。タクシー券。
6	女性	50～59 歳	○			公共のバスは車いす仕様ではないので、今後タクシー券などの給付も考えて欲しいです。障害福祉でも介護保険の様に住宅改修費支給は適応なのでしょうか？利用出来る様にして欲しい！！
7	男性	70 歳以上	○			父、母、長男の 3 人で暮らしていて、長男が 3 交代で仕事があり残業も有るので、家の事、両親の介護ができない。食事、掃除、洗濯、薬の管理など、安くお願いできる所があれば良いかと思います。7 月頃よりパステルビレッジ小野に 2 人して入居できる事になり、嫁に行った娘も自分の家に帰れそうです。
8	女性	70 歳以上	○			私達は車の運転が出来ませんので、病院に行くのにバスを利用しなくては？午前中に 1 本、午後に 1 本の時間ではどう仕様もありません。これをどうにかありませんか。高いお金を出してタクシーで行かなくてはなりません。考えて下さい？お願いします。

問46 最後に障害福祉サービスの行政の取組みについて、何かご意見がありましたらご記入ください。

下表のとおり 8 人から交通や就労、生きがいなどについてご意見をいただきました。

No.	性別	年齢	手帳の種類			自由意見
			身体	療育	精神	
1	男性	19～29 歳			○	この村で生活をつづける為、交通手段をこれからも行政でフォロー、確保を取りくんでほしい。
2	男性	19～29 歳		○	○	一人になって親などが亡くなったときに、さみしくなるかもしれないので私を支えてほしいです。
3	男性	30～39 歳			○	サービスを充実させすぎても障害者にとっては良いとも限りません。＊要最低限の保障でどのように生きて行けば良いのか考える必要があります。
4	女性	30～39 歳			○	20 年前は私の障害の名前は耳にすることかなかったもので、少しづつですが、色々な障害が世の中に知ってもらえるようになっていっていると思います。いつも有難うございます。
5	女性	50～59 歳	○		○	障害があると働けない。他の病気の時もふたんを少なくしてほしい。
6	男性	60～69 歳				家庭で出来る仕事があれば良いと思います。たとえば内職。
7	男性	70 歳以上	○			下肢切断による歩行不能の障害の場合は無条件で「車いす」を提供してほしい。
8	男性	70 歳以上	○			障害はあるが自分なりの生きがいや得意な事があれば、それを生きがいにさせるような、絵が好きとか書道が好きとか農作業が好きとか。でも利益と生きがいは別物ですね。好きな事に熱中させて、それが利益になる方法があれば？有名なアーティストでもできれば？（なにもしないのは死んでいるのと同じとか本にありましたよね）私にはわかりませんが大変な事ですネ、福祉！お世話になりました。デイサービスの方々。

北 塩 原 村
第6期北塩原村障がい福祉計画及び
第2期障がい児福祉計画策定のための
福祉に関するアンケート

令和2年8月

発 行：北塩原村

企画・編集：北塩原村 住民課 医療福祉班
